

市営西田2号住宅

1号棟 2号棟外壁等改修工事

三 次 市

佐伯建築設計事務所

Ⅰ. 工 事 概 要 等		7. 建設発生土		※ 現場説明書の施工条件明示による。 ・ 構内指示場所に堆積 ・ 構内指示場所に敷き均し		③ 調査のための破壊部分の補修 【1. 6. 3】 13 技能士 【1. 7. 2】		補修方法 ※図示 補修範囲 ※図示 技能士においては、積極的な活用を図ること。 工事種目 技能検定職種 技能検定作業 仮設工事 とび とび作業 防水改修工事 防水施工 アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系遮断防水工事作業 アクリルゴム系遮断防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 シーリング防水工事作業 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 FRP防水工事作業 外壁改修工事 樹脂接着剤注入施工 左官 タイル張り 樹脂接着剤注入工事作業 左官作業 タイル張り作業 建具改修工事 サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工 ガラス用フィルム施工 樹脂フィルム作業 塗装改修工事 塗装 左官作業 タイル張り作業 内装改修工事 タイル張り 建築大工工事作業 建築板金 鋼製下地工事作業 内装板金作業 左官作業 プラスチック系床仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ工事作業 ボード仕上げ工事作業 壁紙貼付作業 前震改修工事 とび 鉄筋施工 鉄筋組立作業 型枠施工 型枠工事作業 コンクリート圧送施工 コンクリート圧送工事作業 構造物鉄工作業 鉄工 建築配管作業 設備ペイントハンドマーカー工事作業 加熱ペイントマシンマーカー工事作業 造園工事作業 造園		③ 化学物質の濃度測定 【1. 7. 9】		測定対象室及び測定箇所数は図示による。 （1）ホルムアルデヒド、トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指標値以下であることを確認し、監督職員に報告する。 測定箇所は仕上表より、施工方法は施工条件明示による。 パッシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。 ①30分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉（送り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、30分間換気する。 ②5時間閉鎖 ①の後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。 ただし、送り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。 ③測定 イ ②の状態のままで測定する。 ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。 ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。 ④分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。 ⑤その他 監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けること。 （2）木材の防腐・防蟻処理剤は、クロロピリホス、ダイアノジン及びフェノノカルブを含有しない薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理等は工場で行い十分乾燥させた後現場に搬入する。 （3）保温材、断熱材、緩衝材については、ホルムアルデヒドを放散しないか放散が極めて少ないF☆☆☆☆等級のものとする。 （4）塗料、壁紙、仕上塗材、合板、接着剤等で屋内に面するものについては、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないF☆☆☆☆等級のものとする。 （5）屋内に面して用いる材料は、上記（2）～（4）に適合した上で、揮発性有機化合物の放散が無い若しくは極めて少ないものを選択するように努め、（1）の規定を満たすこと。 ※行方（回数及び時期については監督職員の指示による）		18 電子納品		電子納品対象工事とし、「電子納品・電子検査事前チェックシート（営繕工事用）」により監督職員と事前に協議した対象書類について、電子媒体により提出する。電子成果品の作成については「営繕工事電子納品要領」による。 【提出部数】 2部 （本業種が付帯の場合は、元請業種へ技術資料等を提供する。） （1）本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。 （2）本工事で使用する情報共有システムは次とする。 広島県工事中情報共有システム（http://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html） （3）監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。 （4）受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあつての評価を行うためのアンケート等が求められた場合、協力しなければならない。																																					
1. 工事名称： 市営西田2号住宅1号棟2号棟外壁等改修工事 2. 工事場所： 三次市吉倉町 3. 敷地面積： ㎡ 4. 構造規模： 1号棟 R C造 地上3階建 2号棟 R C造 地上3階建 5. 工事種目： 屋根塗装改修工事、防水改修工事、外壁塗装改修工事、 6. 別途工事： （あり ・ なし） 7. 調査協力について 本工事は工事中及び完成後、次の調査を行うため、発注者より連絡があれば対応すること。 （1）公共事業労務費調査…工事に実施（調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等） （2）契約不適合調査…建設工事請負契約約款第4条の5に定める期間内 （3）公共建築物木材料事例調査票…工事中に実施（調査票の記入提出、発注者の調査実施への協力等） 8. 公衆災害防止措置 （1）工事に際し、工事関係者以外の第三者の生命、身体及び財産の危機、並びに迷惑を防止するために必要な措置をとること。 （2）上記について、「建設工事公衆災害防止対策要綱（平成5年1月12日付 建設事務次官通達）」に基づき実施すること。 （3）掘削作業前には、必ず既存の設備図面や施設の改修履歴等を確認し、配線・配管の有無を確認すること。また、掘削作業時は、必要に応じて、設備業者に立会を依頼すること。 9. 現状復旧 工事に際し、隣接建築物等に損傷を与えた場合は、受注者の責任において現状復旧を行うこと。 10. 主要資材等 （1）主要資材を購入しようとする場合は、極力広島県内に営業所・本店を有する業者に発注するものとし、予め購入先の名称所在地及び資材名等を発注者に通知するものとする。 （2）当該工事に使用する砂については、海砂（県外産を含む）を使用しないこと。 （3）この工事の施工に際し、やむを得ず工事の一部（主目的部分を除く）を第三者に請け負わせようとする場合は、原則として広島県内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとする。		② 環境への配慮 【1. 4. 1】		化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、次の（1）から（4）を満たすものとする。 （1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しない又は放散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 （2）接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 （3）接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 （4）（1）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないが、放散が極めて少ない材料を使用したものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の第7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の第7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づき制定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう努めるものとする。		③ 材料の品質等 【1. 4. 2】		材料・機材等の品質及び性能 （1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （2）備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 （3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 （4）本工事に使用する材料のうち、（5）に指定する材料の製造業者等は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し）を監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 （5）製造業者等に関する資料の提出を定める材料		③ 中間検査		中記のものを監督職員に提出する。工事中写真及び完成写真の撮影は国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の「営繕工事写真撮影要領」によるものとする。 （1）工程写真 工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真を期間別工事工程報告書に添付するものとする。 （2）工事中写真 水中又は地下に埋設される部分、その他完成後外部から検査・確認する事が出来ない部分、及びその他監督職員が指示する箇所は、適切に写真等を整備するものとする。 【撮影箇所】 建物外観各方向、主要箇所、主要室内その他監督職員が指示する箇所 【規格・提出部数】 ※電子ファイル（PDF形式）により、18電子納品に含めて提出 ・ A種 B種の仕上げ ※ せっこうボード（DB-R 厚さ9.5mm） ・ 合板（普通合板 厚さ9mm） A、B種の片面への塗装等 ※ 行わない ・ 行う A種のグラスウールの充填 ※行う（JIS A 6301グラスウール吸音材32K厚50mm） ・ 行わない 仮設扉の種別 ・ 木製（合板張り程度） ・ 鋼製 ・		③ 仮設工事		① 騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート 防音パネル、防音シートを取り付けける足場の設置範囲 ※ 工事に必要な範囲 ② 足場等 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、間ガイドラインの別紙1手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の2)手すり留置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ・ 設置する（範囲 ※ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない 防護シート ・ 設置する（範囲 ※ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない 内部足場 ・ 設置する（ ※ 脚立、足場板等 ・ ） ・ 設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 C種：利用可能なエレベーター（ ） D種：利用可能な階段（ ）		③ 既存部分の養生		養生方法等 〔2.3.1〕 ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート、合板等による ・ ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存フラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等（取外し再取付を行う） 保管場所 ※ 構内既存施設内 ・ 固定された家具等（備品、机、ロッカー等）の移動 ※ 行う（図示） 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。		4 仮設間仕切り		仮設間仕切りの種別と材質等 〔2.3.2〕〔表2.3.1〕 仮設間仕切りの種別と材質等 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示		5 監督職員事務所等		※ 設ける 現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示による。 〔2.4.1〕		③ 工事用水		構内既存の施設 ※ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償） ○ 利用できない		③ 工事用電力		構内既存の施設 ※ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償） ○ 利用できない		③ 仮囲い等の安全施設		別紙設計図による		③ 工事現場の表示		現場の見えやすい位置に、監督職員が指示する次の表示板を設置する。 ※工事名等の表示板（900mm×600mm） ・ 工事概要等の説明看板（900mm×600mm） 仕様等の詳細は営繕課HPの「現場掲示板について」を参照のこと。 ※配置する ・ 本業種が付帯の場合は、元請業種で配置する ・ 別途工事で配置する（工事名： ） ※大型車両進入時（ ）人/日 ・ 常時配置（ ）人/日 ・（ ）作業期間（ ）人/日 現場説明書による。		10 交通誘導員				11 快適トイレ設置工事			
Ⅱ. 建築改修工事仕様		② 材料の品質等 【1. 4. 2】		材料・機材等の品質及び性能 （1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （2）備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 （3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 （4）本工事に使用する材料のうち、（5）に指定する材料の製造業者等は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し）を監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 （5）製造業者等に関する資料の提出を定める材料		③ 中間検査		中記のものを監督職員に提出する。工事中写真及び完成写真の撮影は国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の「営繕工事写真撮影要領」によるものとする。 （1）工程写真 工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真を期間別工事工程報告書に添付するものとする。 （2）工事中写真 水中又は地下に埋設される部分、その他完成後外部から検査・確認する事が出来ない部分、及びその他監督職員が指示する箇所は、適切に写真等を整備するものとする。 【撮影箇所】 建物外観各方向、主要箇所、主要室内その他監督職員が指示する箇所 【規格・提出部数】 ※電子ファイル（PDF形式）により、18電子納品に含めて提出 ・ A種 B種の仕上げ ※ せっこうボード（DB-R 厚さ9.5mm） ・ 合板（普通合板 厚さ9mm） A、B種の片面への塗装等 ※ 行わない ・ 行う A種のグラスウールの充填 ※行う（JIS A 6301グラスウール吸音材32K厚50mm） ・ 行わない 仮設扉の種別 ・ 木製（合板張り程度） ・ 鋼製 ・		③ 仮設工事		① 騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート 防音パネル、防音シートを取り付けける足場の設置範囲 ※ 工事に必要な範囲 ② 足場等 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、間ガイドラインの別紙1手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の2)手すり留置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ・ 設置する（範囲 ※ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない 防護シート ・ 設置する（範囲 ※ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない 内部足場 ・ 設置する（ ※ 脚立、足場板等 ・ ） ・ 設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 C種：利用可能なエレベーター（ ） D種：利用可能な階段（ ）		③ 既存部分の養生		養生方法等 〔2.3.1〕 ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート、合板等による ・ ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存フラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等（取外し再取付を行う） 保管場所 ※ 構内既存施設内 ・ 固定された家具等（備品、机、ロッカー等）の移動 ※ 行う（図示） 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。		4 仮設間仕切り		仮設間仕切りの種別と材質等 〔2.3.2〕〔表2.3.1〕 仮設間仕切りの種別と材質等 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示		5 監督職員事務所等		※ 設ける 現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示による。 〔2.4.1〕		③ 工事用水		構内既存の施設 ※ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償） ○ 利用できない		③ 工事用電力		構内既存の施設 ※ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償） ○ 利用できない		③ 仮囲い等の安全施設		別紙設計図による		③ 工事現場の表示		現場の見えやすい位置に、監督職員が指示する次の表示板を設置する。 ※工事名等の表示板（900mm×600mm） ・ 工事概要等の説明看板（900mm×600mm） 仕様等の詳細は営繕課HPの「現場掲示板について」を参照のこと。 ※配置する ・ 本業種が付帯の場合は、元請業種で配置する ・ 別途工事で配置する（工事名： ） ※大型車両進入時（ ）人/日 ・ 常時配置（ ）人/日 ・（ ）作業期間（ ）人/日 現場説明書による。		10 交通誘導員				11 快適トイレ設置工事							

⑤

防水改修工事

①

降雨等に対する養生方法

2

既存防水の処理

3

既存下地の処置

4

アスファルト防水

※ 改修標準仕様書3.1.3(5) (7)～(9)による。
・

既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示 ・) [3.1.4] [3.2.3、4、6]
・ 行わない
既存防水層の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示 ・)
・ 行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
(・ M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X)

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示 [3.2.6]
POS工法及びUPOSI工法 (機械的固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4) (9) (a) ①～③による
・ 設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する

屋根保護防水 [3.3.2～5]
防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
・ P2A	・ A-1 ※ A-2 ・ A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラット ヤークロス 70g/㎡程度	・ 乾式保護材 ・ コンクリート 押え ・ れんが押え ※ JIS R 1250
・ P1B	※ B-2				
・ P2AI	・ AI-1 ※ AI-2 ・ AI-3		(材質) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキン層付き) (厚さ) (mm) ※25 ・ 50	※フラット ヤークロス 70g/㎡程度	
・ P1BI	・ BI-1 ※ BI-2				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ
こて仕上げ ※ 水下 80mm以上
床タイル張り ※ 水下 60mm以上
乾式保護材
高業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したものの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものの。
(品質・性能)

分類・規格	・ 高業系パネル I 類	・ 金属複合板
寸法 (mm)	厚さ (mm) 幅 (mm)	
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%	
出荷時の含水率	出荷時において10%以下	—
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準時 550以上 凍結融解完了時 400以上 (300)	300以上 250以上 (300)
吸水率 (%)	20以下	1以下
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.01以下
難燃性	不燃	表面材は不燃
耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 (明らかに吸水しないことと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 (明らかに吸水しないことと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)
耐衝撃性能	質量500g (高業系パネル I 類は1,000g)のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。
剛性 (E×I) (スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性)	—	80,000N・cm2以上

(試験方法)
(1) 寸法の測定方法
(厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。
(幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。
(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(高業系パネル II 類は200サイクルまでとする。)なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。
(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
(4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

5

改質アスファルトシート防水

(5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体 (幅40mm×長さ160mm×素材厚さ) を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム (試薬)」に規定する塩化カルシウム又は JIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調整したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の縦横間隔が140mmになるように縦線を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて縦横間の長さ測定し、それを基準 (L1) とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼ立して、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び縦横間の長さ (L2) を測る。
吸水による長さ変化率 (ΔL) は、次式によって求める。
(ΔL) = (L2 - L1) / L1 × 100 ΔL：吸水による長さ変化率 (%)
L1：乾燥時の縦横間の長さ (mm) L2：吸水時の縦横間の長さ (mm)
(6) 耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「高業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行い、100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(高業系パネル II 類は200サイクルまでとする。)
凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5～35℃の清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の気中で約2時間の凍結20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。
(7) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持方法による。
試験体の大きさは、4号 (長さ400mm、幅300mm) とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号 (W1-1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。

屋根露出防水 防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
・ M4C	・ C-1 ※ C-2 ・ C-3 ・ C-4			・ ※製造所の仕様	・ 適用する	
・ M3D	・ D-1			・ ※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ P0D1	・ DI-1		JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類)	・ ※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ M3D1	※ DI-2		※硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 2 号 (厚さ) (mm) ※25 ・ 50	・ ※製造所の仕様	・ 適用する	

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・ 材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・ 材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
脱気装置の種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定
脱気装置の設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)
屋根露出防水 絶縁断熱工法の場合、の、ルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張り
じまい位置 ※ 図示
屋内防水

工法	種別	施工場所
・ P1E	・ E-1	
・ P2E	※ E-2	

E-1の場合で工程3を行う部位 (※ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位) 保護層 設ける (※ 図示 ・) ・ 設けない
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
屋上排水溝 ※ 図示

屋根露出防水 防水層の種類 [3.4.2、3]

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
・ M4S	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2			種類 使用量 ・ ※製造所の仕様	・ 適用する	
・ M3AS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS-J3			・ ※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ M3ASI	・ ASI-T1		JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類)	・ ※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ M4ASI	・ ASI-J1		※硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 2 号 (厚さ) ※25mm ・ 50mm	・ ※製造所の仕様	・ 適用する	
・ POAS				・ ※製造所の仕様	・ 適用する	

6

合成高分子系ルーフィングシート防水

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・ 材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・ 材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・ 材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
脱気装置の種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
脱気装置の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個)
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
絶縁断熱工法の防水湿シート
・ 設置する
・ 設置しない

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水	備考
・ POS	・ S-F1			・ ※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ S4S				・ ※製造所の仕様	・ 適用する	
・ S-F2				・ ※製造所の仕様	・ 適用する	
・ S-M1				・ ※製造所の仕様	・ 適用する	
・ S-M2				・ ※製造所の仕様	・ 適用する	
・ S3S	・ S-F1			・ ※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
・ S-F2				・ ※製造所の仕様	・ 適用する	
・ M4S	・ S-M1			・ ※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
・ S-M2				・ ※製造所の仕様	・ 適用する	
・ POS1	・ SI-F1		改修標準仕様書3.5.2 (3) (a) (b) による (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 2 号 (厚さ) (mm) ※25 ・ 50	・ ※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ S3S1				・ ※製造所の仕様	・ 適用する	
・ S4S1				・ ※製造所の仕様	・ 適用する	
・ M4S1				・ ※製造所の仕様	・ 適用する	
・ SI-F2				・ ※製造所の仕様	・ 適用する	
・ SI-M1				・ ※製造所の仕様	・ 適用する	
・ SI-M2				・ ※製造所の仕様	・ 適用する	

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※ 非歩行用 ・ 軽歩行用
S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルムの設置
※ 設置しない ・ 設置する
S1-M2の絶縁用シートの場合
※ 発泡ポリエチレンシート
S-M2及びS1-M2の立上り部の工法
※ 接着工法 (立ち上がり面のシートの厚さ ※ 1.5mm ・) ・ 機械的固定工法

屋内防水 防水層の種類

種別	施工箇所	保護層	立上り部の保護モルタルの差厚
・ S-C1		平場のモルタル塗り 工法 差厚 ・ 床塗り ・ 下地モルタル塗り	※ 7mm以下 ・

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ
・ 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.5.1から表3.5.3による
・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・ 材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
固定金具の材質及び寸法形状
※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの
脱気装置の種類及び設置数量
接着工法の場合の脱気装置の種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様
接着工法の場合の脱気装置の設置数量 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 (個)
プレキャストコンクリート部材下地の目地処理 (接着工法の場合)
・ 行う (・ 図示 ・) ・ 行わない
プレキャストコンクリート部材の隅部増張り (種別 S-F1、S1-F1の場合)
・ 行う (・ 図示 ・) ・ 行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

7

塗膜防水

防水層の種類 [3.6.2、3]

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	使用量	高日射反射率防水	備考
・ P O X	※ X-1 ・ X-2 ・ X-1 H ・ X-2 H		※ 2 成分形アクリルウレタン樹脂系 ・ ふっ素樹脂系 ・ アクリルシリコン樹脂系	※ 主材料の製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ L 4 X	※ X-1 ・ X-2 ・ X-1 H ・ X-2 H		※ 主材料の製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない	
・ P 1 Y	※ Y-2					保護層 ・ 設ける ・ 設けない
・ P 2 Y	※ Y-2					保護層 ・ 設ける ・ 設けない

X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類 ※ 主材料の製造所の仕様
X-1 (絶縁工法) の脱気装置の設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 (個)

シーリング [3.7.2、3、3.7.7]
シーリング改修工法の種類
・ シーリング充填工法
・ シーリング再充填工法
・ 拡張シーリング再充填工法
・ プリッジ工法
ボンドブレイカー張り ・ 適用する ・ 適用しない
エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)

仕上げを行わない施工箇所
・ 図示による ・ 打継目地
シーリング材の目地寸法 ※ 改修標準仕様書3.7.3(1)による
接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験

といの材質 [3.8.2、3]
・ 配管用鋼管
・ 硬質ポリ塩化ビニル管
・ ルーフドレン
・ 表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類 ・)
ルーフトレンドレン

種別	呼び
・ ろく屋根用たて形 I 型	※ねじ込み式 ・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150
・ ろく屋根用横形 I 型	※ねじ込み式 ・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150
・ バルコニー中継用	・ ねじ込み式 ・ 50 ・ 80 ・ 100
	・ 差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100
・ バルコニー用	・ ねじ込み式 ・ 50 ・ 80 ・ 100
	・ 差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100

とい受け金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔
※ 改修標準仕様書表3.8.2により、溶融亜鉛めっきを行ったもの
多雪地域 ・ 適用する
防露材のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※ 図示
鋼管製といの防露巻き ※ 改修標準仕様書表3.8.4による
たてとい受金物の取付け ※ 図示

[3.9.2、3]
種類 ・ オープン形式 (・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形)
・ 板材折曲げ形 (・ オープン形式 ・ シール形式)
本体幅 () mm 板厚 (※ 2.0mm ・) mm
表面処理 種別 () 種
色合等 ・ 標準色 () ・ 特注色 ()
既存笠木等の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示 ・)
○ 行わない
下地補修の工法 ※ 図示
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※ 図示
笠木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

8

シーリング

9

とい

10

アルミニウム製笠木

防水改修フロー及び数量
・ 既存保護層の補修及び処置

防水面調査 (施工数量調査)								
ひび割れ部補修		欠損部改修	浮き部補修	げい弱部補修	既存目地欠損部補修	既存目地欠損部補修 (脱気に利用する場合)		
アスファルト防水工事用シール材 (幅2mm未満)	Uカットのうえポリウレタン系シーリング材 (幅2mm以上)	ポリマーセメントモルタル補修	ポリマーセメントモルタル補修	撤去のうえ、ポリマーセメントモルタル補修	ケレン等のうえ、ポリマーセメントペースト補修	アスファルト防水工事用シール材	ポリマーセメントモルタル補修	既存目地撤去のうえポリウレタン系シーリング材
0m	0m	0m	0m2	0m2	0m2	0m	0m	0m
シーリング改修								
シーリング再充填工法								
mm × mm	mm × mm	mm × mm	mm × mm	mm × mm	mm × mm	mm × mm	mm × mm	mm × mm

外壁改修フロー及び数量

○コンクリート打直し上げ外壁の場合

既存仕上り材の処理範囲 ※ 既存仕上り面全体 ・ 図示

外 壁 調 査 (施 工 数 量 調 査)

ひび割れ部改修 欠損部改修

樹脂注入工法 (注1)

A) 0.2以上0.3未満	0㎡	Uカットシール 材充填工法	0㎡	シール工法	0㎡	充填工法	100×300×30mm 程度	鋼鉄筋部補修工法 (改修標準仕様書4.3.3(b)) 幅100mm程度	0㎡
A) 0.3以上0.5未満	0㎡								
A) 0.5以上1.0未満	0㎡								
B) 0.2以上1.0未満	0㎡								
C) 0.3以上0.5未満	0㎡								
C) 0.5以上1.0未満	0㎡								

下地調整材の施工範囲 ※ 既存仕上り面全体 ・ 図示

仕上り塗材仕上げ施工範囲 ※ 既存仕上り面全体 ・ 図示

・ モルタル塗り上げ外壁の場合

既存仕上り材の処理範囲 ※ 既存仕上り面全体 ・ 図示

外 壁 調 査 (施 工 数 量 調 査)

ひび割れ部改修 欠損部改修 浮き部改修

モルタル撤去 ・ しない ・ する アンカーボーンニング注入工法

樹脂注入工法 (注1)

A) 0.2以上0.3未満	0㎡	Uカットシール 材充填工法	0㎡	シール工法	0㎡	充填工法	モルタル 塗替え工法	(工法名)	一般部分	0㎡
A) 0.3以上0.5未満	0㎡								一部部分	0㎡
A) 0.5以上1.0未満	0㎡								指定部分	0㎡
B) 0.2以上1.0未満	0㎡									
C) 0.3以上0.5未満	0㎡									
C) 0.5以上1.0未満	0㎡									

下地調整材の施工範囲 ※ 既存仕上り面全体 ・ 図示

仕上り塗材仕上げ施工範囲 ※ 既存仕上り面全体 ・ 図示

・ タイル張り仕上げ外壁の場合

外 壁 調 査 (施 工 数 量 調 査)

ひび割れ部改修 欠損部改修 浮き部改修 目地改修

タイル撤去 ・ する ・ しない アンカーボーンニング注入工法

樹脂注入工法 (注1)

A) 0.2以上0.3未満	0㎡	Uカットシール 材充填工法	0㎡	タイル部分 張替工法	0㎡	タイル張替 工法	0㎡	(工法名)	目地ひび割れ 改修	伸縮目地改修
A) 0.3以上0.5未満	0㎡								mm × mm	mm × mm
A) 0.5以上1.0未満	0㎡								0㎡	0㎡
B) 0.2以上1.0未満	0㎡									
C) 0.3以上0.5未満	0㎡									
C) 0.5以上1.0未満	0㎡									

(注1) 4-2.1、4-3.1及び4-4.2のひび割れ部改修工法における樹脂注入工法の種類を示す

(A) 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、B) 手動式エポキシ樹脂注入工法、C) 機械式エポキシ樹脂注入工法

5

建築改修工事

1

改修工法

[5. 1. 3]					
建具の種類		かぎせ工法	撤去工法	適用箇所	
・アルミ製建具		-	-	※ 建具表による	
・樹脂製建具		-	-	※ 建具表による	
・鋼製建具		-	-	※ 建具表による	
・外部	-	-	-	※ 建具表による	
・内部	-	-	-	※ 建具表による	
・鋼製軽量建具		-	-	※ 建具表による	
・ステンレス製建具		-	-	※ 建具表による	

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方 ※ 図示
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示

2

防火戸

[5. 1. 4]
・適用する 指定箇所（※ 建具表による）
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、防感知器又は煙感知器との連動 ※ 連動させない
適用箇所（※ 建具表による）

3

見本の製作等

[5. 1. 5]
建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） ・行わない
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ） ・行わない

4

防犯建物部品

[5. 1. 7]
・適用する 適用箇所（※ 建具表による）

5

アルミニウム製建具

[5. 2. 2～5] [表5. 2. 2]
性能値等
・耐風圧性の等級（ ） ・気密性の等級（ ） ・水密性の等級（ ）
※ 改修標準仕様書表5. 2. 1による種別
外部に面する建具の種類 ・ A 種（建具符号： ・全て ・建具表による）
・ B 種（建具符号： ・全て ・建具表による）
・ C 種（建具符号： ・全て ・建具表による）
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号： ・建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ） （建具符号： ・建具表による）

耐震性能
建築物非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
形状及び仕上げ
枠の見込み寸法 ※ 建具表による
表面処理
外部に面する建具 種類 ・ BB-1種 ・ BB-2種 ・
色合等 ※ 標準色（ ） ・ 特注色（ ）

屋内の建具 種類 ・ BB-1種 ・ BB-2種 ・
色合等 ※ 標準色（ ） ・ 特注色（ ）

結露水の処理方法 ※ 図示
取付工法
水切り板、ぜん版 ※ 図示
木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する

6

網戸等

[5. 2. 3][5. 3. 3]

種類	材質	線径	網目
・防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス（SUS304）製	※ 0. 25mm以上	※ 16～18メッシュ
・防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1. 5mm	網目寸法15mm

[5. 2. 2] [5. 3. 2～5]

7

樹脂製建具

性能値等
・耐風圧性の等級（ ） ・気密性の等級（ ） ・水密性の等級（ ）
※ 改修標準仕様書表5. 3. 1による種別
外部に面する建具 ・ A 種（建具符号： ・全て ・建具表による）
・ B 種（建具符号： ・全て ・建具表による）
・ C 種（建具符号： ・全て ・建具表による）
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2
（建具符号： ・建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ の断熱性の等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8
（建具符号： ・建具表による）
外部に面する建具の日射取得性の等級
形状及び仕上げ
枠の見込み寸法 ※ 建具表による
表面色 ※標準色 ・ 特注色
取付工法
水切り板、ぜん版 ※ 図示
木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する
ガラス ※ 複層ガラス

8

鋼製建具

[5. 2. 2] [5. 4. 2～4] [表5. 4. 2]
性能値等（建具符号： ・建具表による）
簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・ A-3
水密性の等級 ・ W-1
外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4
・ S-5
・ S-6
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ）
耐震性能
建築物非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上
形状及び仕上げ 鋼板厚の厚さ ※ 改修標準仕様書表5. 4. 21による
使用箇所（ ）
標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による

9

鋼製軽量建具

性能値等（建具符号： ・建具表による） [5. 2. 2] [5. 6. 2～4]
簡易気密型ドアセット ・適用する
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ）
耐震性能
建築物非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
鋼板の材料 ※ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
形状及び仕上げ
鋼板厚の厚さ ※ 改修標準仕様書表5. 5. 11による
使用箇所（ ）
召合せ、縦小口包み材の材質 ※ 鋼板
標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による
性能値等（建具符号： ・建具表による） [6. 7. 2、3]
簡易気密型ドアセット ・適用する
外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4
・ S-5
・ S-6
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ）
耐震性能
建築物非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上
形状及び仕上げ
表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ ・
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ（・ a 角 ・ b 角 ・ c 角）
金物の種類及び見え隠り部の材質等
※ 改修標準仕様書表5. 8. 1及び適用は建具表による
金属製建具に使用する丁番の数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表5. 8. 2による
樹脂製建具に使用する丁番の数及び大きさ ※ 標準仕様書表5. 8. 3による
木製建具に使用する丁番の数及び大きさ ※標準仕様書表5. 8. 4による
木製建具に使用する戸玉及びレール ※標準仕様書表5. 8. 5による
握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※ 建具表による

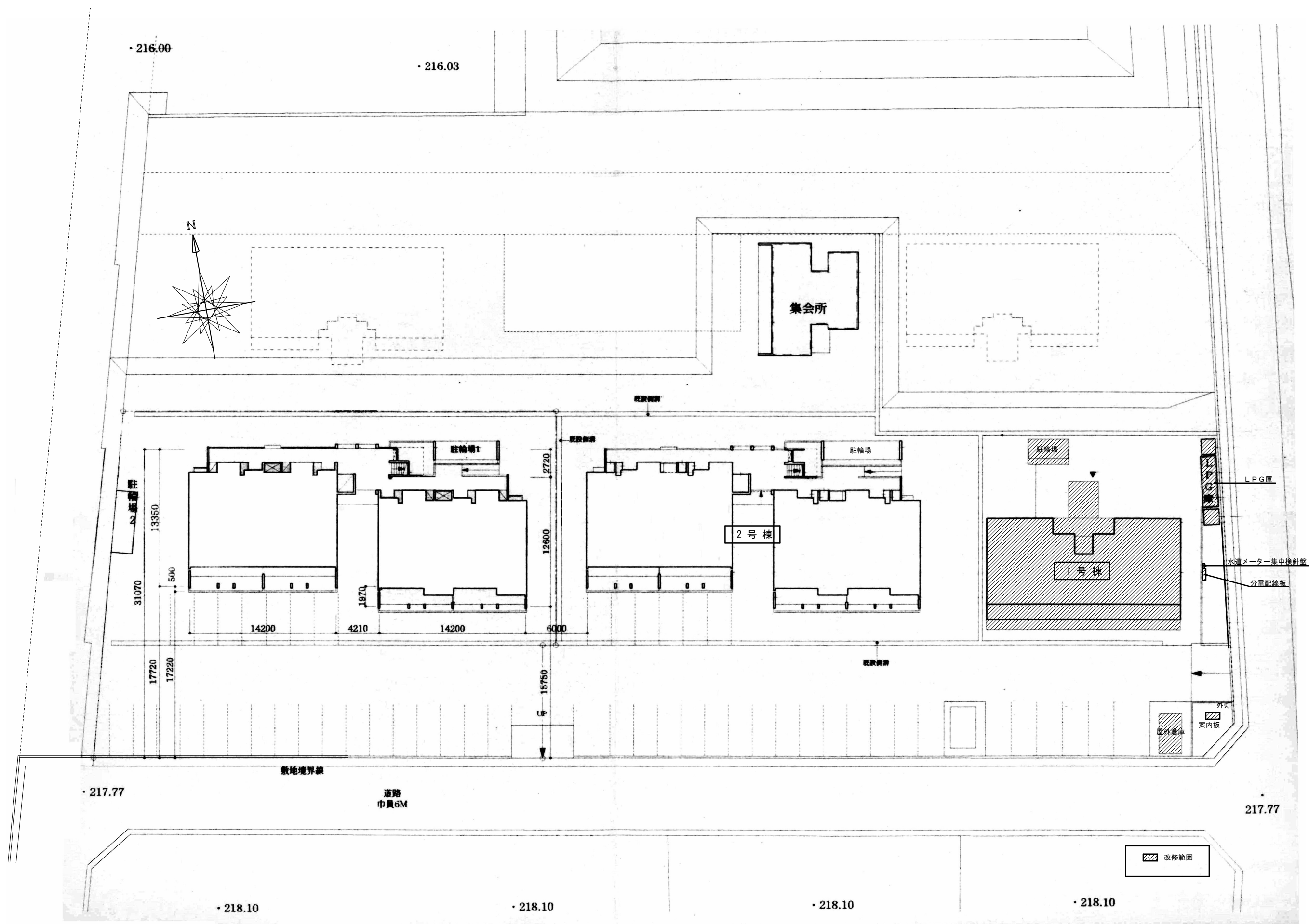
錠前類
〔シリンドラ錠錠及びシリンドラ本締まり錠〕
（品質）
デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グラندマス
ターキー、コンストラクションキーなどのキーステムが構築できるものとする。
（性能）
＜使用頻度による性能＞
1)（シリンドラ錠錠のみ） ラッチボルトの開閉繰り返し試験（40万回）を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、かつ、ハンドルの開閉操作およびラッチング動作に支障がない。
2) キーによるデッドボルトの施解錠繰り返し試験（10万回）を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がなく、かつ、確実に施錠状態が維持されている。
3) キーによる施錠機構の施解錠繰り返し試験（10万回）を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がない。
4) キーの抜き差し繰り返し試験（10万回）を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の場合でシリンドラが回転でき、かつ、1面所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンドラが回転しないこと。（キーに加えるトルクは、150N・cmとする）
＜外力に対する性能＞
1) デッドボルトの押し込み強度試験（10KN）を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8mm以上であること。
2) デッドボルトの側圧強度試験（10KN）を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しない。
3) デッドボルトの押し込み強度（衝撃荷重）試験（58. 8J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（デッドボルトの突出量が8mm未満）にならないこと。
4) デッドボルトの側圧強度（衝撃荷重）試験（58. 5J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（加圧板がデッドボルトを通過した状態）にならないこと。
5)（シリンドラ本締まり錠はグレード3以上の形造錠の場合） ストライクプレートの厚さ1. 5mm以上のステンレス鋼とし、トロヨケは厚さ1. 6mm以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。
＜使用頻度の質量に対する性能＞
（シリンドラ錠錠のみ）
ラッチボルトの側圧強度試験（4KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。
＜ハンドルの強度（シリンドラ錠錠のみ）＞
1) レバーハンドルのねじり強度試験（3. 5KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。
2) 握り玉のねじり強度試験（3KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。
3) ハンドルの引張強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。
4) ハンドルの垂直荷重強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。
＜鍵違い＞
1) 鍵違い数は、1. 5万以上とする。ただし、異なるキーウエッジ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効か（鍵）違い数とみなさないものとする。
2) 同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとしていること。
試験方法は、JIS A 1541-1（建築物金物一般―第1部：試験方法）による。

10

ステンレス製建具

[5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2～5] [6. 7. 2、3]
性能値等（建具符号： ・建具表による）
簡易気密型ドアセット ・適用する
外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4
・ S-5
・ S-6
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ）
耐震性能
建築物非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上
形状及び仕上げ
表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ ・
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ（・ a 角 ・ b 角 ・ c 角）
金物の種類及び見え隠り部の材質等
※ 改修標準仕様書表5. 8. 1及び適用は建具表による
金属製建具に使用する丁番の数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表5. 8. 2による
樹脂製建具に使用する丁番の数及び大きさ ※ 標準仕様書表5. 8. 3による

23	防じん用塗床	[6. 1. 0. 2. 3]				
		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	
24	フローリング張り	・ 厚膜型塗床材			※ 平滑仕上げ	・ 防汚仕上げ
		・ 弾性ウレタン樹脂系塗床			・ つや消し仕上げ	
		・ 厚膜型塗床材		・ 薄膜塗しのべ工法	・ 平滑仕上げ	
		・ エポキシ樹脂系塗床		・ 厚膜塗しのべ工法	・ 防汚仕上げ	
				・ 樹脂モルタル工法		
		・ 薄膜型塗床材			※ 平滑仕上げ	
塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆						
材料 水性アクリル系樹脂塗材とし、製造所の指定する製品とする						
工法 製造所の指定する工法とする						
なお、上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0. 25 kg/㎡以上とする						
仕上げの種類 (※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ) (※ 標準色 ・)						
JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆						
[6. 1. 1. 2～6]						
単層フローリング						
種類 工法 樹種 厚さ (mm) 間伐材等の適用						
・ フローリング						
・ 釘留め工法 (根太張り) ※ なら ・ 15 ・						
・ 釘留め工法 (直張り) ※ なら ・ 12 ・						
・ 接着工法 ※ なら ・ 8 ・						
・ フローリング						
・ 接着工法 ※ なら 15 ・						
ブロック1等						
複合フローリング						
種類 工法 樹種 種別 厚さ (mm) 間伐材等の適用						
・ 天然木化粧複合						
・ 釘留め工法 (根太張り) ※ なら ・ A種 ・ 15						
・ フローリング						
・ 釘留め工法 (直張り) ※ なら ・ B種 ・ 12						
・ 接着工法 ※ なら ※ C種 ・ 12						
・ 接着工法 ※ なら ・ A種 ・ 12						
・ B種 ・ 12						
※ C種 ・ 12						
フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 改修標準仕様書6.11.2(2)による						
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆						
接着工法の場合の裏面緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート						
現場塗装仕上げ ・ 行う						
※ ウレタン樹脂ワニス塗り						
・ オイルステインの上、ワックス塗り						
・ 生地のままワックス塗り						
・ 行わない						
25	畳敷き	[6. 1. 2. 2]				
		種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ D種 (畳床) ・ KT-I ・ KT-II ※ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)				
下地の種類 ・ 標準仕様書表12.6.1.1による床組						
・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム))						
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビステレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。						
衝撃緩和型畳 (畳表 ・ G1 ・ G2)						
26	せっこうボードその他ボード及び合板張り	[6. 1. 3. 2. 3]				
		MD F、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆				
合板のホルムアルデヒド放散量						
※標準仕様書19.7.2(2)(f)の(a)～(d)のいずれか						
種 類 JISの記号 厚さ (mm) ・ 規格等						
・ 硬質木毛セメント板 HW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・						
・ 中質木毛セメント板 MW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・						
・ 普通木毛セメント板 NW 15 ・ 20 ・ 25 ・						
・ 硬質木片セメント板 HF 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・						
・ 普通木片セメント板 NF ・ 30 ・						
・ けい酸カルシウム板 0.8FK タイプ2 (無石綿) ・ 6 ・ 8						
1.0FK						
・ 化粧けい酸カルシウム板 0.8FK タイプ2 (無石綿) ・ 6 ・ 8						
1.0FK 表面への化粧張り等の加工 ・ アクリル樹脂系貼付け ・						
・ ロックウール化粧吸音板 DR ・ フラットタイプ (・ 9(不燃) ・ 12(不燃) ・)						
・ 凹凸タイプ (・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・)						
・ ロックウール吸音ボード1号 RW-B ・ 25						
・ グラスウール吸音ボード32K GW-B ・ 25(ガラスクロス包) ・						
・ せっこうボード GB-R ※ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)						
・ 不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用)						
化粧有 (トラバーチン模様)						
・ シーシングせっこうボード GB-S 12.5 (※不燃 ・ 準不燃)						
・ 強化せっこうボード GB-F ・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)						
・ せっこうラスボード GB-L 9.5						
・ 化粧せっこうボード GB-D 9.5 (準不燃)						
(トラバーチン模様)						
・ 普通合板						
表板の樹種名						
生地、透明塗料塗り (※ ラワン程度 ・)						
不透明塗料塗り (※ しな程度 ・)						
板面の品質 (・)						
厚さ (mm) (・)						
接着の程度 (・ 1類 ・ 2類 ・)						
防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)						
・ 天然木化粧合板						
樹種名 (・)						
接着の程度 (・ 1類 ・ 2類 ・)						
厚さ (mm) (・)						
防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)						
・ 特殊加工化粧合板						
化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装)						
表面性能 (・) タイプ						
接着の程度 (・ 1類 ・ 2類 ・)						
厚さ (mm) (・)						
防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)						
・ メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 (を用いる厚さ (※ 1.2 ・)						
・ ポリエステル樹脂化粧板						
・ ミディアムデンシティ						
ファイバーボード MDF ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・						
・ 単板張り						
・ 無研磨板 V N ・ 研磨板 V S						
・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・						
パーティクルボード						
・ 化粧パーティクルボード						
・ 単板オーバーレイ D V						
・ プラスチックオーバーレイ D O						
・ 塗装 D C						
・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃) ・						
・ ハードボード (素地) HB						
・ 無研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード R N)						
・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード R S)						
・ ハードボード (化粧)						
・ 内装用 D 1 ・ 外装用 D E						
・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・						
・ インシュレーションボード IB A級 (・ 天井仕上げ ・ 内装仕上げ ・)						
・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・						
天井のボード類 (ロックウール吸音板を除く) の重ね張りを行う場合						
※ 図示による						
合板の張付け ・ A種 ・ B種						
せっこうボードの目地工法 ※ 仕上表による ・						
27	壁紙張り	[6. 1. 4. 2. 3]				
		ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・				
施工箇所 壁紙の種類 防火性能 備考						
紙 織機 塩化 プラス 無機質 その他 ビニル チック						
・ ・ ・ ・ ・						
・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃						
・ ・ ・ ・ ・						
・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃						
モルタル・せっこうプラスター面の素地ごしらの種類 ※ B種 ・						
コンクリート面の素地ごしらの種類 ※ B種 ・						
せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらの種類 ※ B種 ・						
28	モルタル塗り	[6. 1. 5. 3. 5. 6]				
		モルタル ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料 (材料				
既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 (・) 形状 (※ 図示 ・)						
・ 設けない						
床の目地 ・ 設ける (目地割り ※ 2mm程度 (最大目地間隔3mm程度 ・)						
(種類 ※ 押し目地 ・)						
・ 設けない						
外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗りの接着力試験						
・ 適用する						
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理						
・ 図示による						
建具回り等の充填モルタルに使用する防水剤						
(品質 ・ 性能)						
(試験方法) JIS A1404「建築用セメント防水剤の試験方法」による						
項目 品質 ・ 性能						
防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤						
混合割合 セメント重量の5%以下						
凝結及び安定性 (凝結時間) 始発: 1時間以上 終結: 10時間以内						
(安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりの有無について確認する。						
曲げ及び圧縮強度比 防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上						
吸水比 防水剤を混入したもの、しないものの吸水比 95%以下						
透水比 防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下						
ただし、透水試験における水圧は、3. 0×10 ² Paとし1時間行う						
29	タイル張り	[6. 1. 6. 2. 4～]				
		伸縮調整目地の位置 床タイル (※ 縦、横とも4m以内ごと ・ 図示 ・)				
床タイル以外 ※ 図示 ・)						
・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り						
施工箇所 形状/寸法 (mm) 再生材料の適用 I 類 II 類 III 類 Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ Ⅺ Ⅻ Ⅼ Ⅽ Ⅾ Ⅿ ⅰ ⅱ ⅲ ⅴ ⅵ ⅶ ⅷ ⅸ ⅹ ⅺ ⅻ ⅼ ⅽ ⅾ ⅿ						



配置図 Scale=1:250

A2版標準 (A3版縮小率 70.7% 表示縮尺 1/1.414)

<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>		<div><div><div><div></div><div></div></div><div>一級建築士事務所 広島県知事 登録 第 25 (1) 2704号</div><div>佐伯建築設計事務所</div><div>〒728-0016 広島県三次市四輪貫町 9 - 8</div><div>TEL (0824) 64-2844 FAX (0824) 64-3266</div></div></div>	<div><div><div>一級建築士 第 223265号</div><div>佐伯 晃 志 郎</div></div></div>	<div><div><div>・構造設計</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div><div>-----</div></div></div>
--	--	---	---	--

八、外生吸移

[illegible]

計 注 冊 防 火 設 計 師

部 位		備 考
屋 上 本 館	アルミ亜鉛メッキ鋼板t0.4段葺 下地清掃、調整(RB種)の上 D P塗装 平場： ウレタン塗膜防水L 4 X 立上り、基礎： ウレタン塗膜防水L 4 X 軒樋： 塩ビ製角樋 撤去新設	
駐輪場	屋根： 折板屋根 既存撤去の上新設 外壁： 可とう形改修塗材RE	
倉 庫	屋根： シート防水 S-M2機械固定 (既存シート防水撤去の上新設) 外壁： 可とう形改修塗材RE	
	スロープ・バルコニー： シートの端末は抑エ金物 (SUS) 取付	

<p>C. 外部建具改修</p>	<p>アルミサッシ：既存のまま 建具周囲シーリング打替え (変成シリコン10×5)</p> <p>スチール建具：下地調整 (RB種) の上 D P 塗替</p> <p>外外面サッシクリーニング (ガラス・サッシ枠共)</p>
<p>D. その他</p>	<p>下地調整の上 D P 塗替</p> <p>詳細図による</p>

特 記 事 項					
堅樋・排水管	既存支持金物：下地処理の上 ＤＰ塗替	設備盤・配管等	既存のまま	空調室外機	移設・復旧 3 箇所
	既存堅樋VP100 VP65：撤去新設	屋上点検口・タラップ	既存のまま	パラボラアンテナ	清掃 箇所
	既存軒樋 W200 W120 撤去新設			TVアンテナ	清掃 箇所
	中間ドレン：下地処理の上 タールフリーエポキシ樹脂塗替 ルーフドレン：下地処理の上 タールフリーエポキシ樹脂塗替	バルコニー手摺	既存のまま 鉄部：下地処理の上 ＤＰ塗替	避難ハッチ	清掃（シール貼替） 全 箇所
複層塗材E	ゆず肌状	バルコニー隔板		消火器BOXのみ	撤去・新設 10型用 3 箇所 20型用 1 箇所
複層塗材S i	ゆず肌状		鉄部：下地処理の上 ＤＰ塗替 ボード：下地処理の上 ＤＰ塗替 150 x 400 アルミシール	階数表示板	既存のまま 3
外装薄塗材S i	砂壁状			集中郵便受BOX	既存のまま 清掃 1 箇所
水性シリコン フッ素系浸透性吸水防止塗料	日本ペイント 水性シリコン浸透ガード 同等	バルコニー物干金物	既存のまま	掲示板	既存のまま 清掃 1 箇所
シーリング	ヨコ目地：打替再充填 (30X10) m P U - 2	階段手摺	鉄部：下地処理の上 ＤＰ塗替	階段照明器具	撤去・新設 4 箇所（踊り場 3箇所）
	タテ目地：打替再充填 (25X10) m P U - 2	避難ハッチ	清掃（シール貼替） 全 箇所	外部廊下照明器具	撤去・新設 3 箇所
	建具廻り：打増し (10×5) m M S - 2			バルコニー照明器具	撤去・新設 6 箇所

[illegible]

B
C
D
E
F

- ①

根廻り：可とう形改修塗材RE
- ②

外壁：可とう形改修塗材RE
- ③

共用廊下・バルコニー：壁 可とう形改修塗材RE
- ④

共用廊下・バルコニー：床
防滑性ビニール床シート t=2.5
- ⑤

共用廊下・バルコニー：上裏
- ⑥

共用廊下・バルコニー：上裏(既存ケイカル板t=16)
可とう形改修塗材RE
- ⑦

パラベット・バルコニー見付
可とう形改修塗材RE
- ⑧

パラベット天端(屋上3階倉庫部上部) 既存のまま
- ⑨

パラベット上裏
可とう形改修塗材RE
- ⑩

屋外階段床：可とう形改修塗材RE
- ⑪

屋外階段巾木
ウレタン塗膜防水 ZHM-200L
- ⑫

屋外階段壁：可とう形改修塗材RE
- ⑬

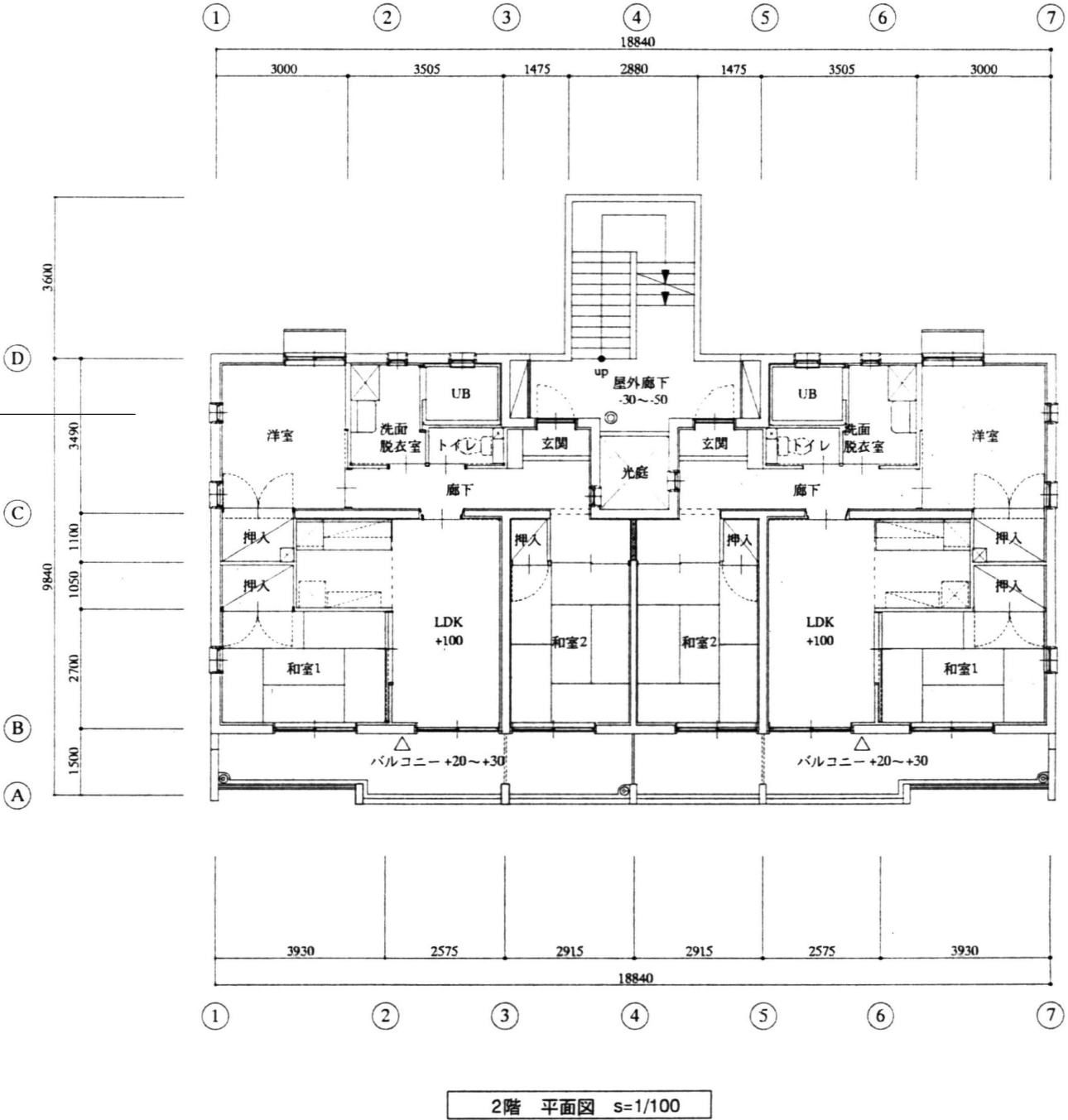
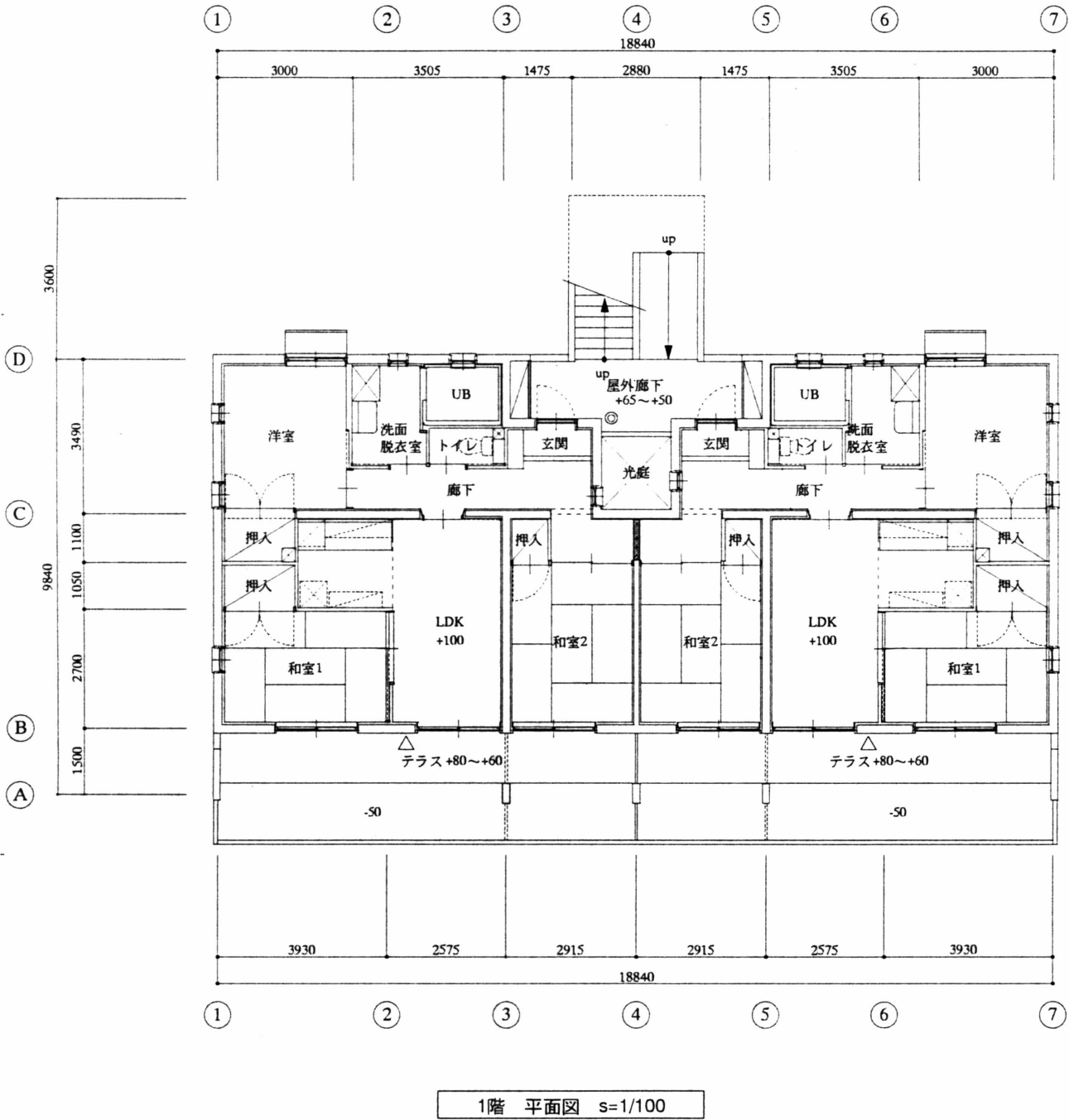
屋外階段腰壁(3階) 可とう形改修塗材RE
- ⑭

屋外階段上裏 可とう形改修塗材RE
- ⑮

足元笠木天端(共用廊下、バルコニー、階段)
ウレタン塗膜防水 ZHM-200L
- ⑯

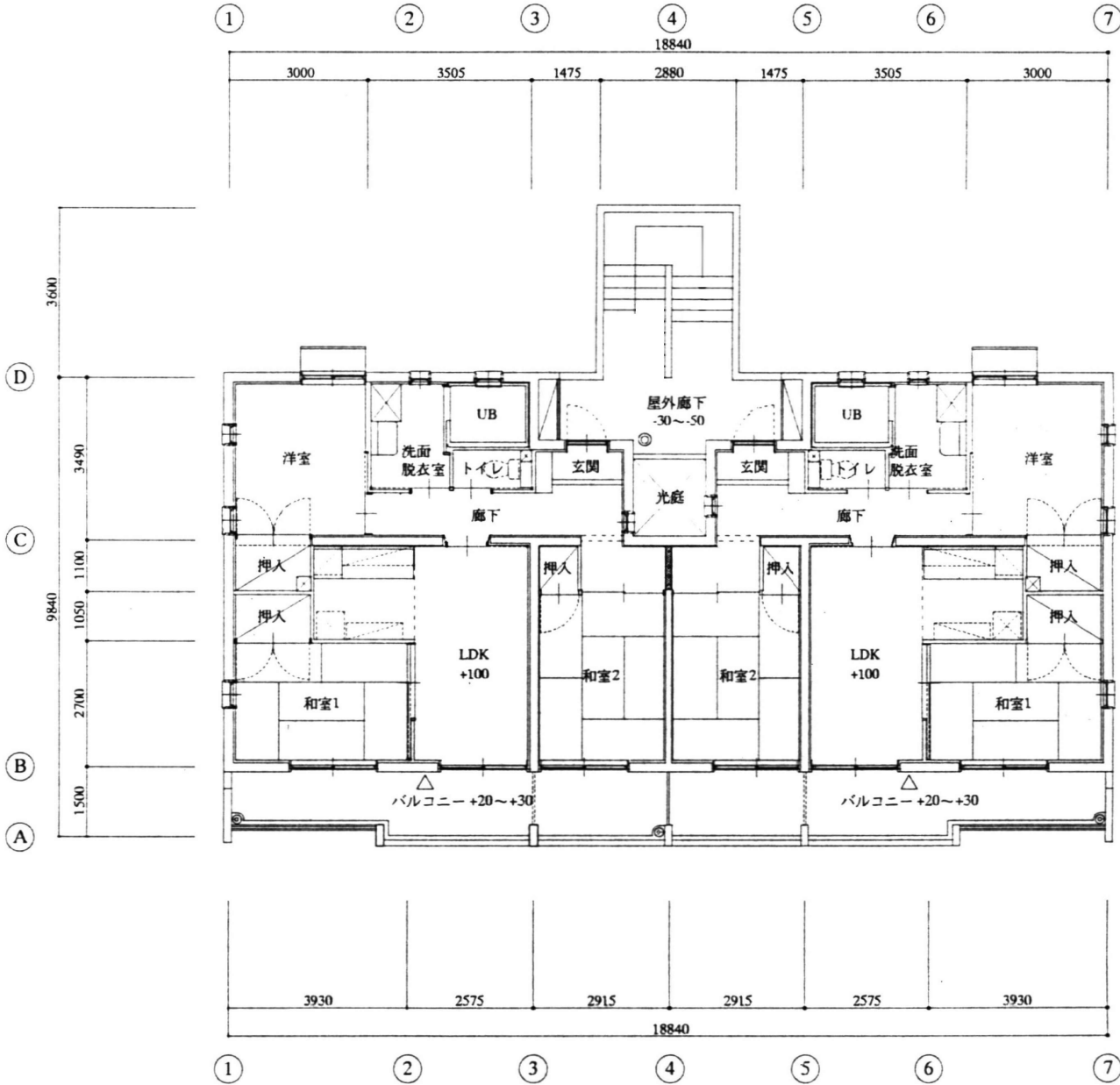
室外壁置場(外部、光彩)
室外壁置場(外部、光彩)
- ⑰

屋根：DP塗装



凡例		
符号	仕様	備考
◎	消火器 (ABC10型)	
△	給気口 φ200	

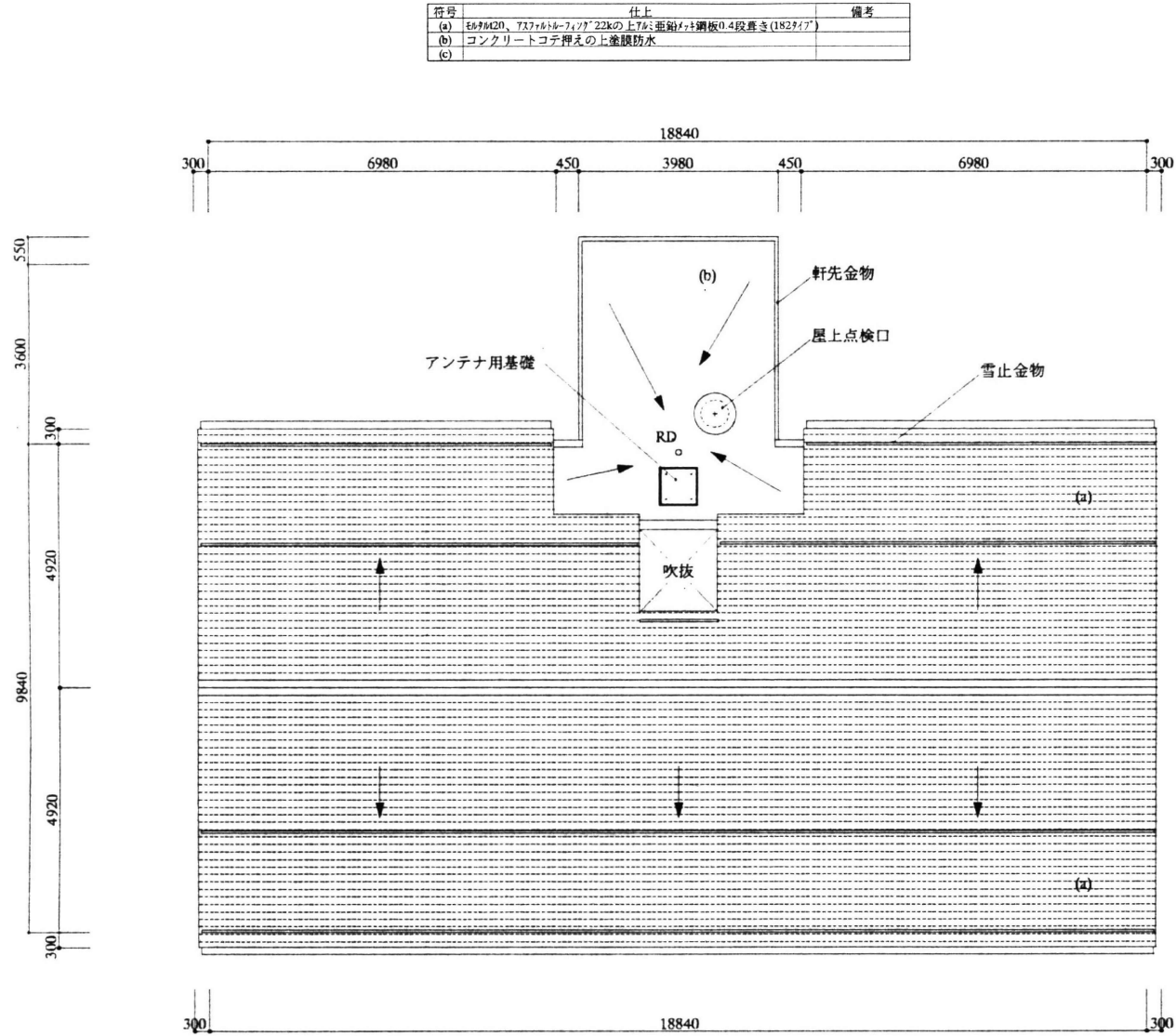
A	屋上タラップ	G	水道検針盤	M	ボックス	S	給湯器	①	根廻り：可とう形改修塗材RE	⑩	屋外階段床：可とう形改修塗材RE	外	空調室外機 北面0 南面3
B	物干金物	H	警報盤	N	プレート	T	屋上ハッチ	②	外壁：可とう形改修塗材RE	⑪	屋外階段巾木 ウレタン塗膜防水 ZHM-200L	BS	パラボラアンテナ 北面0 南面0
C	隔板	I	換気扇フード	O	換気ガラリ	U	銅製手摺	③	共用廊下・バルコニー：壁 可とう形改修塗材RE	⑫	屋外階段壁：可とう形改修塗材RE	⊗	クーラースリプキャップ 破損 北面0 南面0
D	避難器具	J	電気ボックス	P	レンジガラリ	X	屋外手摺	④	共用廊下・バルコニー：床 防滑性ビニール床シート t=2.5	⑬	屋外階段腰壁（3階） 可とう形改修塗材RE	□	照明器具 撤去新設 階段 3
E	SUS郵便受	K	引込開閉器	Q	換気レジスター	Y		⑤	共用廊下・バルコニー：上裏	⑭	屋外階段上裏 可とう形改修塗材RE	○	照明器具 撤去新設 北面3 南面6
F	掲示板	L	電気ボックス	R	クーラースリプ			⑥	共用廊下・バルコニー：上裏（既存ケイカル板t=16） 可とう形改修塗材RE	⑮	足元笠木天端（共用廊下、バルコニー、階段） ウレタン塗膜防水 ZHM-200L		
《備考》 ※ 上記以外は仕上表による。 ※ 打継目地部：全てシーリング打替再充填（開口部廻り共） ※ 軒樋撤去新設、堅樋VP100：撤去新設								⑦	パラベット・バルコニー見付 可とう形改修塗材RE	⑯	室外壁置場（外部、光彩） 室外壁置場（外部、光彩）		
								⑧	パラベット天端（屋上3階倉庫部上部） 既存のまま	⑰	屋根：DP塗装		
								⑨	パラベット上裏 可とう形改修塗材RE				



3階 平面図 s=1/100

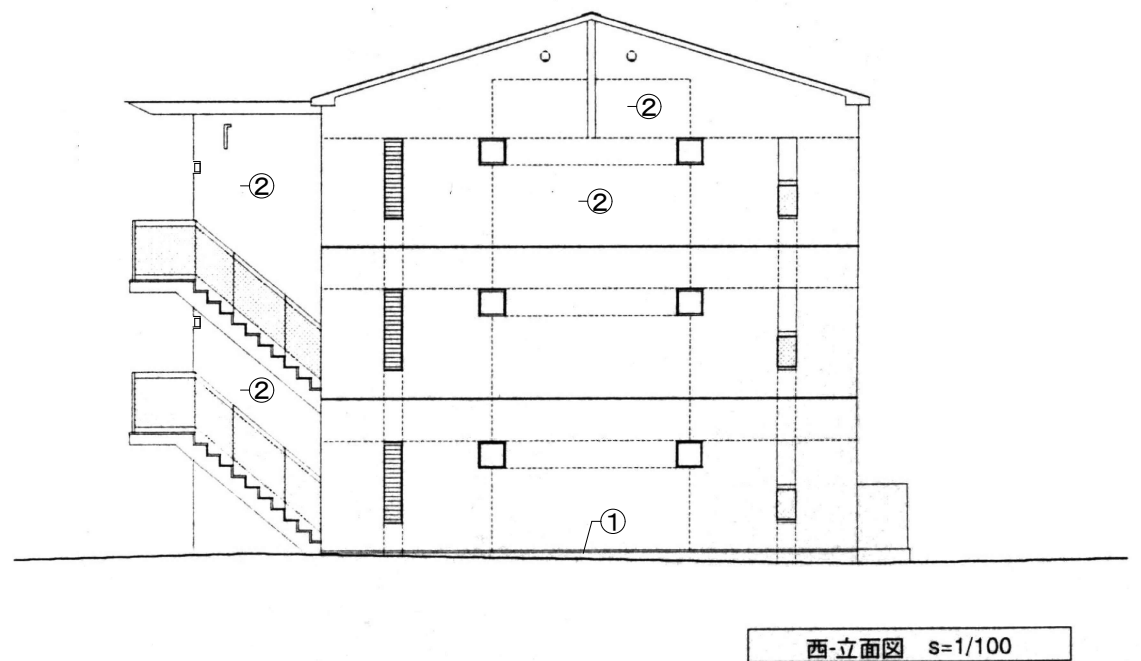
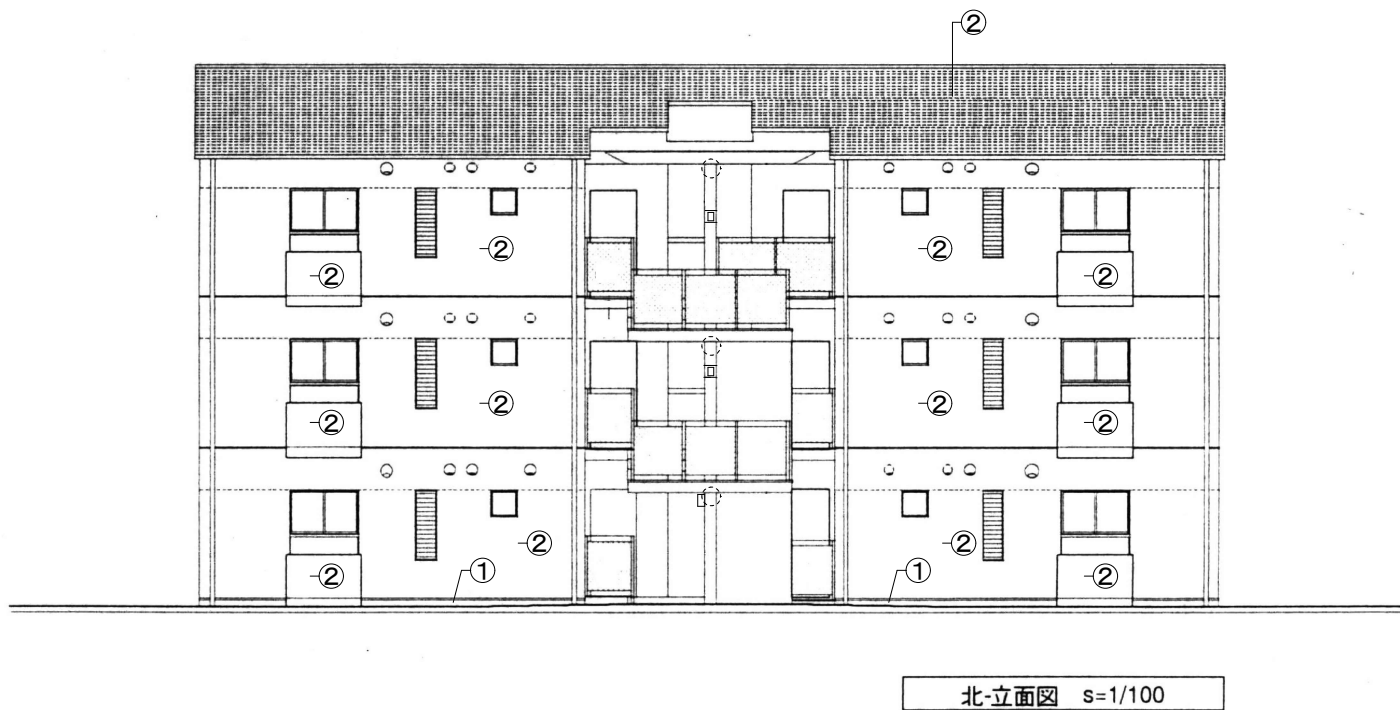
凡例

符号	仕様	備考
◎	消火器（ABC10型）	
△	給気口 φ200	

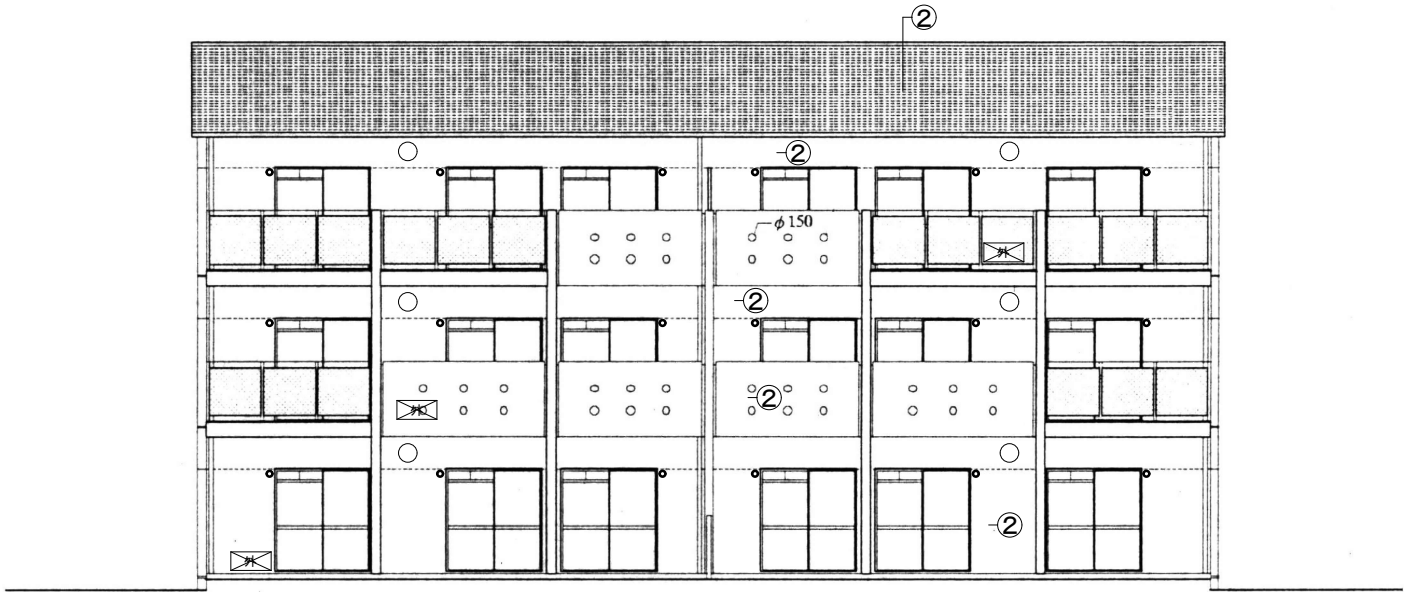


屋根伏図 s=1/100

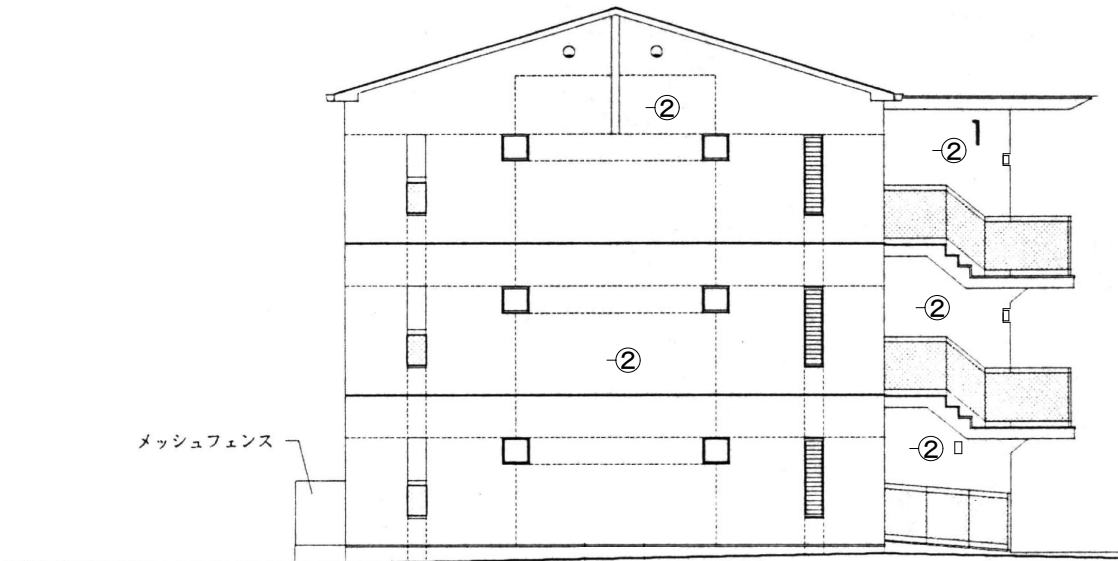
[A]	屋上タラップ	[G]	水道検針盤	[M]	ボックス	[S]	給湯器	①	根廻り：可とう形改修塗材RE	⑩	屋外階段床：可とう形改修塗材RE		空調室外機 北面0 南面3
[B]	物干金物	[H]	警報盤	[N]	プレート	[T]	屋上ハッチ	②	外壁：可とう形改修塗材RE	⑪	屋外階段巾木 ウレタン塗膜防水 ZHM-200L		バラボランテナ 北面0 南面0
[C]	隔板	[I]	換気扇フード	[O]	換気ガラリ	[U]	銅製手摺	③	共用廊下・バルコニー：壁 可とう形改修塗材RE	⑫	屋外階段壁：可とう形改修塗材RE		クーラースリーブ 破損 北面0 南面0
[D]	避難器具	[J]	電気ボックス	[P]	レンジガラリ	[X]	屋外手摺	④	共用廊下・バルコニー：床 防滑性ビニール床シート t=2.5	⑬	屋外階段腰壁（3階） 可とう形改修塗材RE		照明器具 撤去新設 階段 3
[E]	SUS郵便受	[K]	引込開閉器	[Q]	換気レジスター	[Y]		⑤	共用廊下・バルコニー：上裏	⑭	屋外階段上裏 可とう形改修塗材RE		照明器具 撤去新設 北面3 南面6
[F]	掲示板	[L]	電気ボックス	[R]	クーラースリーブ			⑥	共用廊下・バルコニー：上裏（既存ケイカル板t=16） 可とう形改修塗材RE	⑮	足元笠木天端（共用廊下、バルコニー、階段） ウレタン塗膜防水 ZHM-200L		
※ 上記以外は仕上表による。 ※ 打継目地部：全てシーリング打替再充填（開口部廻り共） ※ 軒礎撤去新設、壁礎VP100：撤去新設								⑦	バラベット・バルコニー見付 可とう形改修塗材RE	⑯	室外壁置場（外部、光彩） 室外壁置場（外部、光彩）		
								⑧	バラベット天端（屋上3階倉庫部上部） 既存のまま	⑰	屋根：DP塗装		
								⑨	バラベット上裏 可とう形改修塗材RE				



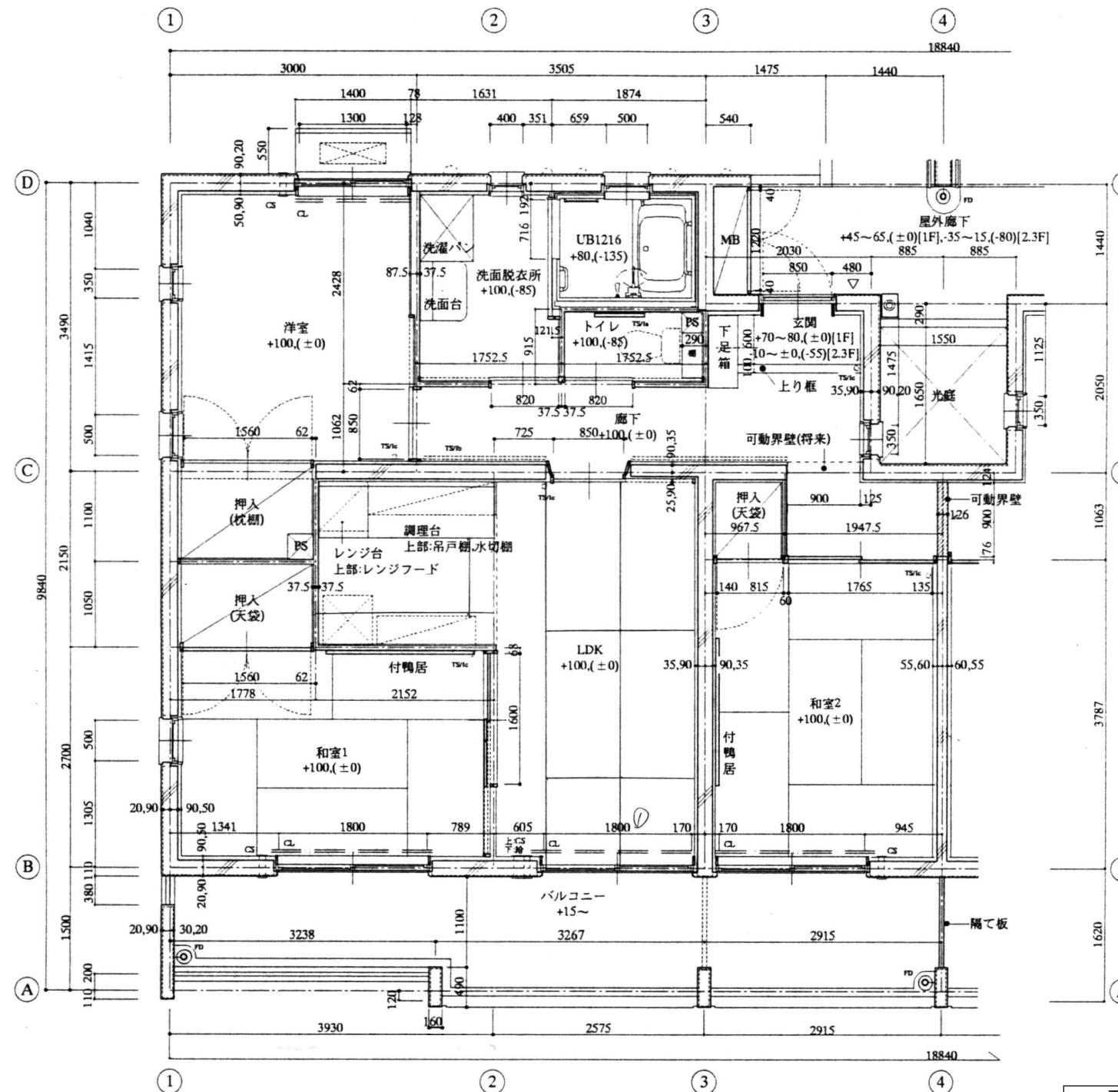
A	屋上タラップ	G	水道検針盤	M	ボックス	S	給湯器	①	根廻り：可とう形改修塗材RE	⑩	屋外階段床：可とう形改修塗材RE	✕	空調室外機 北面0 南面3
B	物干金物	H	警報盤	N	プレート	T	屋上ハッチ	②	外壁：可とう形改修塗材RE	⑪	屋外階段巾木 ウレタン塗膜防水 ZHM-200L	BS	パラボラアンテナ 北面0 南面0
C	隔板	I	換気扇フード	O	換気ガラリ	U	鋼製手摺	③	共用廊下・バルコニー：壁 可とう形改修塗材RE	⑫	屋外階段壁：可とう形改修塗材RE	☒	クーラースリブ'キャップ'破損 北面0 南面0
D	避難器具	J	電気ボックス	P	レンジガラリ	X	屋外手摺	④	共用廊下・バルコニー：床 防滑性ビニール床シート t=2.5	⑬	屋外階段腰壁（3階） 可とう形改修塗材RE	□	照明器具 撤去新設 階段 3
E	SUS郵便受	K	引込開閉器	Q	換気レジスター	Y		⑤	共用廊下・バルコニー：上裏	⑭	屋外階段上裏 可とう形改修塗材RE	○	照明器具 撤去新設 北面3 南面6
F	掲示板	L	電気ボックス	R	クーラースリーブ			⑥	共用廊下・バルコニー：上裏（既存ケイカル板t=16） 可とう形改修塗材RE	⑮	足元笠木天端（共用廊下、バルコニー、階段） ウレタン塗膜防水 ZHM-200L		
《備考》 ※ 上記以外は仕上表による。 ※ 打継目地部：全てシーリング打替再充填（開口部廻り共） ※ 軒樋撤去新設、堅樋VP100：撤去新設								⑦	パラベット・バルコニー見付 可とう形改修塗材RE	⑯	室外壁置場（外部、光彩） 室外壁置場（外部、光彩）		
								⑧	パラベット天端（屋上3階倉庫部上部） 既存のまま	⑰	屋根：DP塗装		
								⑨	パラベット上裏 可とう形改修塗材RE				



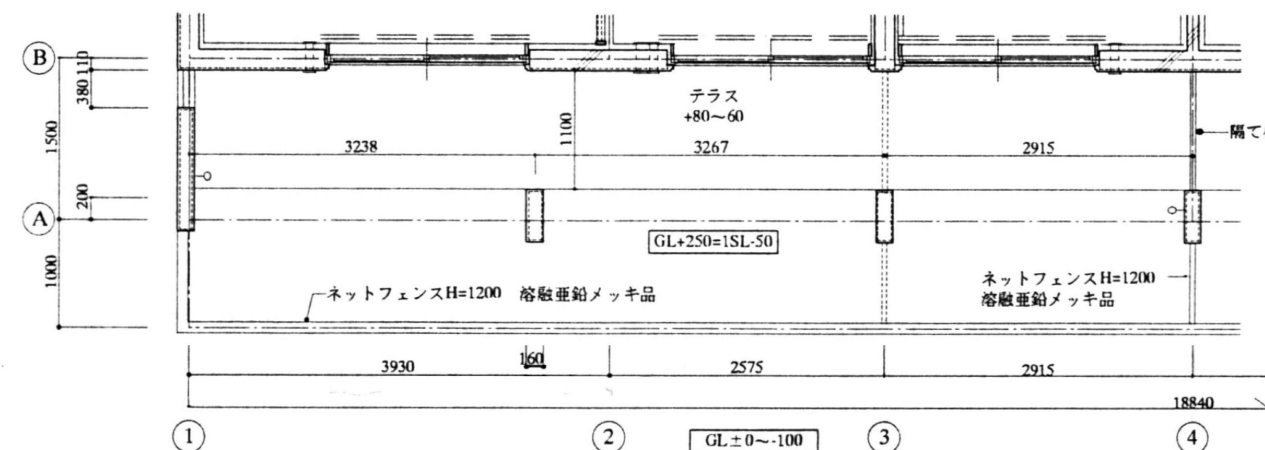
南-立面図 s=1/100



東-立面図 s=1/100

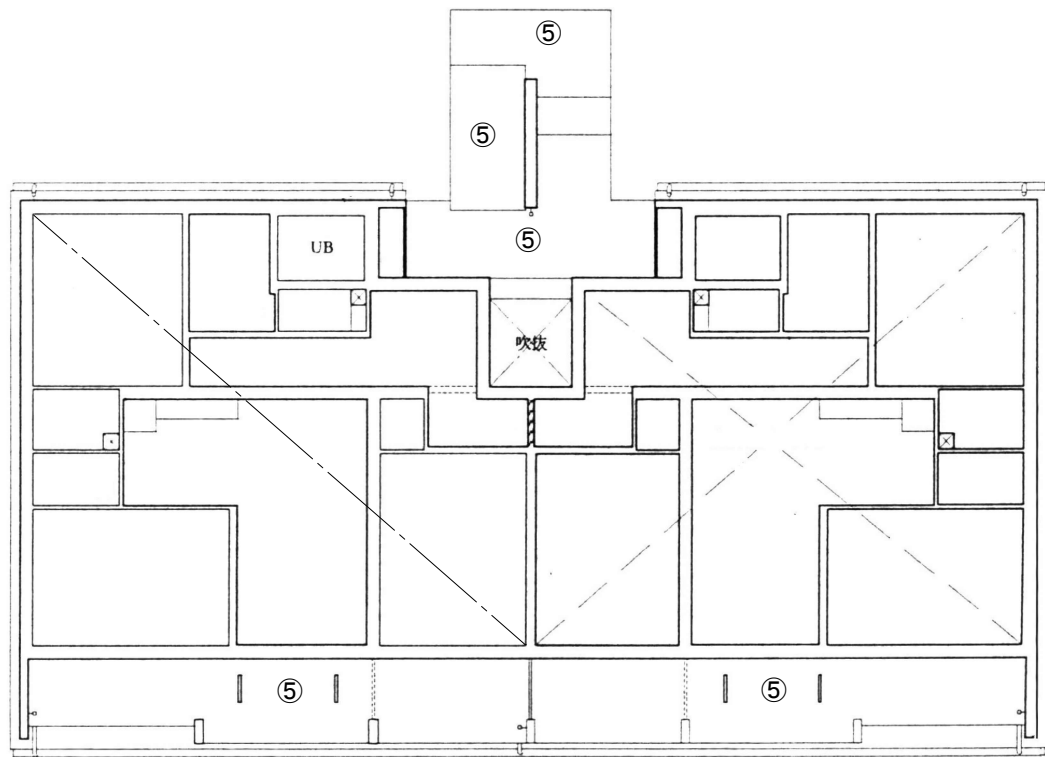


平面詳細図 Scale=1:50

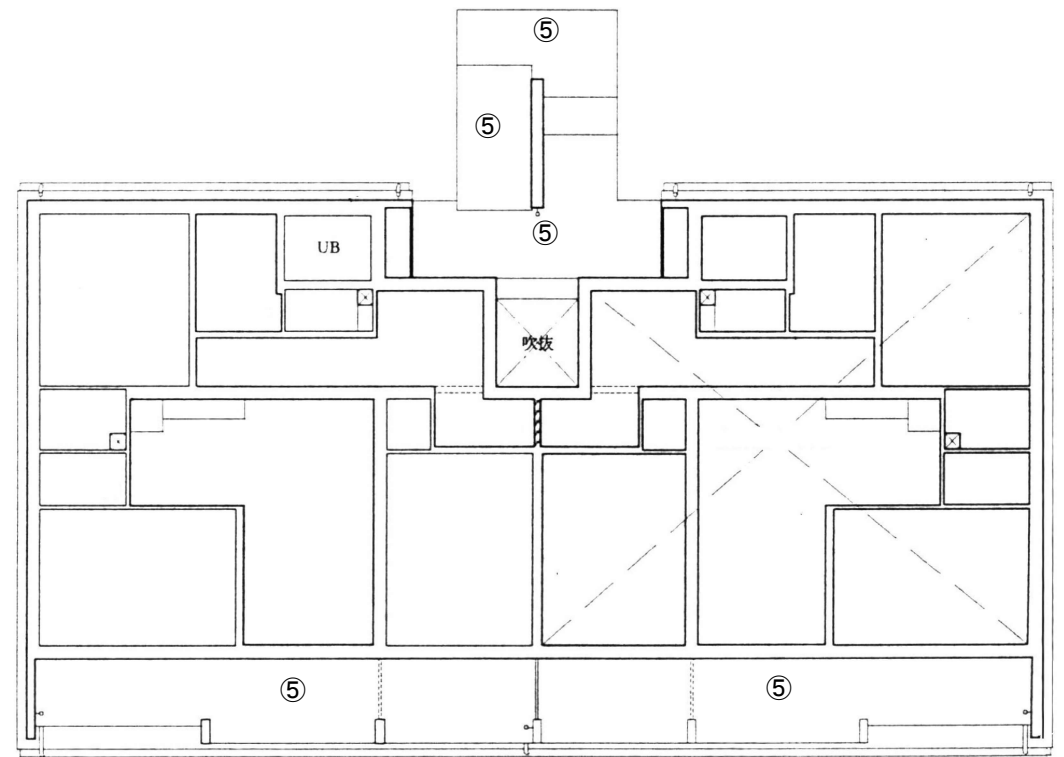


1階部分平面詳細図 Scale=1:50

[A]	屋上タラップ	[G]	水道検針盤	[M]	ボックス	[S]	給湯器	①	根廻り：可とう形改修塗材RE	⑩	屋外階段床：可とう形改修塗材RE		空調室外機 北面0 南面3
[B]	物干金物	[H]	警報盤	[N]	プレート	[T]	屋上ハッチ	②	外壁：可とう形改修塗材RE	⑪	屋外階段巾木 ウレタン塗膜防水 ZHM-200L		バラボラアンテナ 北面0 南面0
[C]	隔板	[I]	換気扇フード	[O]	換気ガラリ	[U]	鋼製手摺	③	共用廊下・バルコニー：壁 可とう形改修塗材RE	⑫	屋外階段壁：可とう形改修塗材RE		クーラースリプキップ 破損 北面0 南面0
[D]	避難器具	[J]	電気ボックス	[P]	レンジガラリ	[X]	屋外手摺	④	共用廊下・バルコニー：床 防滑性ビニール床シート t=2.5	⑬	屋外階段腰壁（3階） 可とう形改修塗材RE		照明器具 撤去新設 階段 3
[E]	SUS郵便受	[K]	引込開閉器	[Q]	換気レジスター	[Y]		⑤	共用廊下・バルコニー：上裏	⑭	屋外階段上裏 可とう形改修塗材RE		照明器具 撤去新設 北面3 南面6
[F]	掲示板	[L]	電気ボックス	[R]	クーラースリプ			⑥	共用廊下・バルコニー：上裏（既存ケイカル板t=16） 可とう形改修塗材RE	⑮	足元笠木天端（共用廊下、バルコニー階段） ウレタン塗膜防水 ZHM-200L		
※ 備考※ ※ 上記以外は仕上表による。 ※ 打継目地部：全てシーリング打替再充填（開口部廻り共） ※ 軒樋撤去新設、壁樋VP100：撤去新設								⑦	バラベット・バルコニー見付 可とう形改修塗材RE	⑯	室外壁置場（外部、光彩） 室外壁置場（外部、光彩）		
								⑧	バラベット天端（屋上3階倉庫部上部） 既存のまま	⑰	屋根：DP塗装		
								⑨	バラベット上裏 可とう形改修塗材RE				

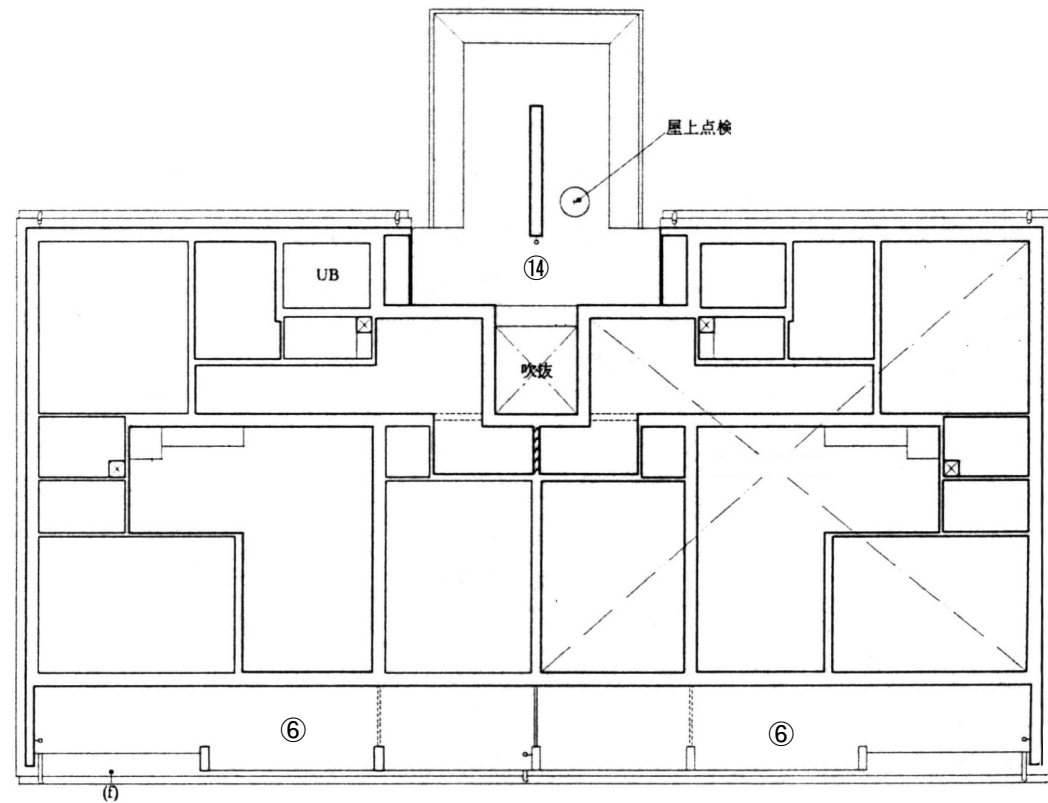


1階天井伏せ図 S=1/100

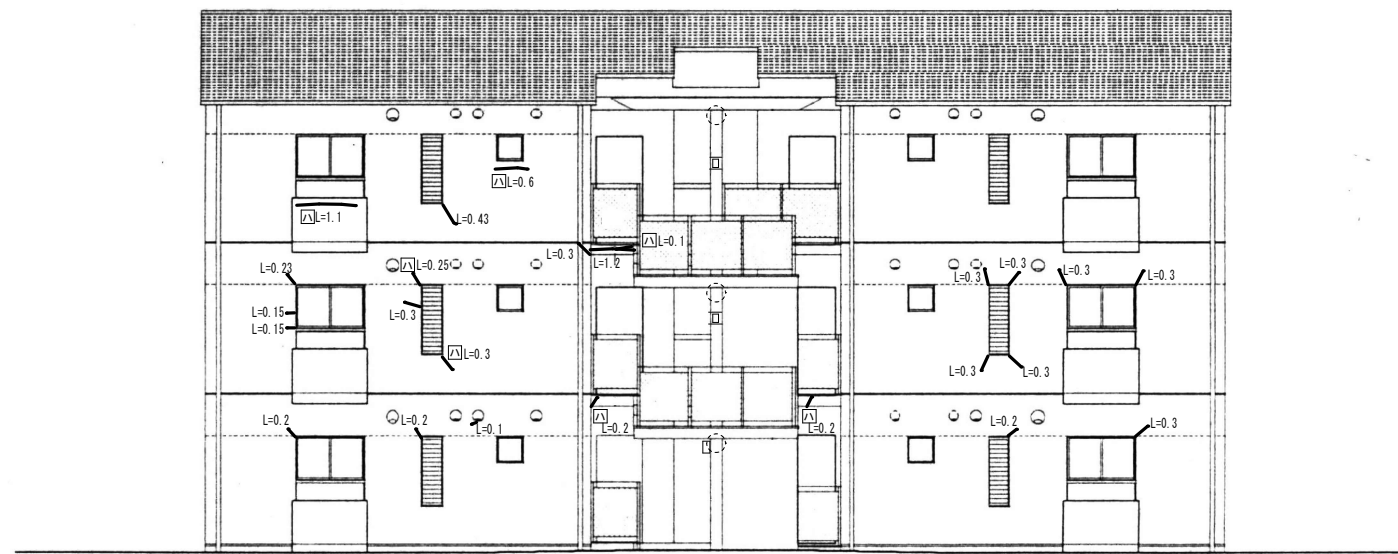


2階天井伏せ図 S=1/100

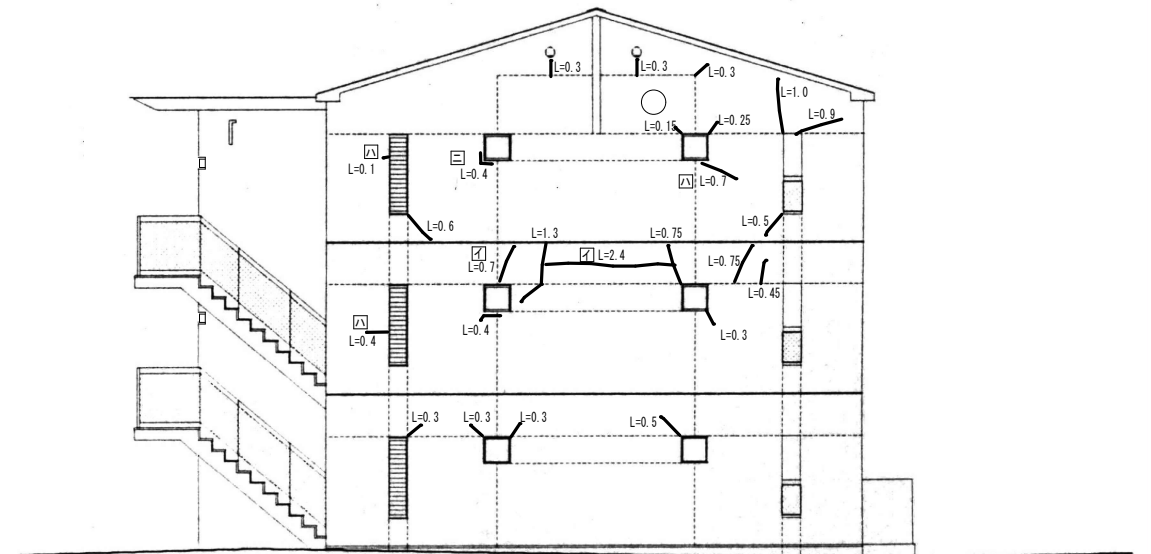
[A]	屋上タラップ	[G]	水道検針盤	[M]	ボックス	[S]	給湯器	①	根廻り：可とう形改修塗材RE	⑩	屋外階段床：可とう形改修塗材RE		空調室外機 北面0 南面3
[B]	物干金物	[H]	警報盤	[N]	プレート	[T]	屋上ハッチ	②	外壁：可とう形改修塗材RE	⑪	屋外階段巾木 ウレタン塗膜防水 ZHM-200L		バラボラアンテナ 北面0 南面0
[C]	隔板	[I]	換気扇フード	[O]	換気ガラリ	[U]	鋼製手摺	③	共用廊下・バルコニー 壁：可とう形改修塗材RE	⑫	屋外階段壁：可とう形改修塗材RE		クーラースリプキップ 破損 北面0 南面0
[D]	避難器具	[J]	電気ボックス	[P]	レンジガラリ	[X]	屋外手摺	④	共用廊下・バルコニー 床 防滑性ビニール床シート t=2.5	⑬	屋外階段腰壁（3階） 可とう形改修塗材RE		照明器具 撤去新設 階段 3
[E]	SUS郵便受	[K]	引込開閉器	[Q]	換気レジスター	[Y]		⑤	共用廊下・バルコニー 上裏	⑭	屋外階段上裏 可とう形改修塗材RE		照明器具 撤去新設 北面3 南面6
[F]	掲示板	[L]	電気ボックス	[R]	クーラースリプ			⑥	共用廊下・バルコニー 上裏（既存ケイカル板t=16） 可とう形改修塗材RE	⑮	足元笠木天端（共用廊下、バルコニー階段） ウレタン塗膜防水 ZHM-200L		
※ 備考※ ※ 上記以外は仕上表による。 ※ 打継目地部：全てシーリング打替再充填（開口部廻り共） ※ 軒樋撤去新設、壁樋VP100：撤去新設								⑦	バラベット・バルコニー見付 可とう形改修塗材RE	⑯	室外壁置場（外部、光彩） 室外壁置場（外部、光彩）		
								⑧	バラベット天端（屋上3階倉庫部上部） 既存のまま	⑰	屋根：DP塗装		
								⑨	バラベット上裏 可とう形改修塗材RE				



3階天井伏せ図 S=1/100



北-立面图 s=1/100



西-立面图 $s=1/100$

	クラック巾 (mm)	数 量		係数		備 考
㊦	0.1					
㊧	0.2	$0.1 \times 1 + 0.15 \times 2 + 0.2 \times 4 + 0.23 \times 1 + 0.3 \times 9 + 0.43 \times 1 + 1.2 \times 1 = 5.76$				
㊨	0.3	$0.1 \times 1 + 0.2 \times 2 + 0.25 \times 1 + 0.3 \times 1 + 0.6 \times 1 + 1.1 \times 1 = 2.75$	計 8.51	1.5	12.765	
㊩	0.4					
㊪	モルタル厚き (㎡)					
㊫						

	クラック巾 (mm)	数 量		係数		備 考
㊦	0.1	$0.7 \times 1 + 2.4 \times 1$	$= 3.1$			
㊧	0.2	$0.15 \times 1 + 0.25 \times 1 + 0.3 \times 7 + 0.4 \times 1 + 0.45 \times 1 + 0.5 \times 1 + 0.6 \times 1 + 0.75 \times 2 + 0.9 \times 1 + 1.0 \times 1 + 1.3 \times 1$	$= 9.15$			
㊨	0.3	$0.1 \times 1 + 0.4 \times 1 + 0.7 \times 1$	$= 1.2$	計 13.85	1.5	20.775
㊩	0.4	0.4×1	$= 0.4$			
㊪	モルタル浮き (㎡)					
㊫						

クラック参考数量

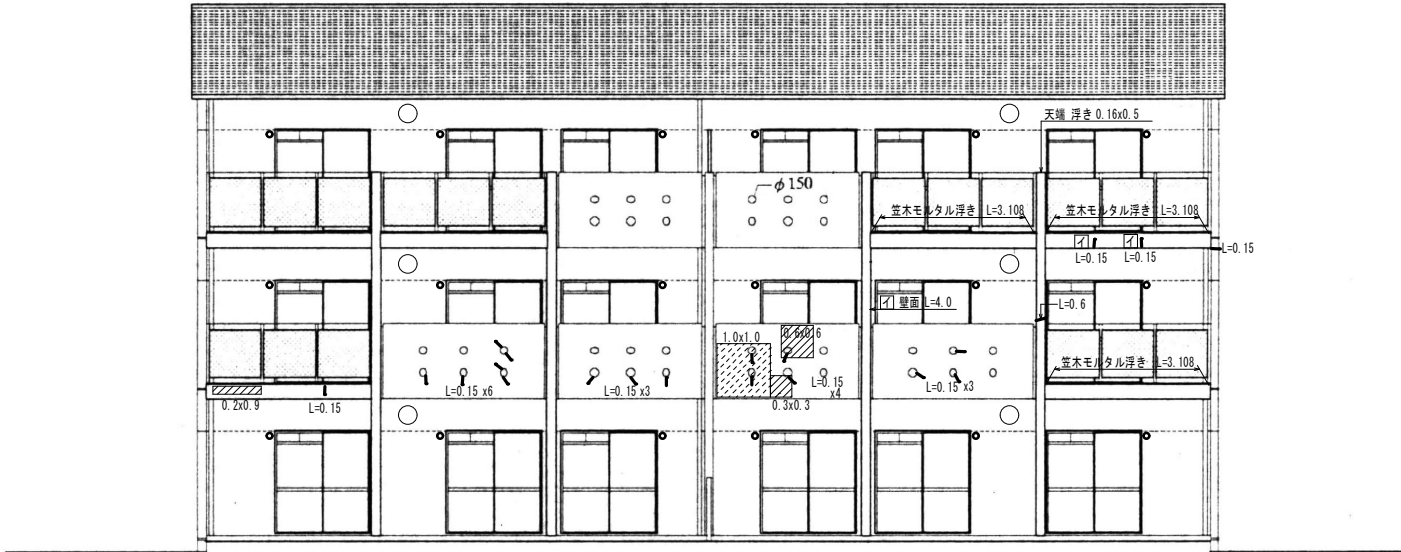
北側立面	12.765
南側立面	9.525
西側立面	20.775
東側立面	42.675
合 計	85.74

合 計	85.74
-----	-------

86 (m)

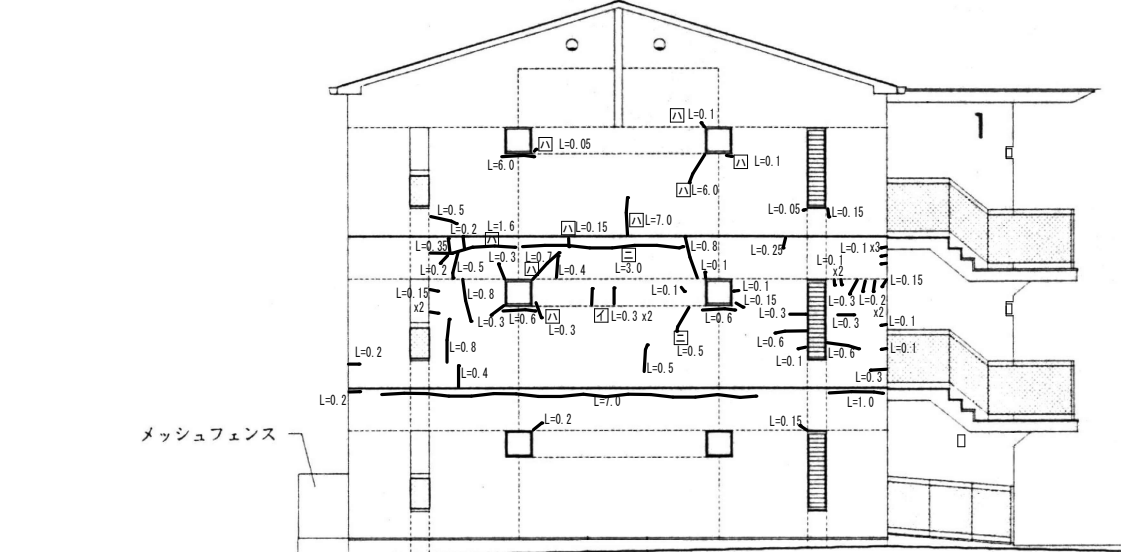
参考数量

床、外壁、笠木
モルタル面アンカージョイント 部分エポキシ樹脂 注入
モルタル浮き 111 (m²)



※ 特記無きは 回 を示す

南-立面図 s=1/100

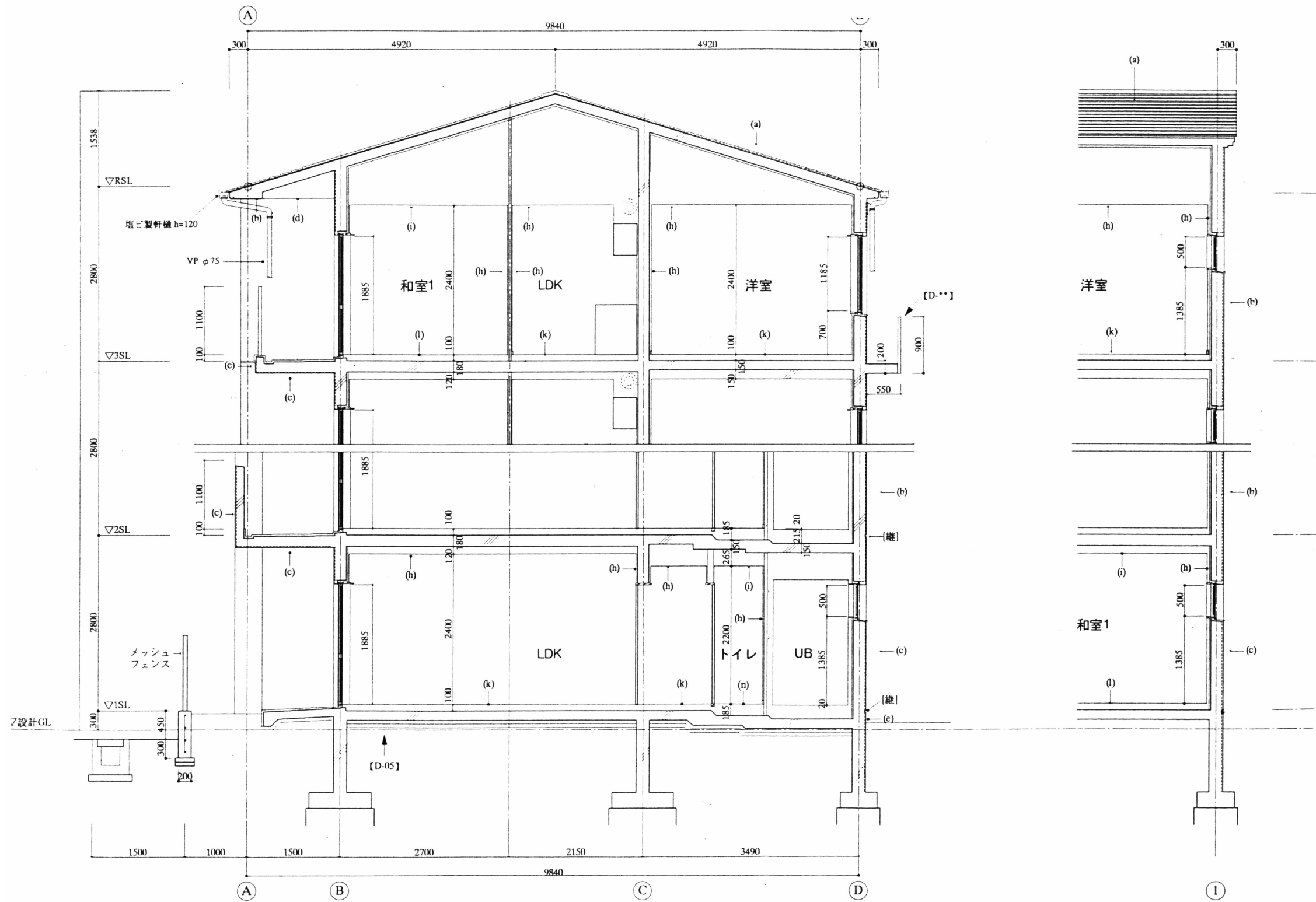


※ 特記無きは 回 を示す

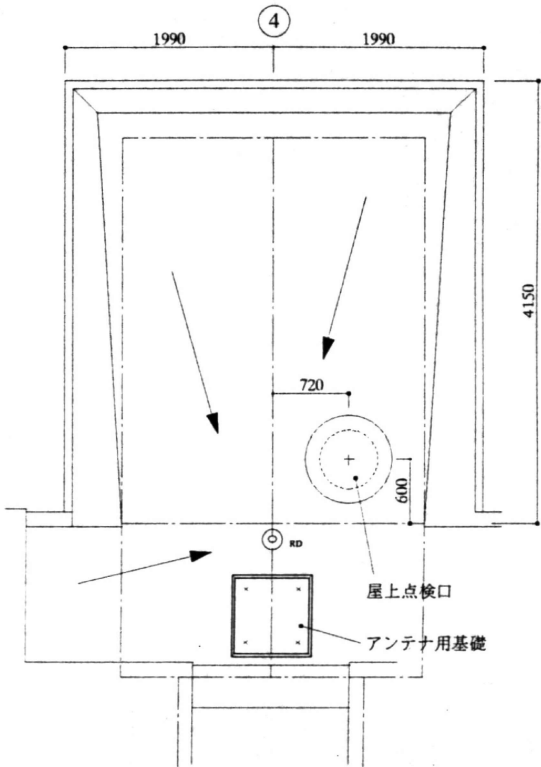
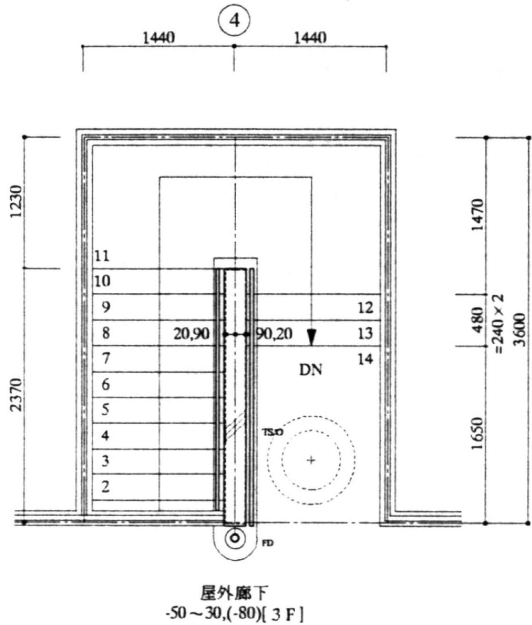
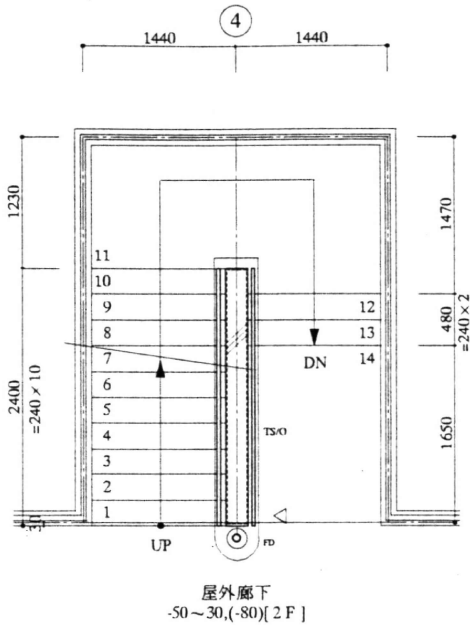
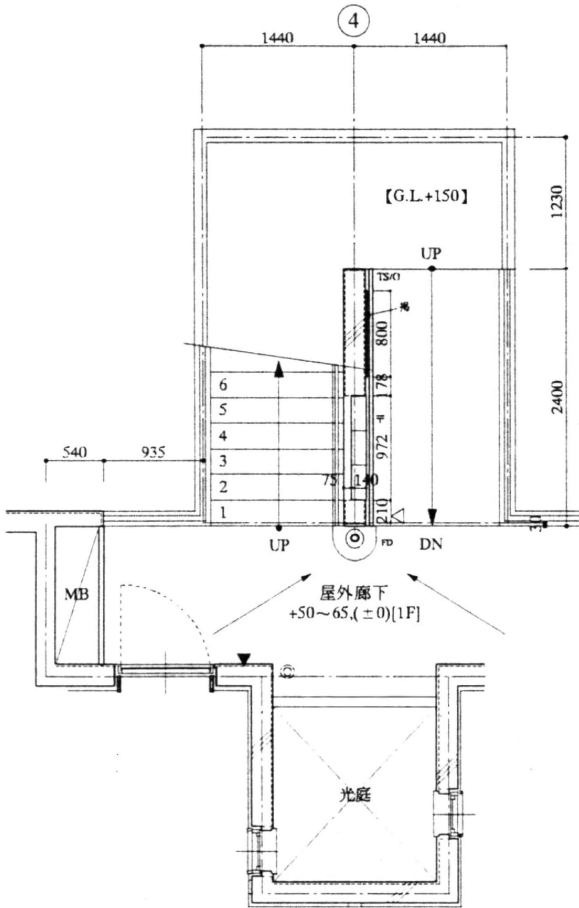
東-立面図 s=1/100

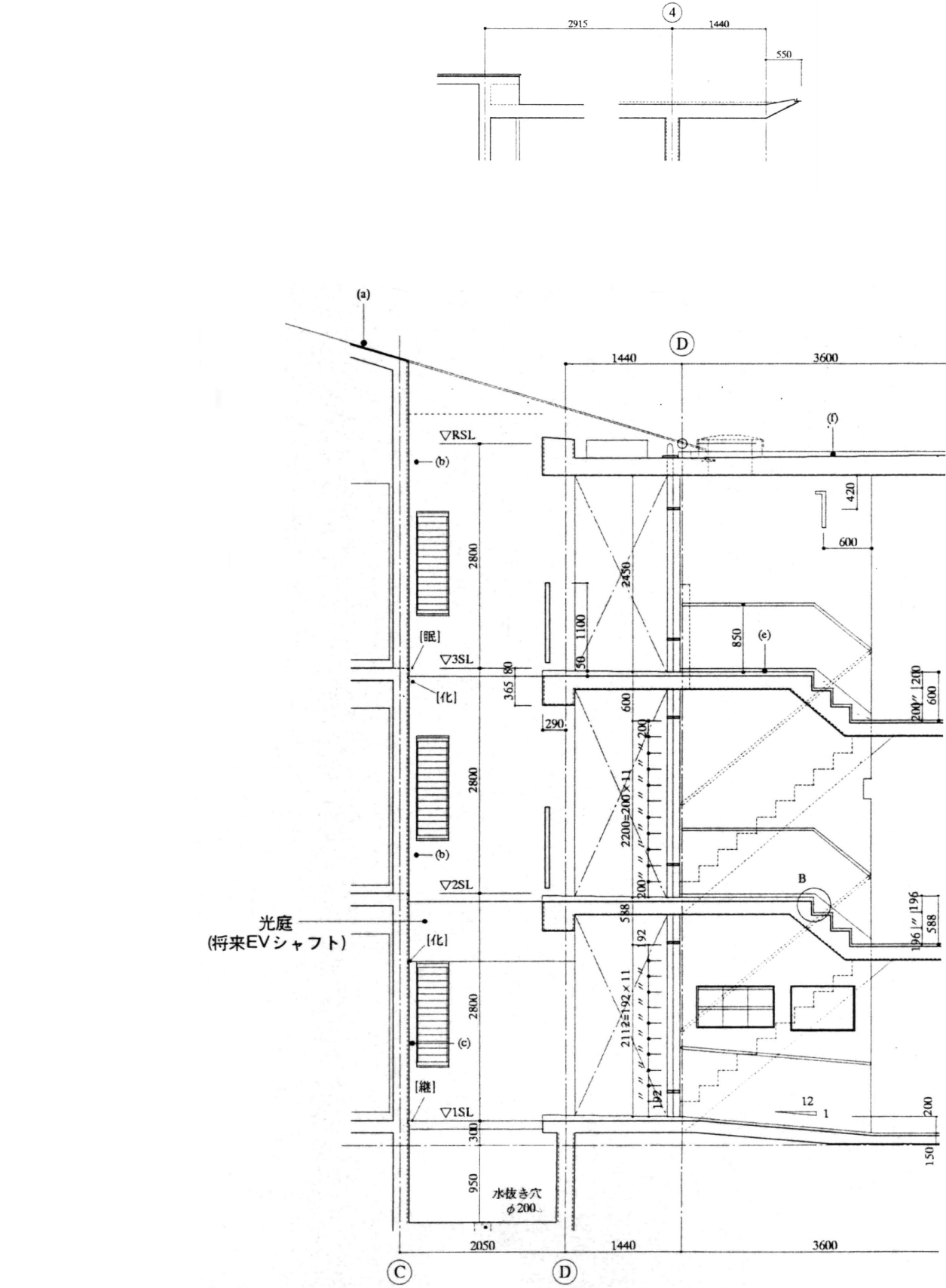
	クラック巾 (mm)	数 量		係数		備 考
㊦	0.1	0.15 x 2	= 0.3			
㊧	0.2	0.15 x 18 + 0.6 x 1	= 3.3			
㊨	0.3	0.1 x 1 + 0.2 x 2 + 0.25 x 1 + 0.3 x 1 + 0.6 x 1 + 1.1 x 1	= 2.75	計 6.35	1.5	9.525
㊩	0.4					
㊪	モルタル浮き (㎡)	0.16 x 0.49 x 1 + 0.18 x 3.108 x 2	= 1.19728			
㊫	塗装 浮き (㎡)	0.2 x 0.9 x 1 + 1.0 x 1.0 x 1 + 0.6 x 0.6 x 1 + 0.3 x 0.3 x 1	= 1.63			

	クラック巾 (mm)	数 量		係数		備 考
㊦	0.1	0.3 x 2	= 0.6			
㊧	0.2	0.05 x 1 + 0.1 x 11 + 0.15 x 6 + 0.2 x 7 + 0.25 x 1 + 0.3 x 6 + 0.35 x 1 + 0.4 x 2 + 0.5 x 3 + 0.6 x 5 + 0.7 x 1 + 0.8 x 3 + 1.0 x 1 + 7.0 x 1	= 22.25			
㊨	0.3	0.1 x 2 + 0.15 x 1 + 0.3 x 1 + 0.6 x 1 + 0.7 x 1	= 2.1			
㊩	0.4	0.5 x 1 + 3.0 x 1	= 3.5	計 1.5		42.675
㊪	モルタル浮き (㎡)					
㊫						

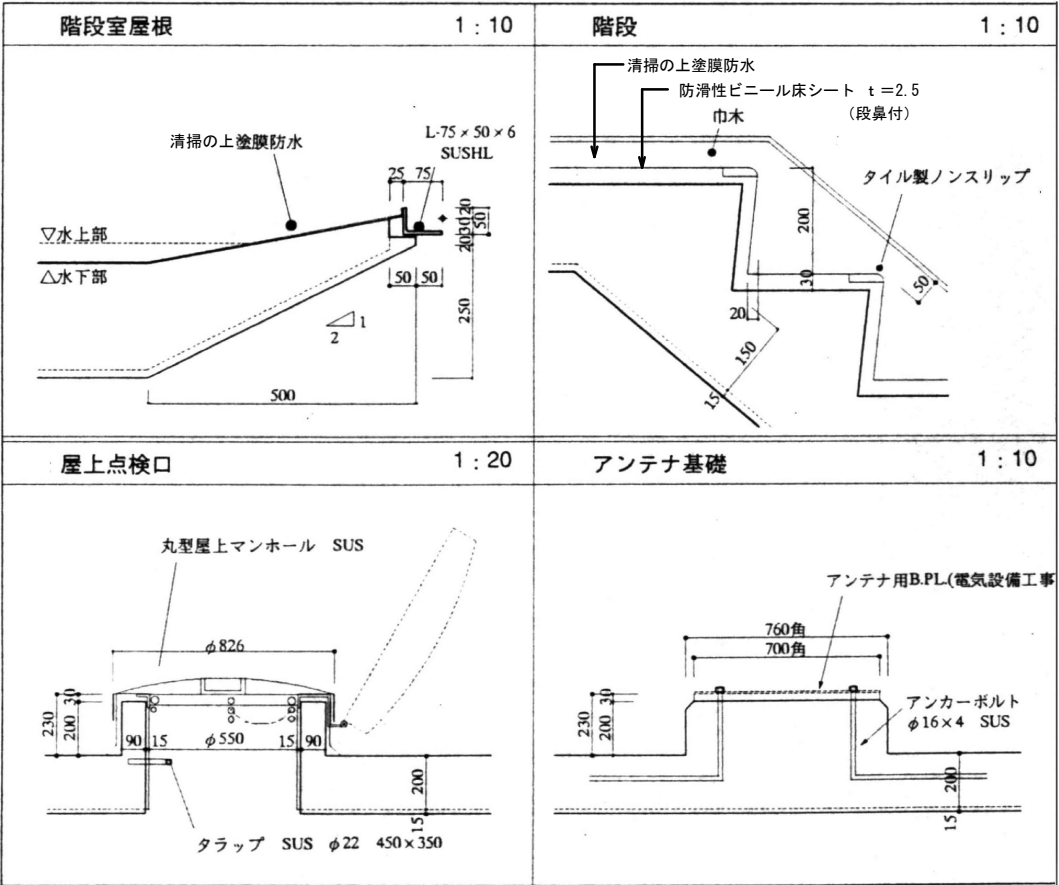


符号	名称	備考
〒	集合郵便受	公団型6戸用
◎	消火器 ABC10式	
掲	掲示板 600×900	レザー貼(グレー)
FD	フロアードレイン	
TS/O	手摺 (屋外)	

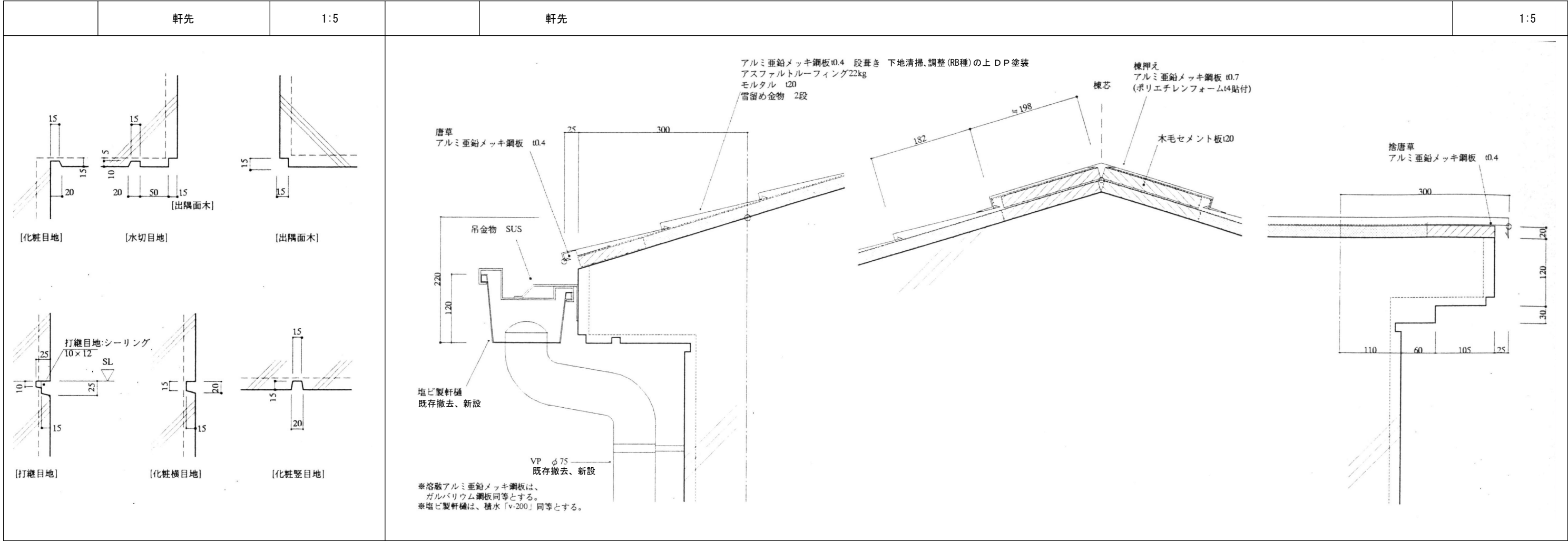




凡例		
符号	仕上	備考
(a)	溶融75mm亜鉛メッキ鋼板段葺き	
(b)	B種打放し補修の上ビニル樹脂系艶消し塗料吹付	
(c)	B種打放し補修の上薄塗材E吹付	
(d)		
(e)	防水モルタルコテ押え	
(f)	コンクリートコテ押えの上塗膜防水	
(g)		



参考図



参考図

バルコニー

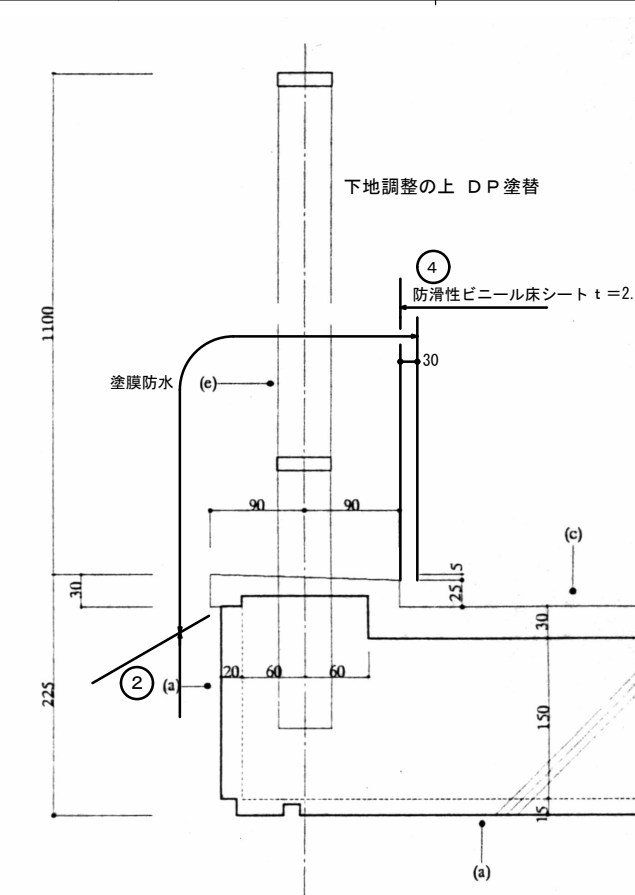
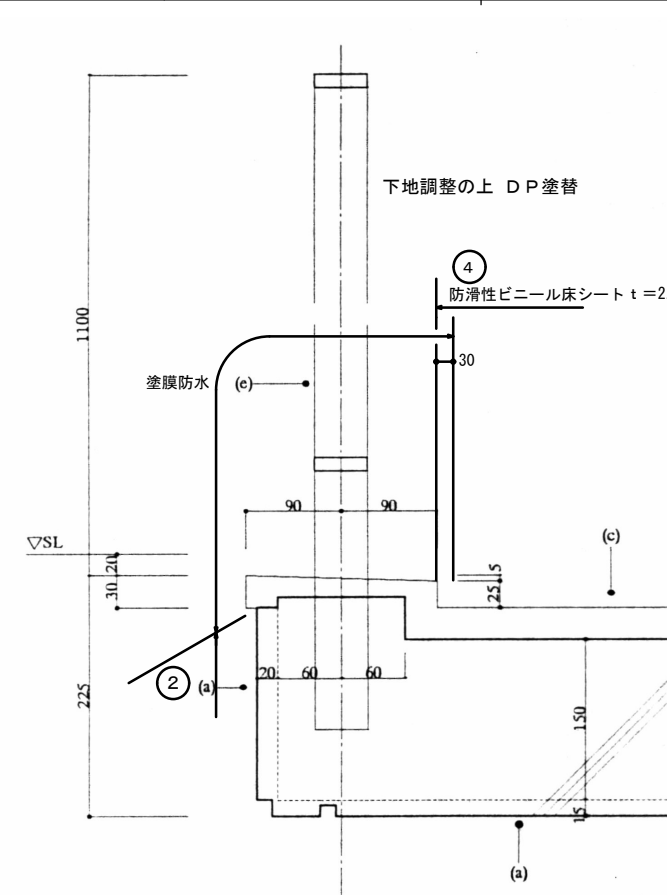
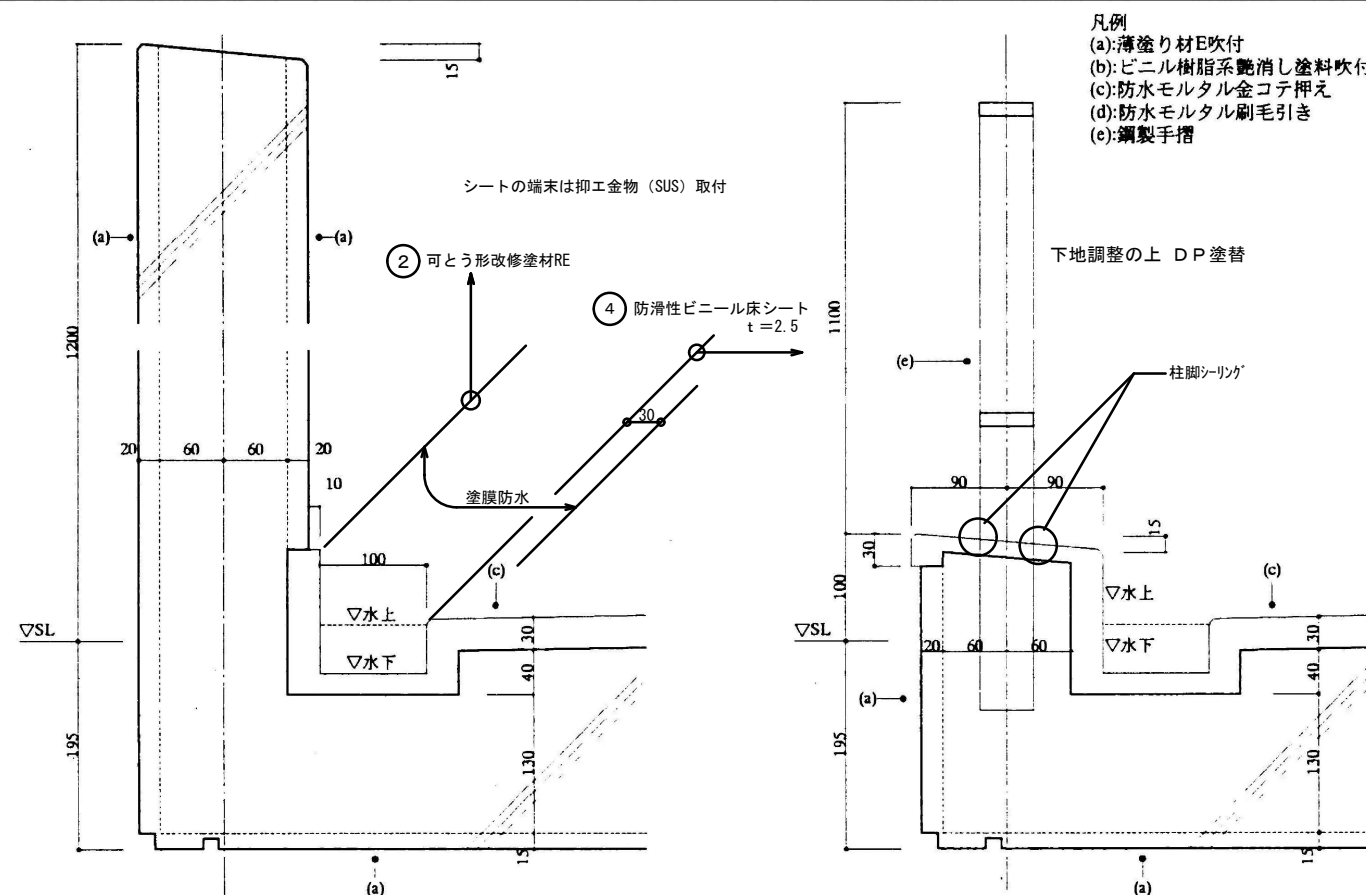
1:5

屋外廊下

1:5

階段踊り場

1:5

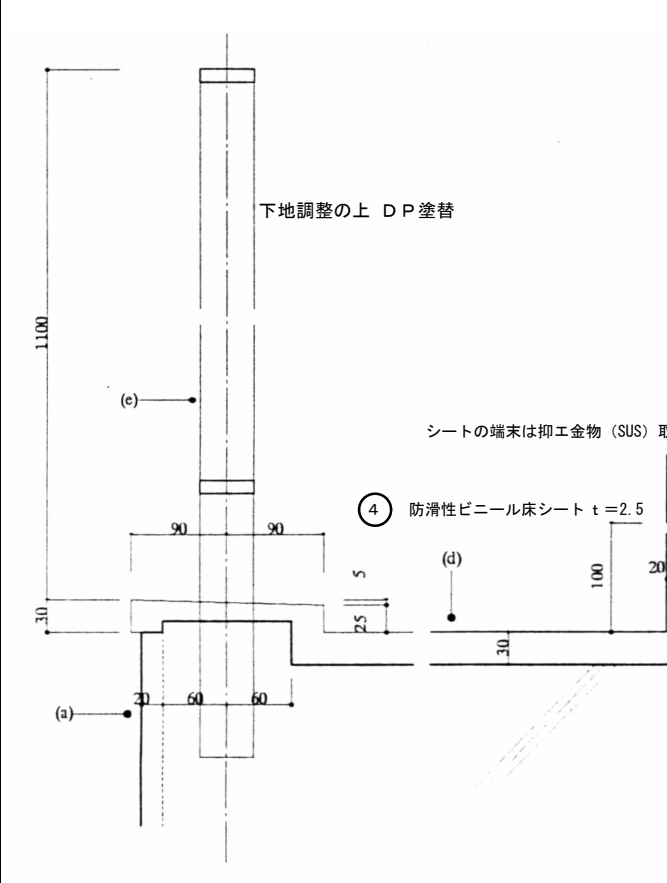
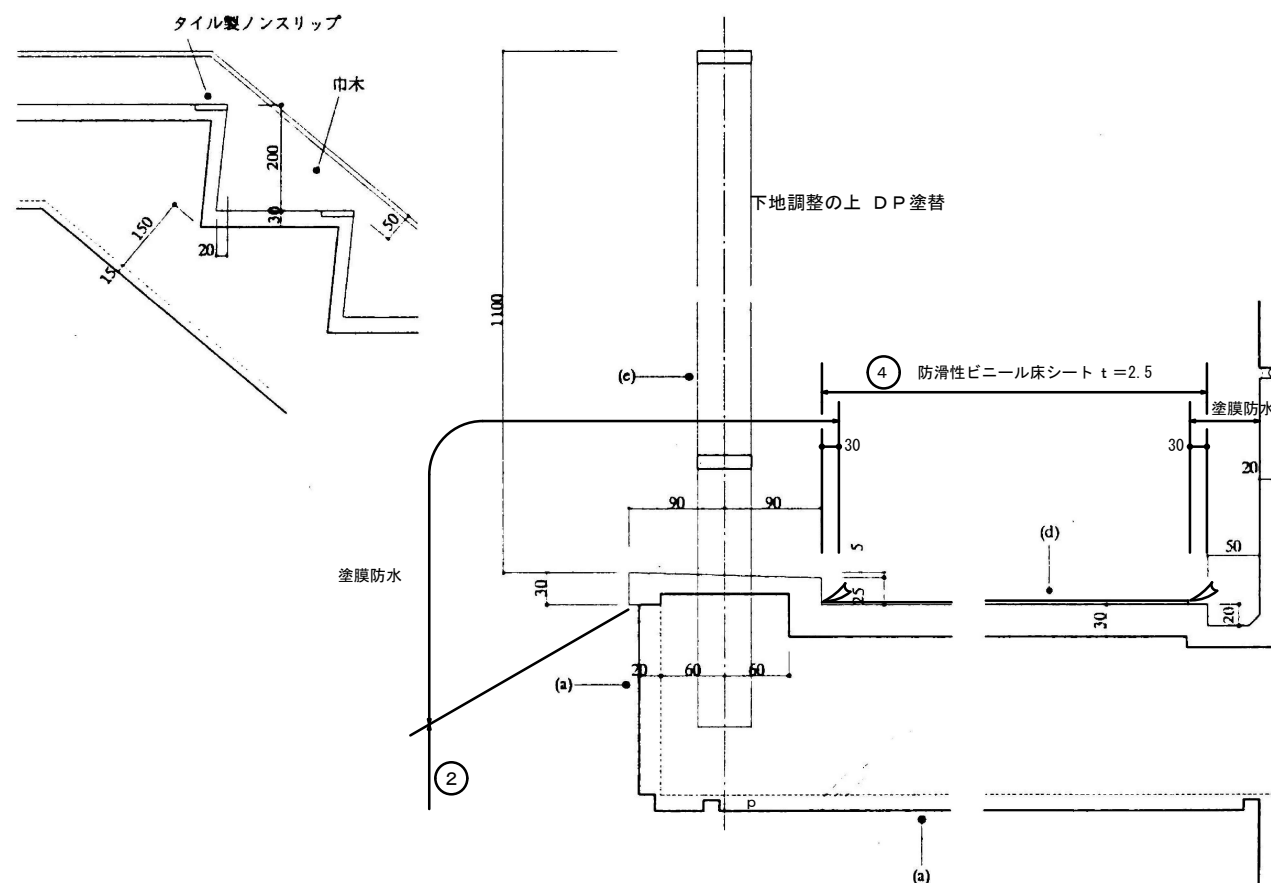


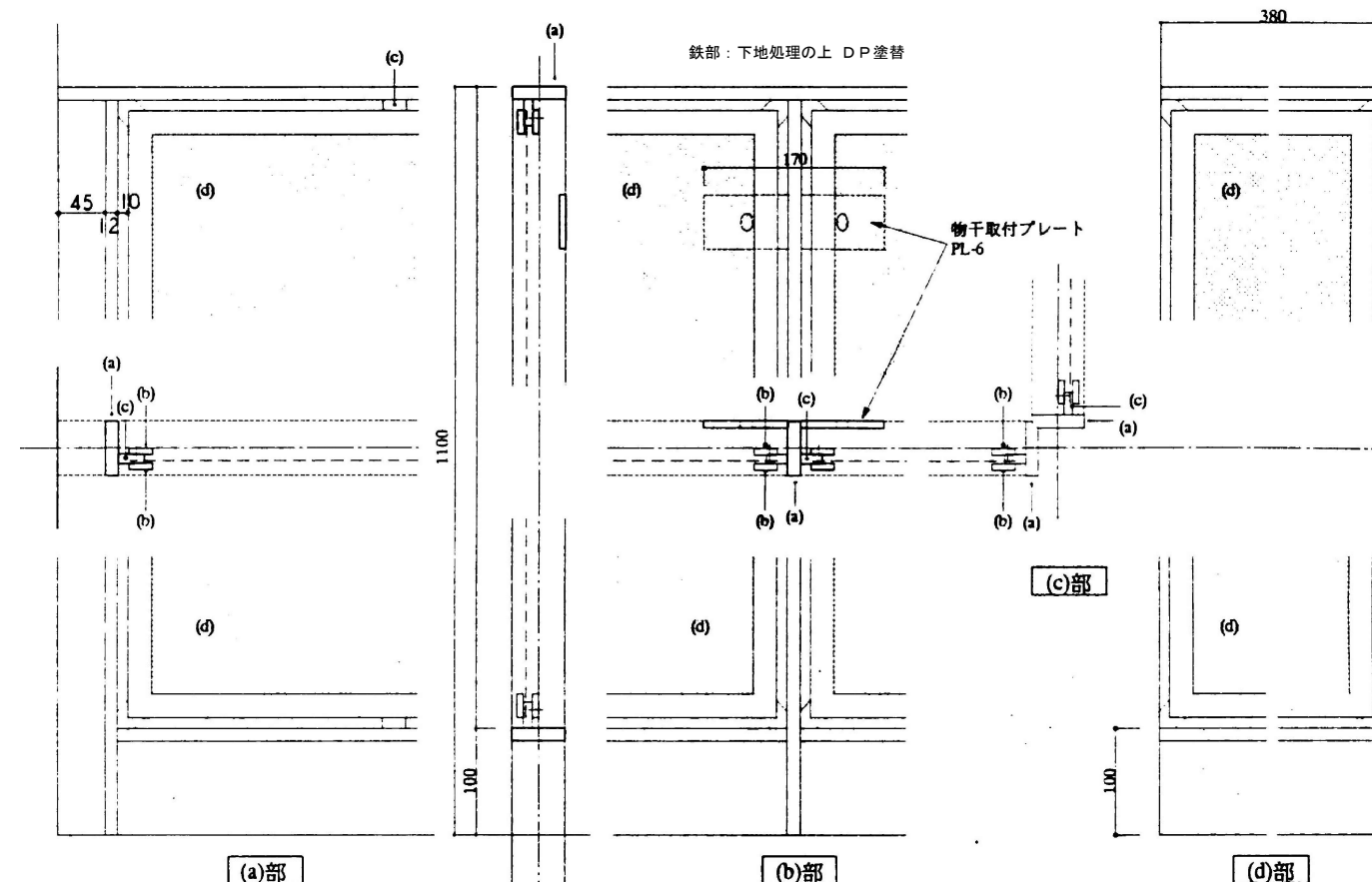
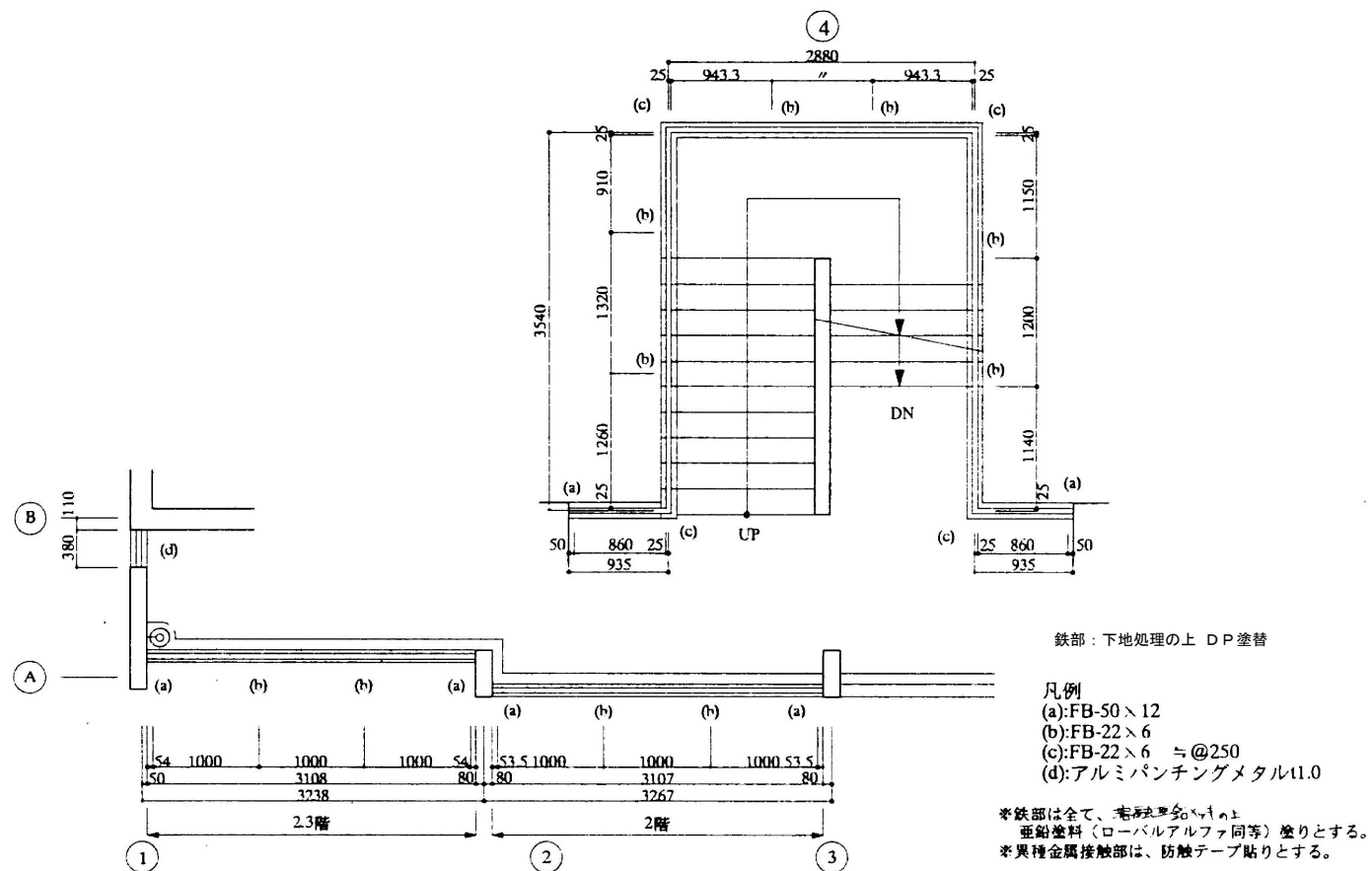
階段

1:5,10

1階スロープ

1:5





【 D - 1 1 】

AC屋外機置場

1 : 5 · 2 0

【 D - 1 2 】

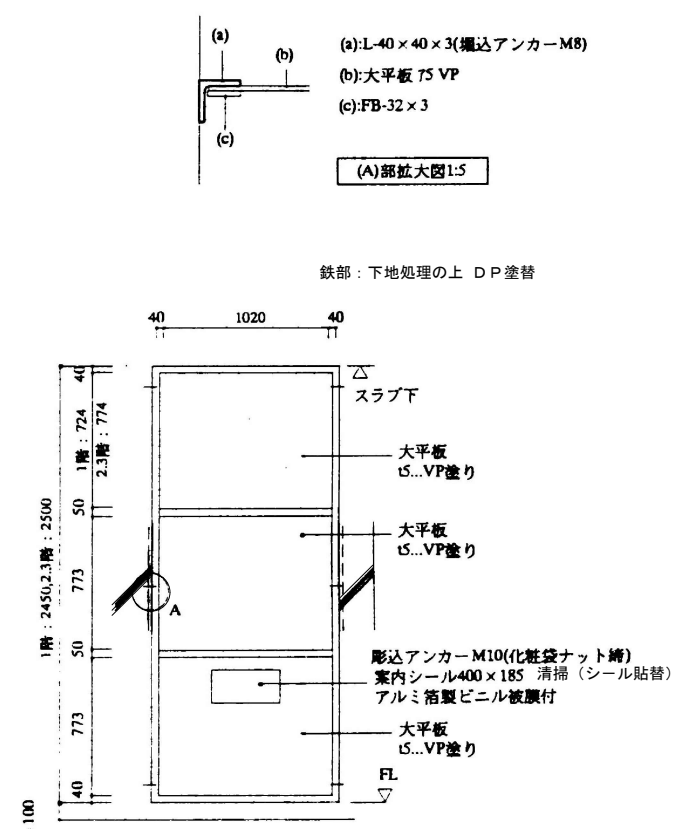
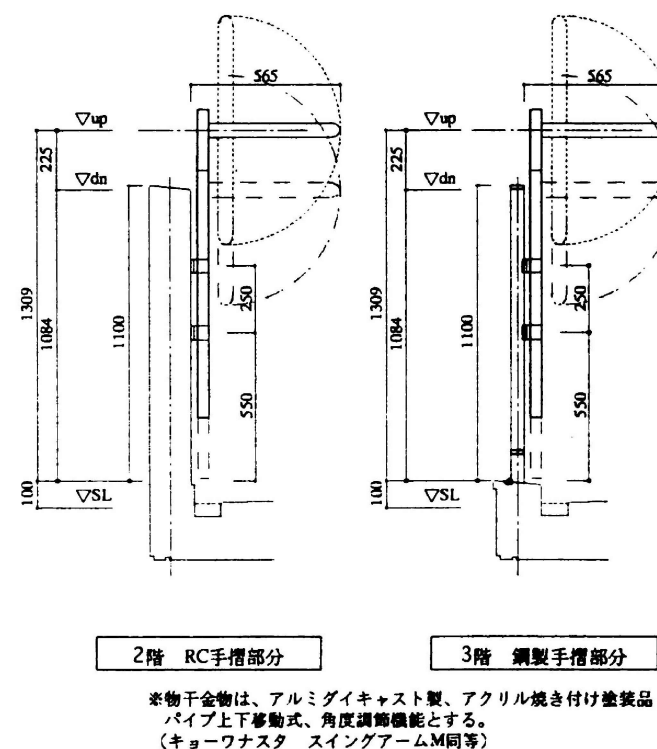
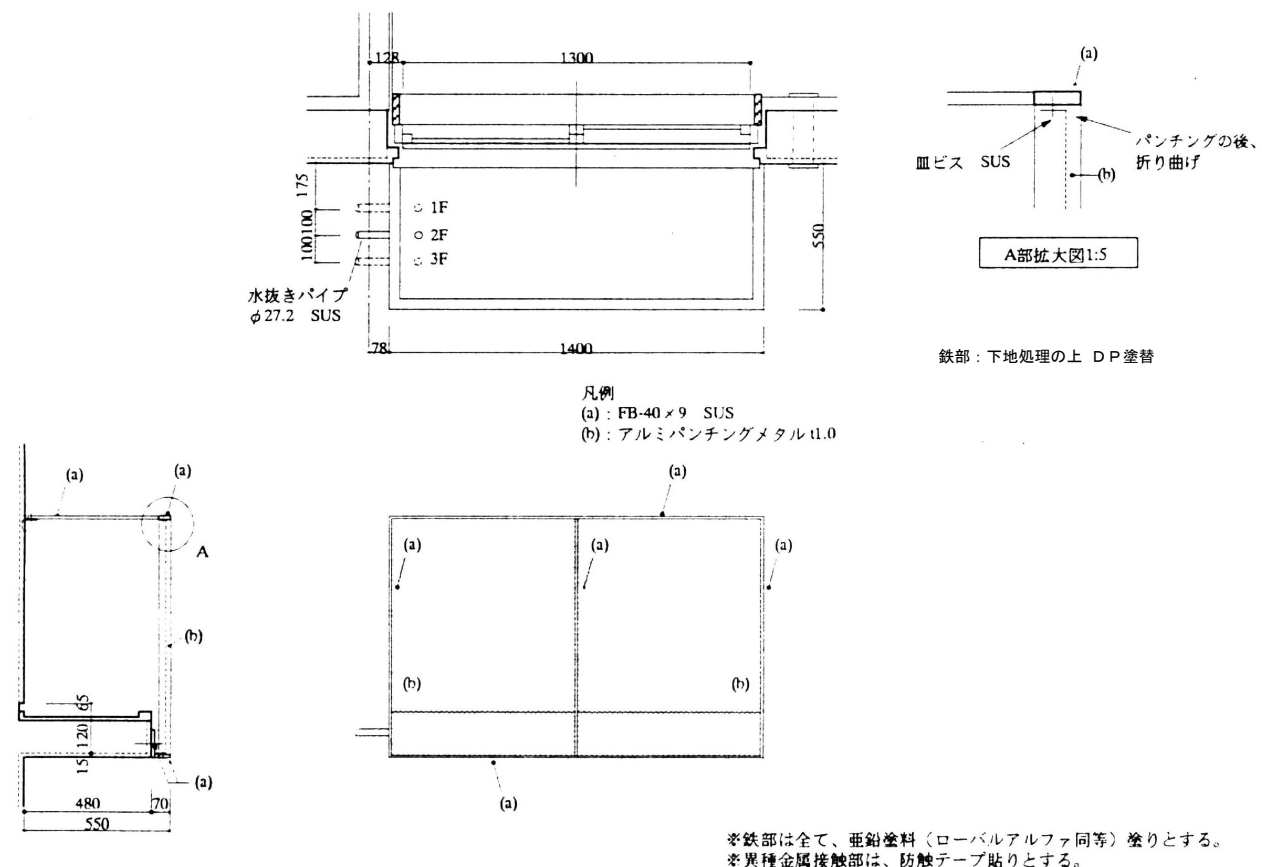
物干金物

1:20

【 D - 1 3 】

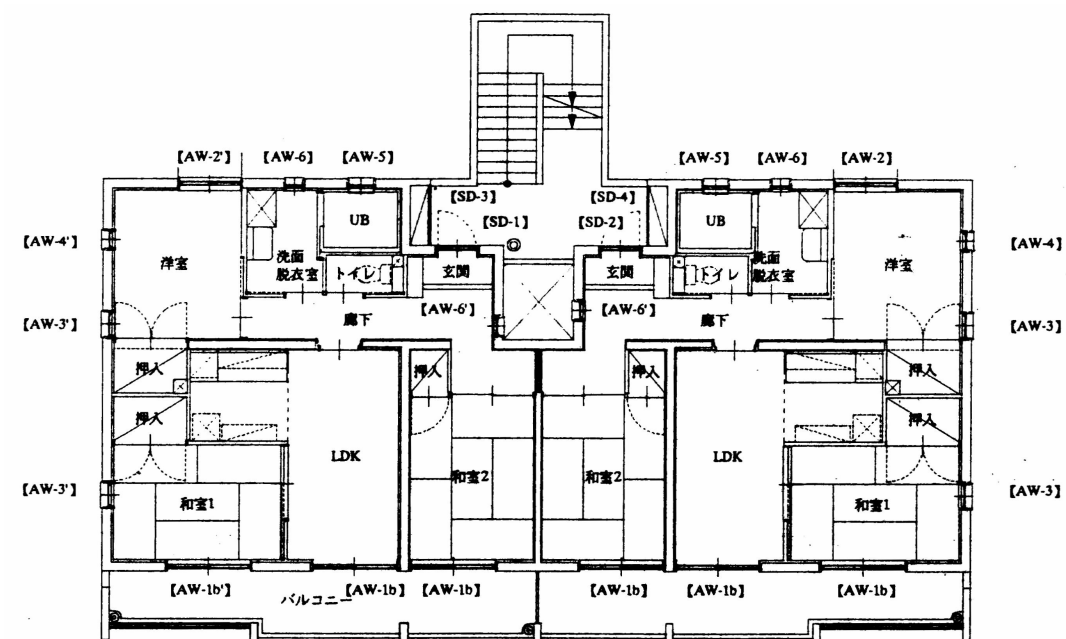
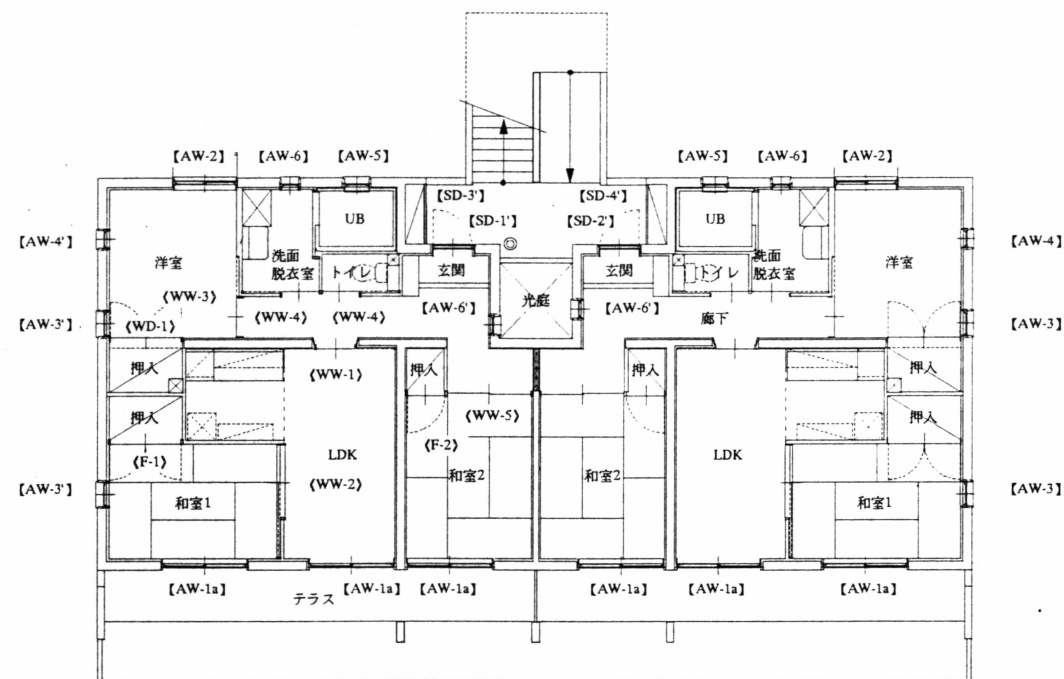
バルコニー隔て板

1 : 5 • 3 0



建具キープラン

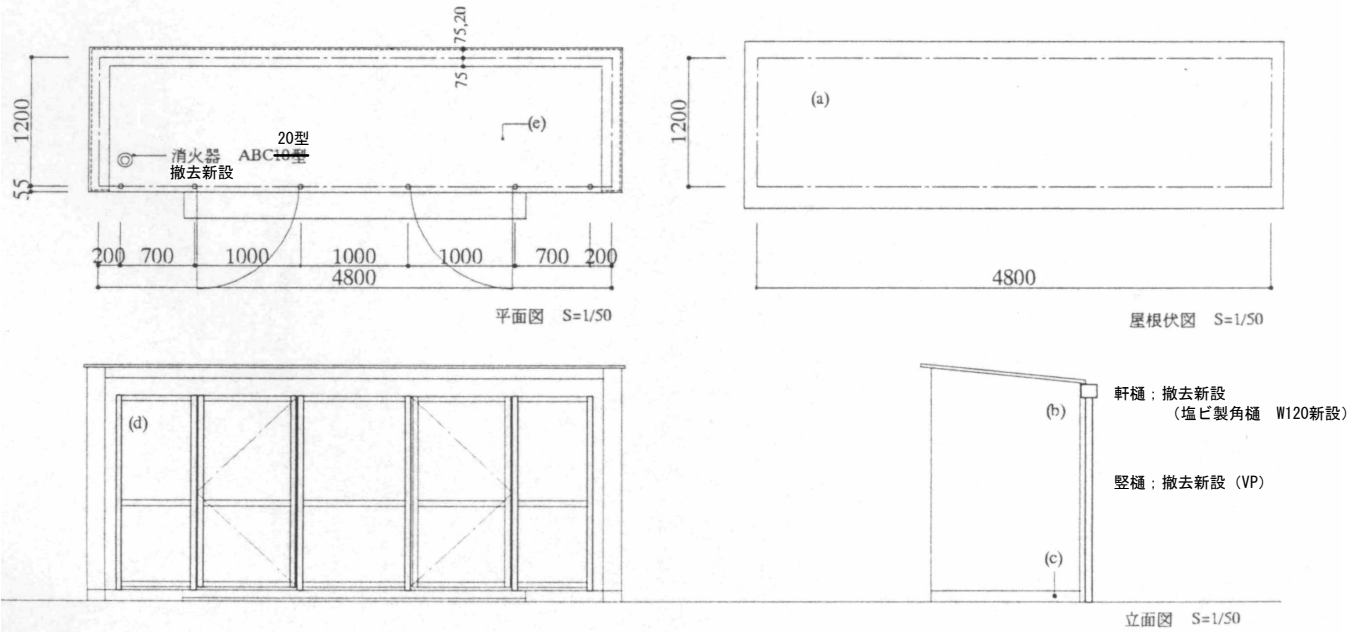
2 · 3 F



参考図

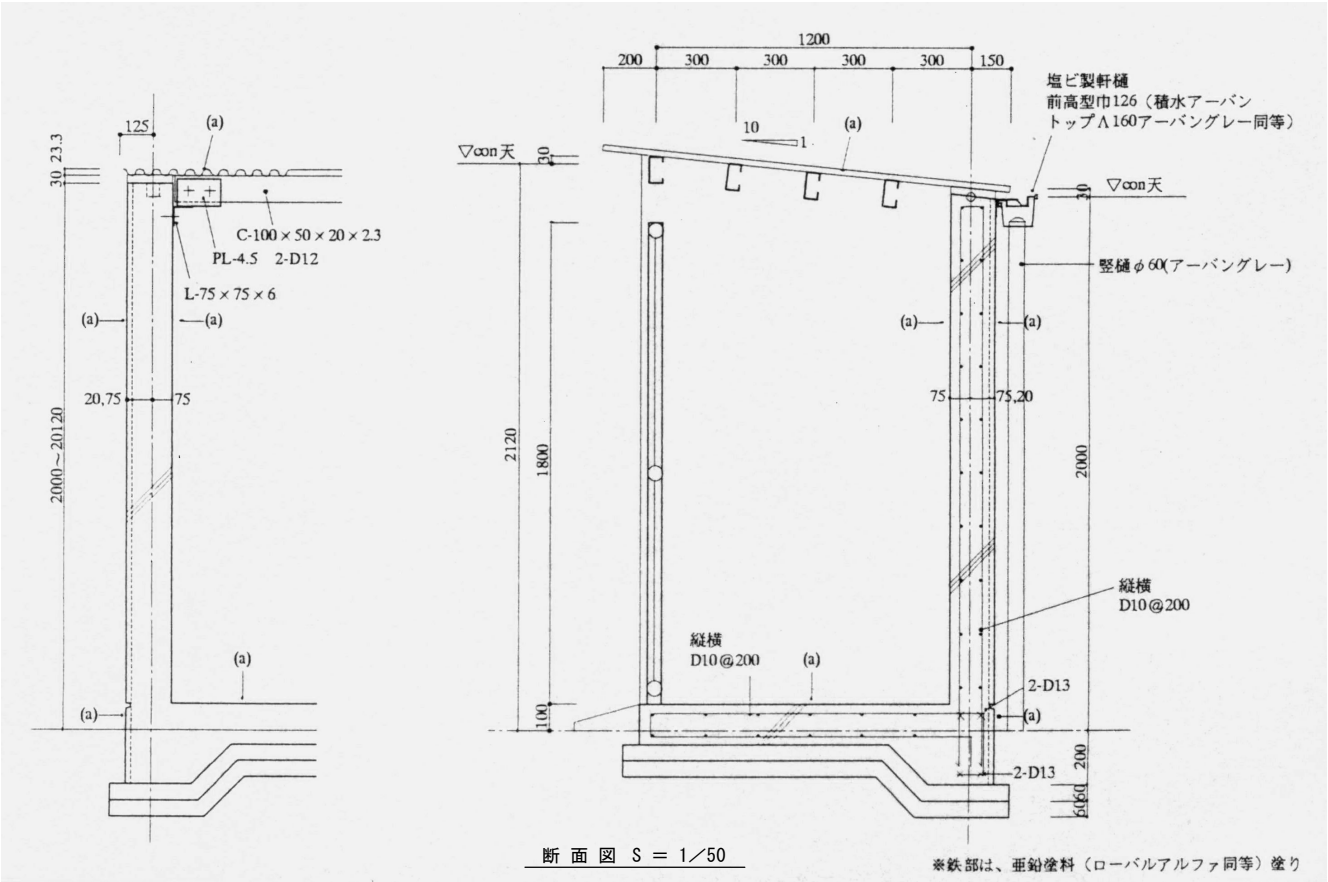
プロパン庫

鉄部：下地処理の上 D P 塗替
外壁：可とう形改修塗材RE



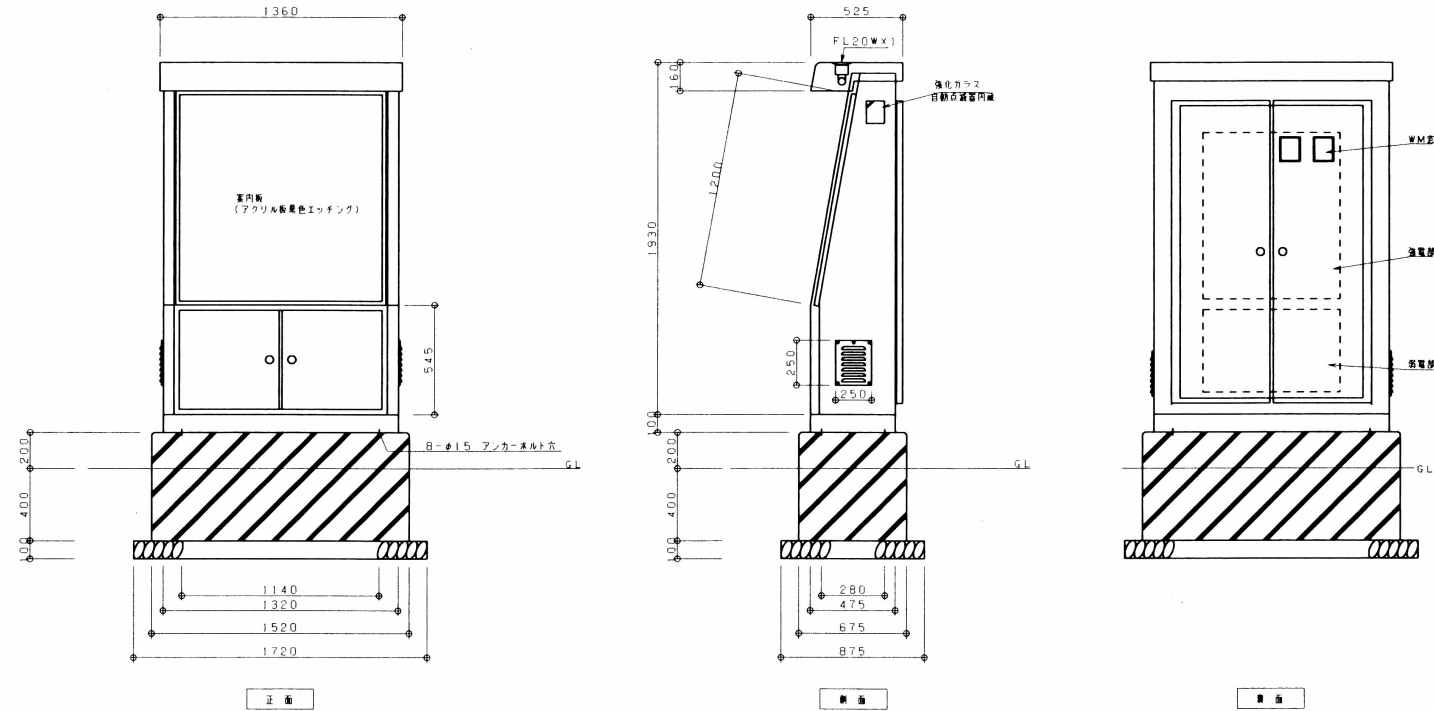
鉄部：下地処理の上 D P 塗替

- 凡例
- (a):スレート小波板葺き
 - (b):ビニル樹脂系艶消し塗料吹付(ナブコホワイト同等)
 - (c):モルタル塗り
 - (d):フェンス H=1800(朝日ユニフェンスA型溶融亜鉛メッキ品同等)
 - (e):コンクリート金ゴデ押え



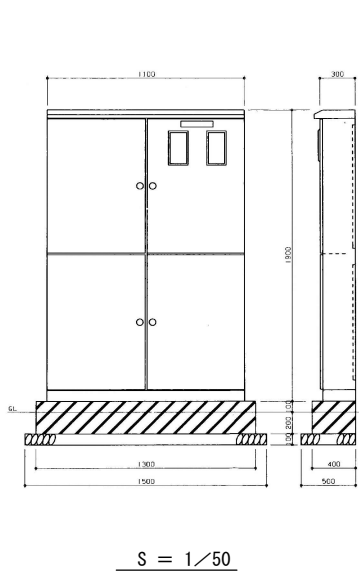
案内板、WHT-1

鉄部：下地処理の上 D P 塗替



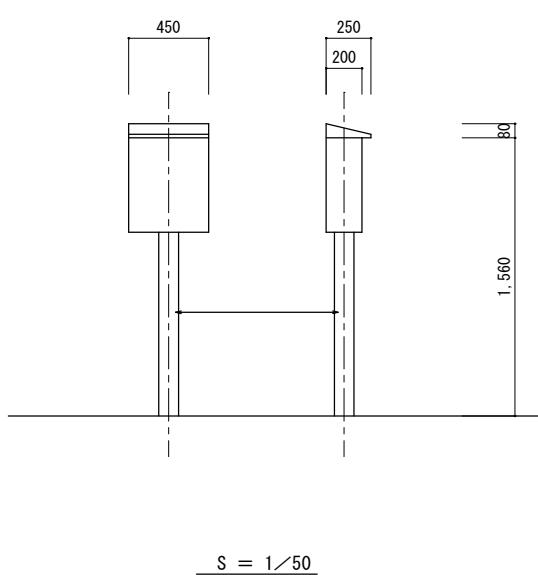
LT-1 分電配線板

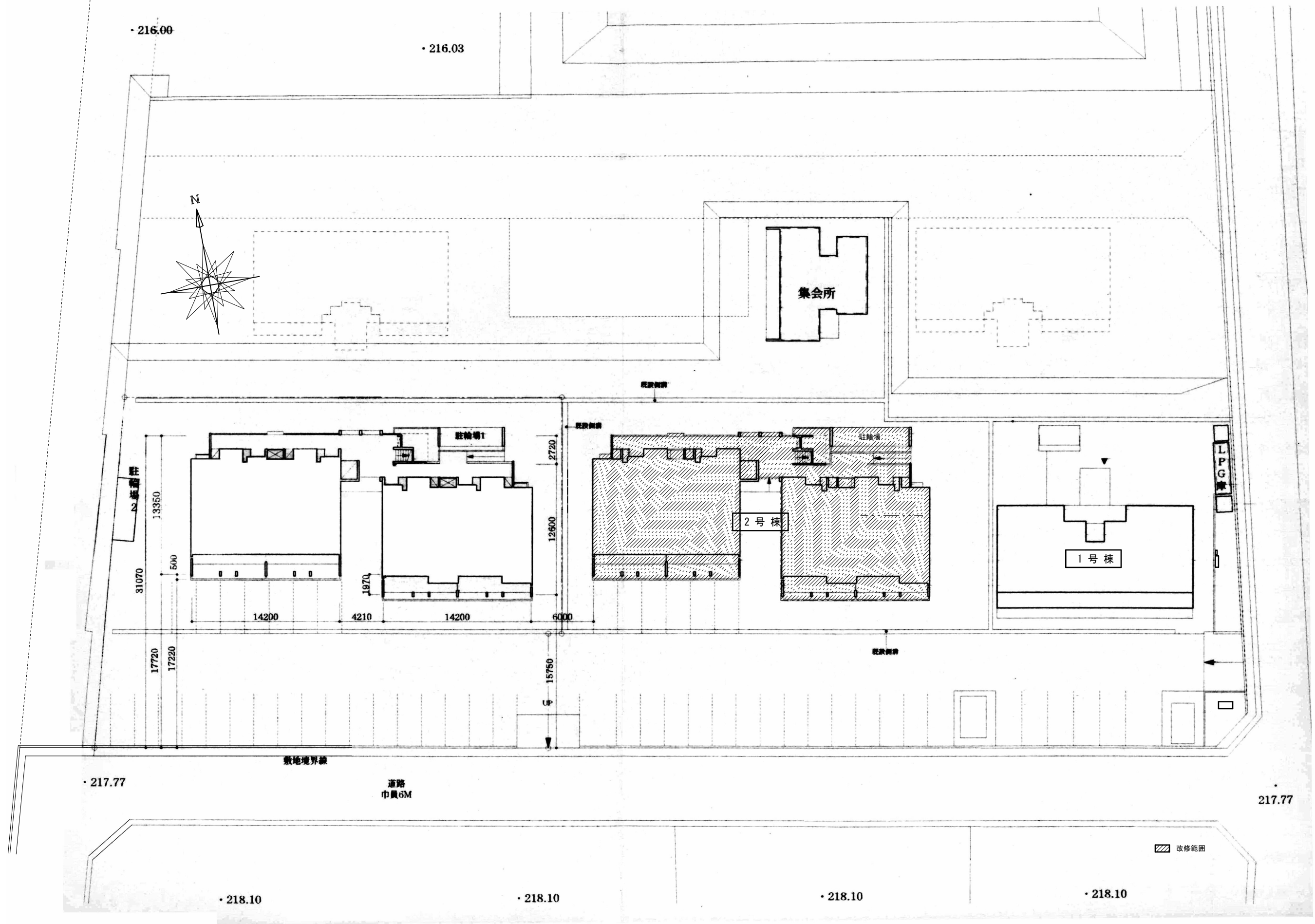
鉄部：下地処理の上 D P 塗替




水道メーター集中検針盤

鉄部：下地処理の上 D P 塗替





配置図 Scale=1:250

<div> <div>  <div> 一級建築士事務所 広島県知事 登録 第25(1)2704号 佐伯建築設計事務所 <small>〒728-0016 広島県三次市四給寅町9-8-8 TEL (0824) 64-2844 FAX (0824) 64-3266</small> </div> </div> <div> 一級建築士 第223265号 佐伯 晃志郎 </div> </div>				<div> 工事名 【2号棟】 市営西田2号住宅1号棟2号棟外壁等改修工事 </div>	<div> 図面名称 配置図 </div>	<div> 検印 製図 </div>	<div> 作成 令和7年 図面番号 A28 </div>
<div> 一級建築士事務所 広島県知事 登録 第25(1)2704号 佐伯建築設計事務所 <small>〒728-0016 広島県三次市四給寅町9-8-8 TEL (0824) 64-2844 FAX (0824) 64-3266</small> </div>				<div> 工事名 【2号棟】 市営西田2号住宅1号棟2号棟外壁等改修工事 </div>	<div> 図面名称 配置図 </div>	<div> 検印 製図 </div>	<div> 作成 令和7年 図面番号 A28 </div>

A. 外壁改修他

	符号	部 位	改 修 前		外壁改修（補修）																		改 修 後				備 考	
					A. 表面劣化部処理				B. ひび割れ部処理			C. 錆鉄筋部処理			D. 浮部処理						E. 欠損部処理							F. 外壁複合改修
			下 地	仕 上	A-1 (打放し)	A-1' (打放し)	A-2 (タタキ)	A-2' (防水タタキ)	B-2 (打放し)	B-6 (タタキ)		C-1 (打放し)	C-2 (タタキ)		D-1 (はつり)	D-1 (はつり剥)	D-1 (狭幅部)	D-1 (はつり剥)	D-2 (注入一般部)	D-2 (注入指定部)	D-2 (注入狭幅部)	E-1 (打放し)	E-2 (打放し)	E-3 (タタキ)	F			
住 宅	①	根廻り	C	薄塗材E吹き付け																					①	下地処理 水洗い	可とう形改修塗材RE	アスベスト除去部はA-1
	②	外壁	C	薄塗材E吹き付け																					②	下地処理 水洗い	可とう形改修塗材RE	
	③	共用廊下 壁 バルコニー壁	C	薄塗材E吹き付け																					③	下地処理 水洗い	可とう形改修塗材RE	
	④	共用廊下 床 バルコニー床	C	防水モルタル金鍍押え																					④	下地処理 水洗い	防滑性ビニール床シート t=2.5	
	⑤	共用廊下 揚裏 バルコニー揚裏	C	薄塗材E吹き付け																					⑤	下地処理 水洗い	可とう形改修塗材RE	
	⑥	共用廊下・バルコニー揚裏（3階天井一部）	C	薄塗材E吹き付け																					⑥	下地処理 水洗い	可とう形改修塗材RE	
	⑦	バラペット・バルコニー見付	C	薄塗材E吹き付け																					⑦	下地処理 水洗い	可とう形改修塗材RE	
	⑧	バラペット天端（屋上3階倉庫部上部）	C	アルミ製笠木																					⑧	下地処理 水洗い	既存のまま	
	⑨	バラペット揚裏	C	薄塗材E吹き付け																					⑨	下地処理 水洗い	可とう形改修塗材RE	
	⑩	屋外階段床	C	防水モルタル金コテ仕上																					⑩	下地処理 水洗い	防滑性ビニール床シート（段鼻付） t=2.5	
	⑪	屋外階段巾木	C	防水モルタル金コテ仕上																					⑪	下地処理 水洗い	ウレタン塗膜防水 ZHM-200L	
	⑫	屋外階段壁	C	薄塗材E吹き付け																					⑫	下地処理 水洗い	可とう形改修塗材RE	
	⑬	屋外階段腰壁（3階）	C	薄塗材E吹き付け																					⑬	下地処理 水洗い	可とう形改修塗材RE	
	⑭	屋外階段揚裏	C	薄塗材E吹き付け																					⑭	下地処理 水洗い	可とう形改修塗材RE	
	⑮	足元笠木天端（共用廊下、バルコニー、階段）	C	防水モルタル金コテ仕上																					⑮	下地処理 水洗い	ウレタン塗膜防水 ZHM-200L	
	⑯	室外壁置場（外部、光彩）	C	防水モルタル金コテ仕上																					⑯	下地処理 水洗い	ウレタン塗膜防水 ZHM-200L	
合 計																												

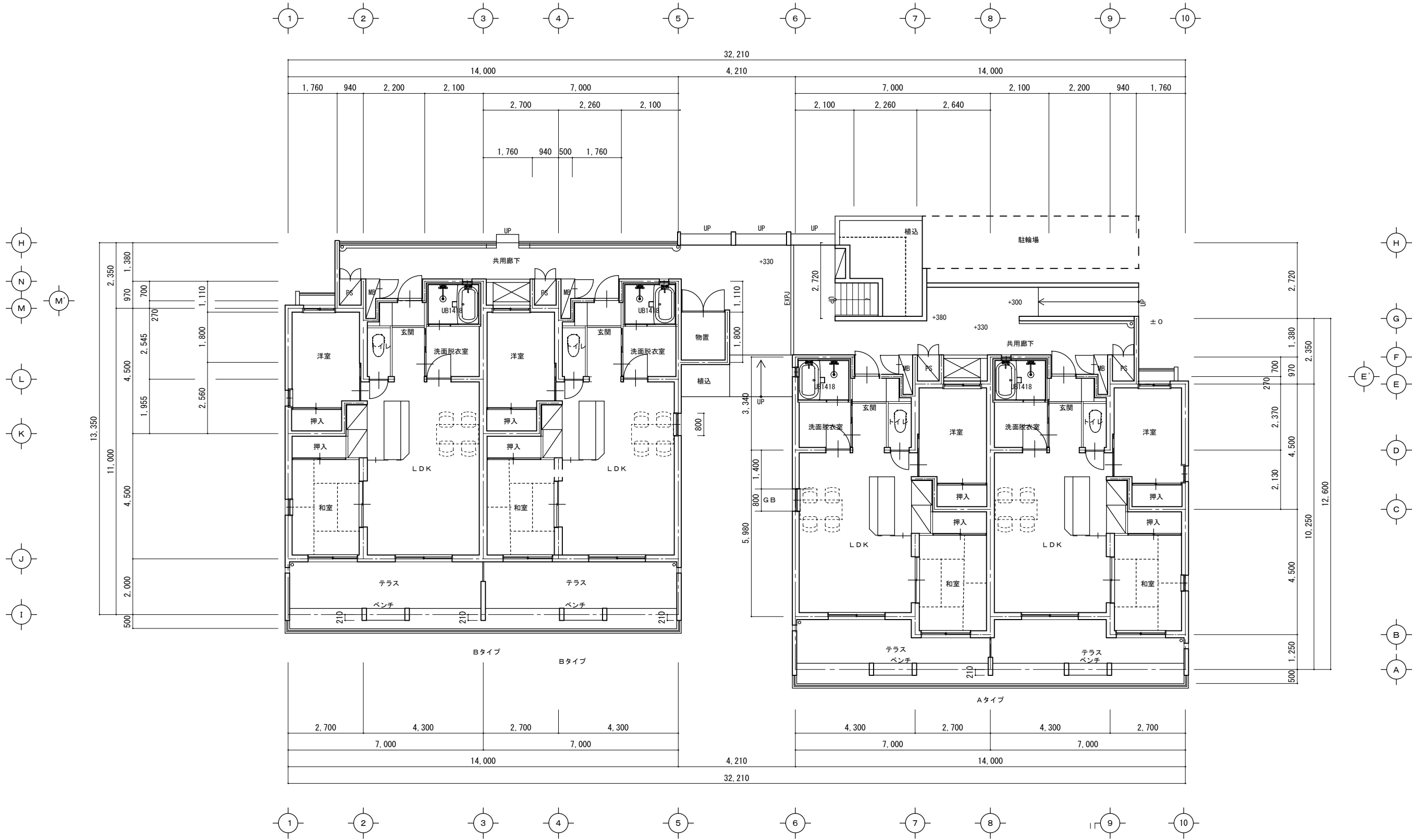
B. 屋上防水改修他

部 位		備 考
屋 上 本 館	アルミ亜鉛メッキ鋼板t0.4段葺 下地清掃、調整(RB種)の上 DP塗装 平場： ウレタン塗膜防水L4X 立上り、基礎： ウレタン塗膜防水L4X 箱樋： 既存シート防水撤去、下地清掃、調整の上、ウレタン塗膜防水X-2	
駐輪場	屋根： シート防水 既存撤去の上新設 外壁： 下地清掃、調整の上可とう形改修塗材RE	
	スロープ・バルコニー： シートの端末は抑エ金物（SUS）取付	

C. 外部建具改修	アルミサッシ： 既存のまま 建具周囲シーリング打増し（変成シリコン10×5） スチール建具： 下地調整(RB種)の上 DP塗替 外面面サッシクリーニング（ガラス・サッシ枠共）
D. その他 （耐候性塗料の仕様）	鉄鋼面及び亜鉛めっき面の種別はB種、上塗りの等級は3級 コンクリート・押出成形セメント板の種別はC-1種（塩化ビニル面に準用する）

特 記 事 項					
縦樋・排水管	既存支持金物：下地処理の上 DP塗替 計 箇所	設備盤・配管等	既存のまま	空調室外機	移設・復旧 9 箇所
	既存縦樋 VP100：下地処理の上 DP塗替 既存縦樋 VP65：撤去新設	屋上点検口・タラップ	既存のまま	バラボラアンテナ	清掃 3 箇所
	既存軒樋 W120 撤去新設			TVアンテナ	清掃 箇所
	中間ドレン：下地処理の上 タールフリーエポキシ樹脂塗替 ルーフドレン：下地処理の上 タールフリーエポキシ樹脂塗替	バルコニー手摺	既存のまま	避難ハッチ	清掃（シール貼替） 全 箇所
複層塗材E	ゆず肌状			消火器10型BOXのみ	撤去・新設 6 箇所
複層塗材Si	ゆず肌状	バルコニー隔板	鉄部：下地処理の上 DP塗替 ボード：下地処理の上 DP塗替 150×400 アルミシール	階数表示板	既存のまま 3
外装薄塗材Si	砂壁状			集中郵便受BOX	既存のまま 清掃 1 箇所
水性シリコン フッ素系浸透性吸水防止塗料	日本ペイント 水性シリコン浸透ガード 同等	バルコニー物干金物	既存のまま	掲示板	既存のまま 清掃 1 箇所
シーリング	ヨコ目地：打替再充填 (30X10) m PU-2	階段手摺	撤去・新設 箇所	階段照明器具	撤去・新設 4 箇所（踊り場 2箇所、3階2箇所）
	タテ目地：打替再充填 (25X10) m PU-2	避難ハッチ	清掃（シール貼替） 全 箇所	外部廊下照明器具	撤去・新設 15箇所
	建具廻り：打増し (10×5) m MS-2	ベンチ（バルコニー・共用廊下）	既存(木)撤去、擬木にて新設	バルコニー照明器具	撤去・新設 12箇所

凡 例			
M	モルタル	DP	耐候性塗料
C	コンクリート	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料
VP	硬質塩化ビニル管	PU-2	ポリウレタン（2成分形）
SUS	ステンレス	MS-2	変形シリコン（2成分形）
		VE	塩化ビニル樹脂エナメル 2回塗（半つや）

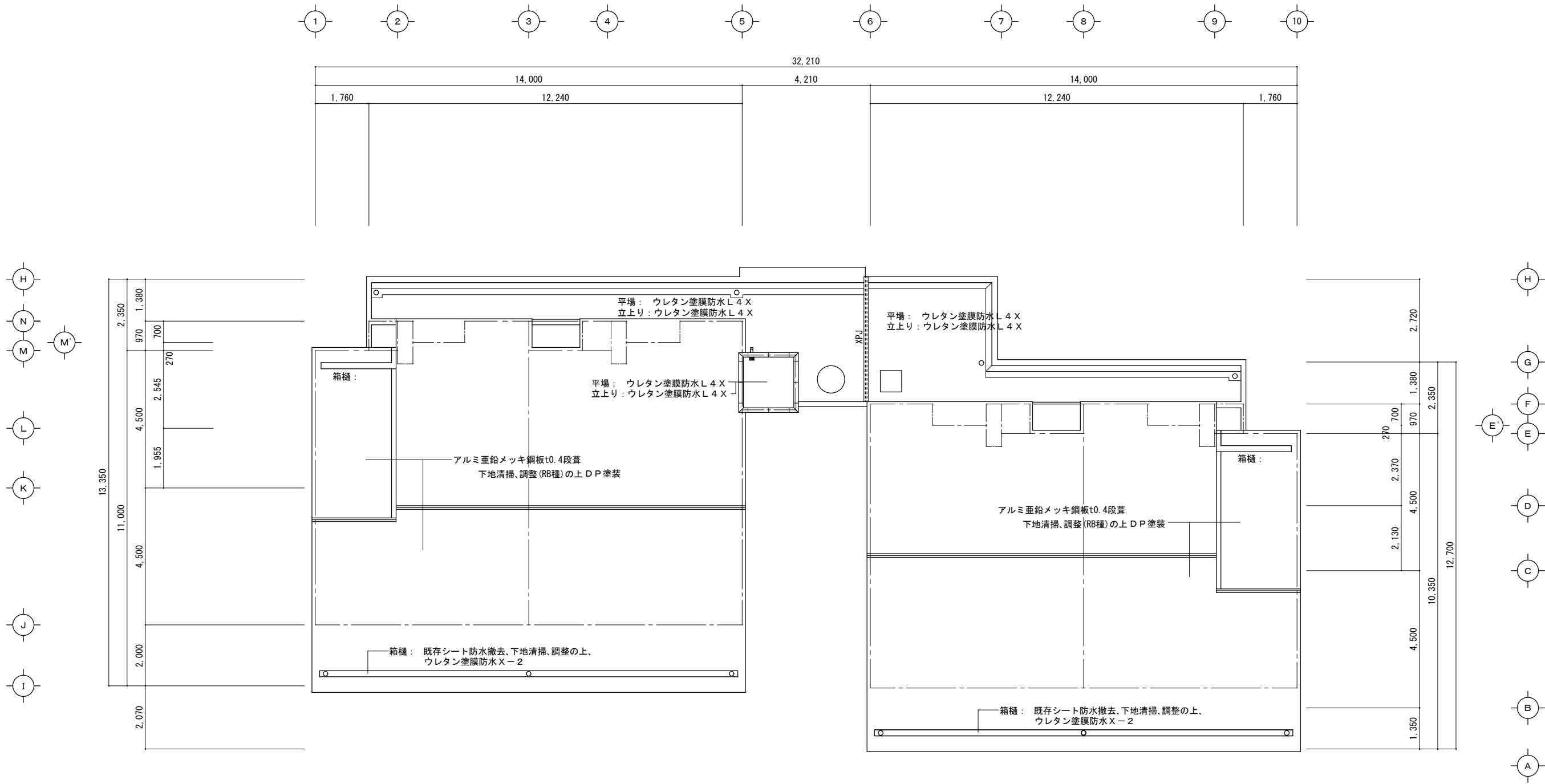


2号棟 1階平面図 Scale=1:100



2号棟 2階平面図 Scale=1:100





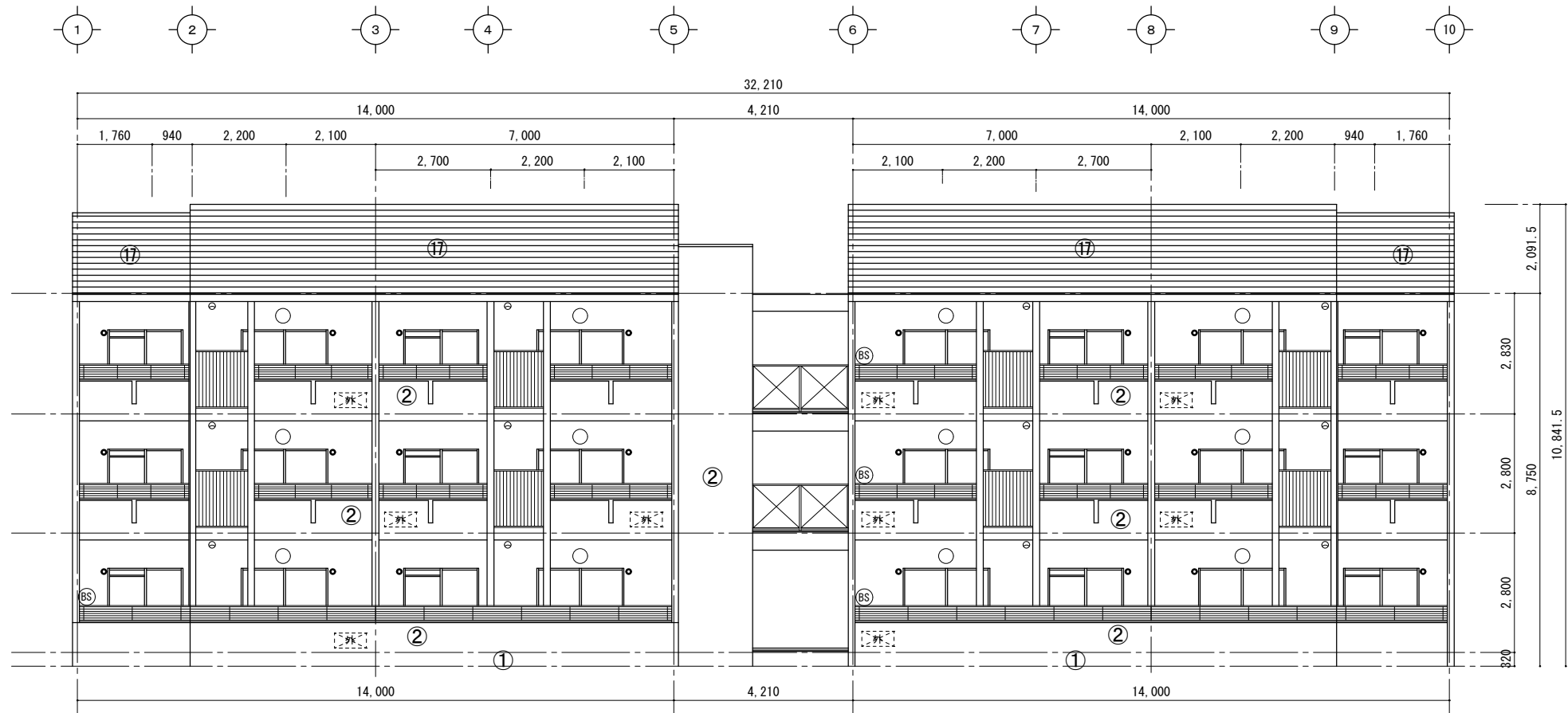
屋根伏図 Scale=1:100

[A]	屋上タラップ	[G]	水道検針盤	[M]	ボックス	[S]	給湯器	①	根廻り：可とう形改修塗材RE	⑩	屋外階段床：可とう形改修塗材RE		空調室外機 北面0 南面9
[B]	物干金物	[H]	警報盤	[N]	プレート	[T]	屋上ハッチ	②	外壁：可とう形改修塗材RE	⑪	屋外階段巾木 ウレタン塗膜防水 ZHM-200L		バラボラアンテナ 北面0 南面3
[C]	隔板	[I]	換気扇フード	[O]	換気ガラリ	[U]	鋼製手摺	③	共用廊下・バルコニー：壁 可とう形改修塗材RE	⑫	屋外階段壁：可とう形改修塗材RE		クーラースリーブキャップ 破損 北面0 南面0
[D]	避難器具	[J]	電気ボックス	[P]	レンジガラリ	[X]	屋外手摺	④	共用廊下・バルコニー：床 防滑性ビニール床シート t=2.5	⑬	屋外階段腰壁（3階） 可とう形改修塗材RE		照明器具 撤去新設 階段 4（踊り場 2箇所、3階2箇所）
[E]	SUS郵便受	[K]	引込開閉器	[Q]	換気レジスター	[Y]		⑤	共用廊下・バルコニー：上裏	⑭	屋外階段上裏 可とう形改修塗材RE		照明器具 撤去新設 北面15 南面12
[F]	掲示板	[L]	電気ボックス	[R]	クーラースリーブ			⑥	共用廊下・バルコニー：上裏（既存ケイカル板t=16） 可とう形改修塗材RE	⑮	足元笠木天端（共用廊下、バルコニー、階段） ウレタン塗膜防水 ZHM-200L		
※ 上記以外は仕上表による。 ※ 打継目地部：全てシーリング打増し充填（開口部廻り共） ※ 縦樋VP100：DP塗替								⑦	バラベット・バルコニー見付 可とう形改修塗材RE	⑯	室外壁置場（外部、光彩） 室外壁置場（外部、光彩）		
								⑧	バラベット天端（屋上3階倉庫部上部） 既存のまま	⑰	屋根：DP塗装		
								⑨	バラベット上裏 可とう形改修塗材RE				



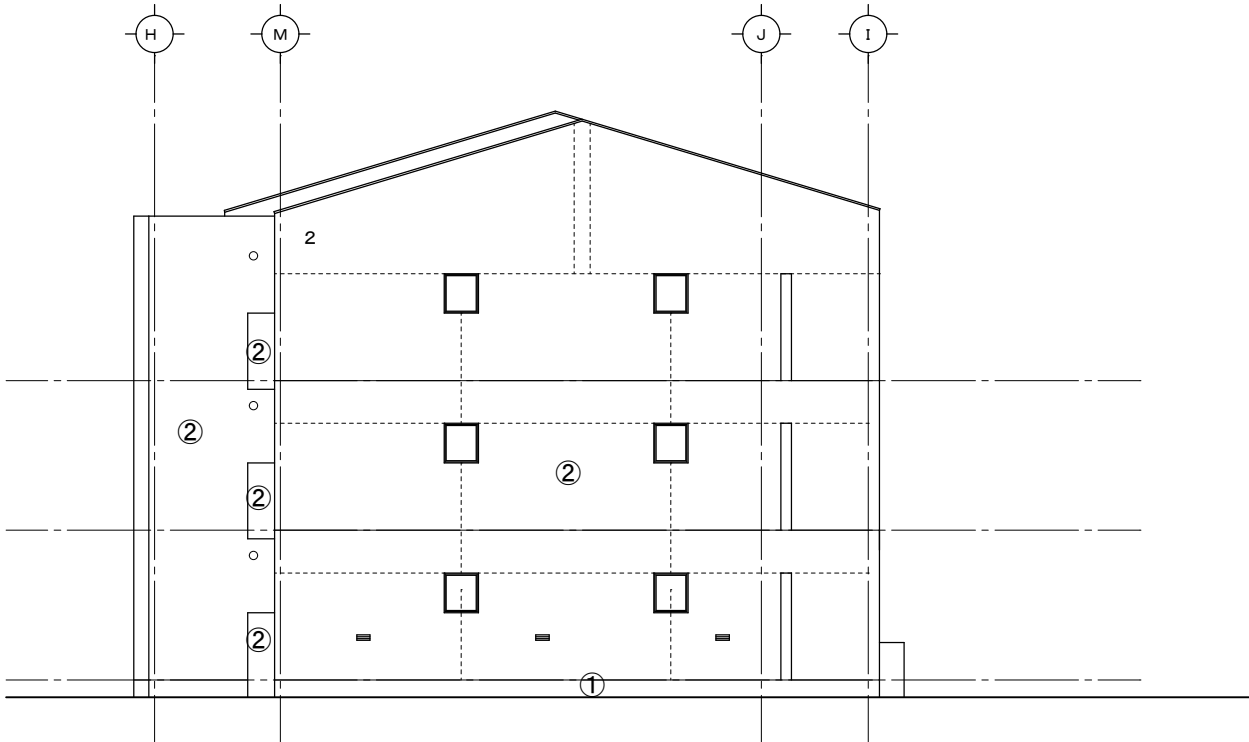
2号棟 北側立面図 Scale=1:100

[A]	屋上タラップ	[G]	水道検針盤	[M]	ボックス ①	[S]	給湯器	①	根廻り：可とう形改修塗材RE	⑩	屋外階段床：可とう形改修塗材RE		空調室外機 北面0 南面9
[B]	物干金物	[H]	警報盤	[N]	プレート	[T]	屋上ハッチ	②	外壁：可とう形改修塗材RE	⑪	屋外階段巾木 ウレタン塗膜防水 ZHM-200L		バラボラアンテナ 北面0 南面3
[C]	隔板	[I]	換気扇フード	[O]	換気ガラリ	[U]	鋼製手摺	③	共用廊下・バルコニー：壁 可とう形改修塗材RE	⑫	屋外階段壁：可とう形改修塗材RE		クーラースリーブキャップ 破損 北面0 南面0
[D]	避難器具	[J]	電気ボックス	[P]	レンジガラリ	[X]	屋外手摺	④	共用廊下・バルコニー：床 防滑性ビニール床シート t=2.5	⑬	屋外階段腰壁（3階） 可とう形改修塗材RE		照明器具 撤去新設 階段 4（踊り場 2箇所、3階2箇所）
[E]	SUS郵便受	[K]	引込開閉器	[Q]	換気レジスター	[Y]		⑤	共用廊下・バルコニー：上裏	⑭	屋外階段上裏 可とう形改修塗材RE		照明器具 撤去新設 北面15 南面12
[F]	掲示板	[L]	電気ボックス	[R]	クーラースリーブ			⑥	共用廊下・バルコニー：上裏（既存ケイカル板t=16） 可とう形改修塗材RE	⑮	足元笠木天端（共用廊下、バルコニー、階段） ウレタン塗膜防水 ZHM-200L		
※ 上記以外は仕上表による。 ※ 打継目地部：全てシーリング打替再充填（開口部廻り共） ※ 堅縫VP100：DP塗替								⑦	バラベット・バルコニー見付 可とう形改修塗材RE	⑯	室外壁置場（外部、光彩） 室外壁置場（外部、光彩）		
								⑧	バラベット天端（屋上3階倉庫部上部） 既存のまま	⑰	屋根：DP塗装		
								⑨	バラベット上裏 可とう形改修塗材RE				

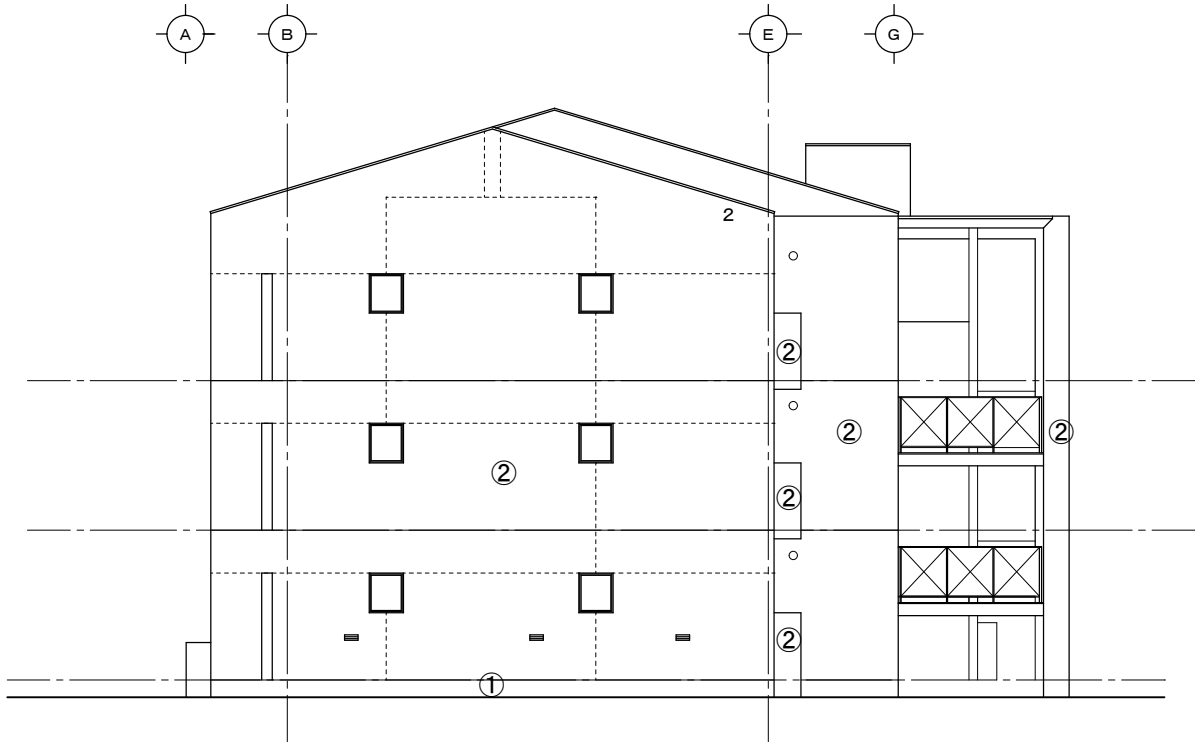


2号棟 南側立面図 Scale=1:100

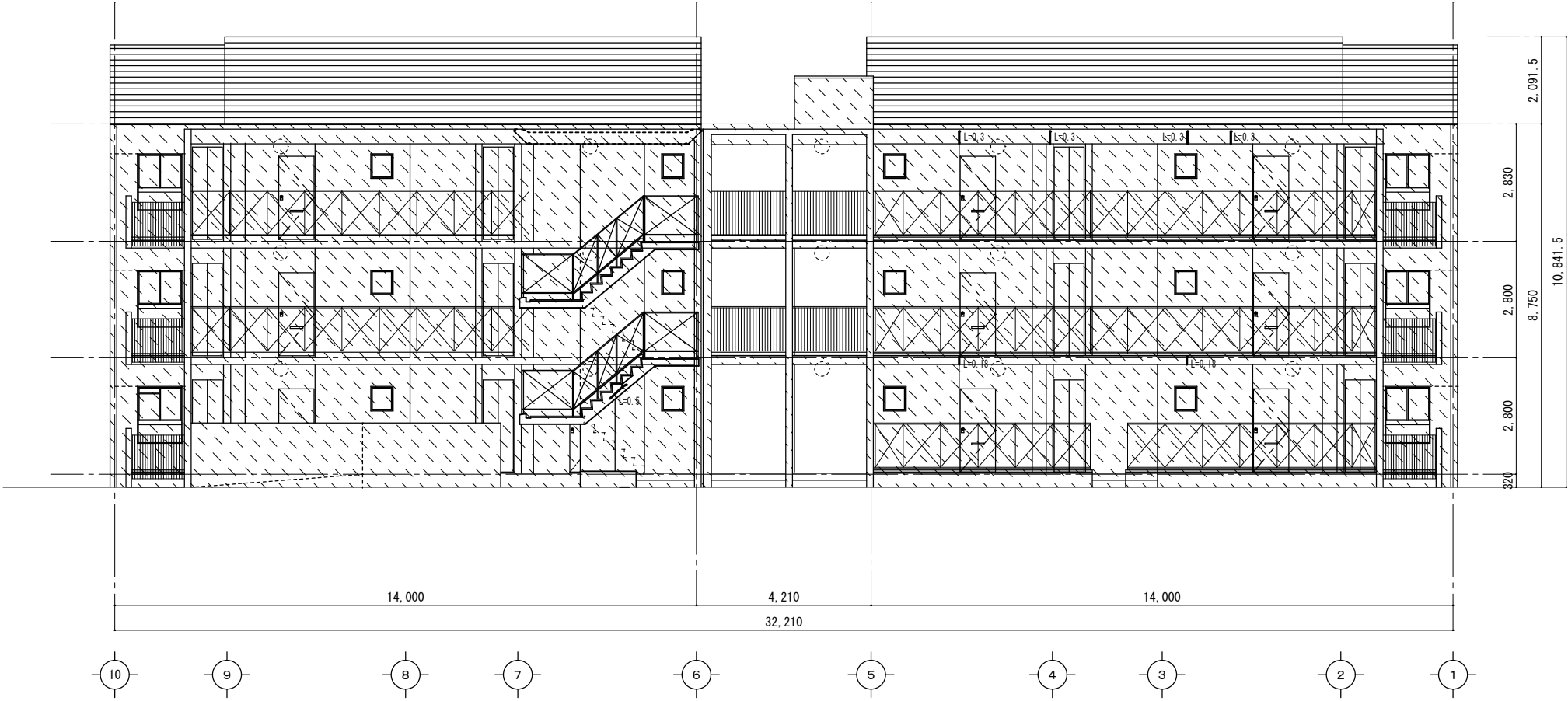
A	屋上タラップ	G	水道検針盤	M	ボックス	S	給湯器	①	根廻り：可とう形改修塗材RE	⑩	屋外階段床：可とう形改修塗材RE	✕	空調室外機 北面0 南面9
B	物干金物	H	警報盤	N	プレート	T	屋上ハッチ	②	外壁：可とう形改修塗材RE	⑪	屋外階段巾木 ウレタン塗膜防水 ZHM-200L	BS	パラボラアンテナ 北面0 南面3
C	隔板	I	換気扇フード	O	換気ガラリ	U	鋼製手摺	③	共用廊下・バルコニー：壁 可とう形改修塗材RE	⑫	屋外階段壁：可とう形改修塗材RE	☒	クーラースリーブ'キャップ'破損 北面0 南面0
D	避難器具	J	電気ボックス	P	レンジガラリ	X	屋外手摺	④	共用廊下・バルコニー：床 防滑性ビニール床シート t=2.5	⑬	屋外階段腰壁（3階） 可とう形改修塗材RE	□	照明器具 撤去新設 階段 4（踊り場 2箇所、3階2箇所）
E	SUS郵便受	K	引込開閉器	Q	換気レジスター	Y		⑤	共用廊下・バルコニー：上裏	⑭	屋外階段上裏 可とう形改修塗材RE	○	照明器具 撤去新設 北面15 南面12
F	掲示板	L	電気ボックス	R	クーラースリーブ			⑥	共用廊下・バルコニー：上裏（既存ケイカル板t=16） 可とう形改修塗材RE	⑮	足元笠木天端（共用廊下、バルコニー、階段） ウレタン塗膜防水 ZHM-200L		
《備考》 ※ 上記以外は仕上表による。 ※ 打継目地部：全てシーリング打替再充填（開口部廻り共） ※ 壁種VP100：DP塗替								⑦	パラベット・バルコニー見付 可とう形改修塗材RE	⑯	室外壁置場（外部、光彩） 室外壁置場（外部、光彩）		
								⑧	パラベット天端（屋上3階倉庫部上部） 既存のまま	⑰	屋根：DP塗装		
								⑨	パラベット上裏 可とう形改修塗材RE				



2号棟 西側立面図（1通り）Scale=1:100



2号棟 東側立面図（10通り）Scale=1:100



2号棟 北側立面図 Scale=1:100

凡例

モルタル浮き (m²)

 アスベスト含有範囲（外壁塗装）

	クラック巾 (mm)	数 量	係数		備 考
㊦	0.1				
㊧	0.2	$0.18 \times 2 + 0.3 \times 4 + 0.5 \times 1$	= 2.06	1.5	3.09
㊨	0.3				
㊩	0.4				
㊪	モルタル浮き (㎡)				
㊫					

クラック浮き参考数量

北側立面	3.09
南側立面	8.10
西側1通り 立面	25.875
東側5通り 立面	54.975
東側6通り 立面	26.85
西側10通り 立面	38.55

合 計	157.44
	157

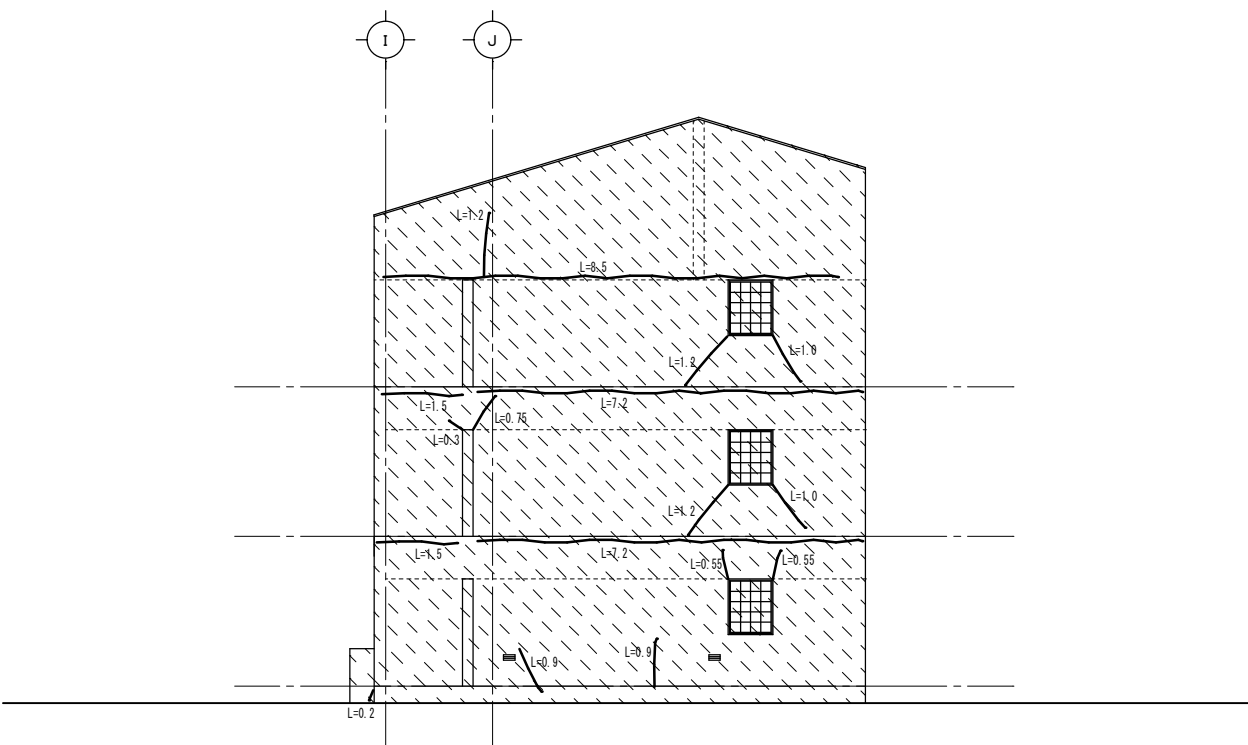



2号棟 南側立面図 Scale=1:100


凡例

- モルタル浮き (㎡)
- アスベスト含有範囲 (外壁塗装)

	クラック巾 (mm)	数 量	係数		備 考
□	0.1				
□	0.2	1.1 x 2 + 0.2 x 16 = 5.4	1.5	8.1	
□	0.3				
□	0.4				
□	モルタル浮き (㎡)	0.16 x 14.22 x 2 = 4.5504 ≒ 4.55	1.5	6.825	
□					

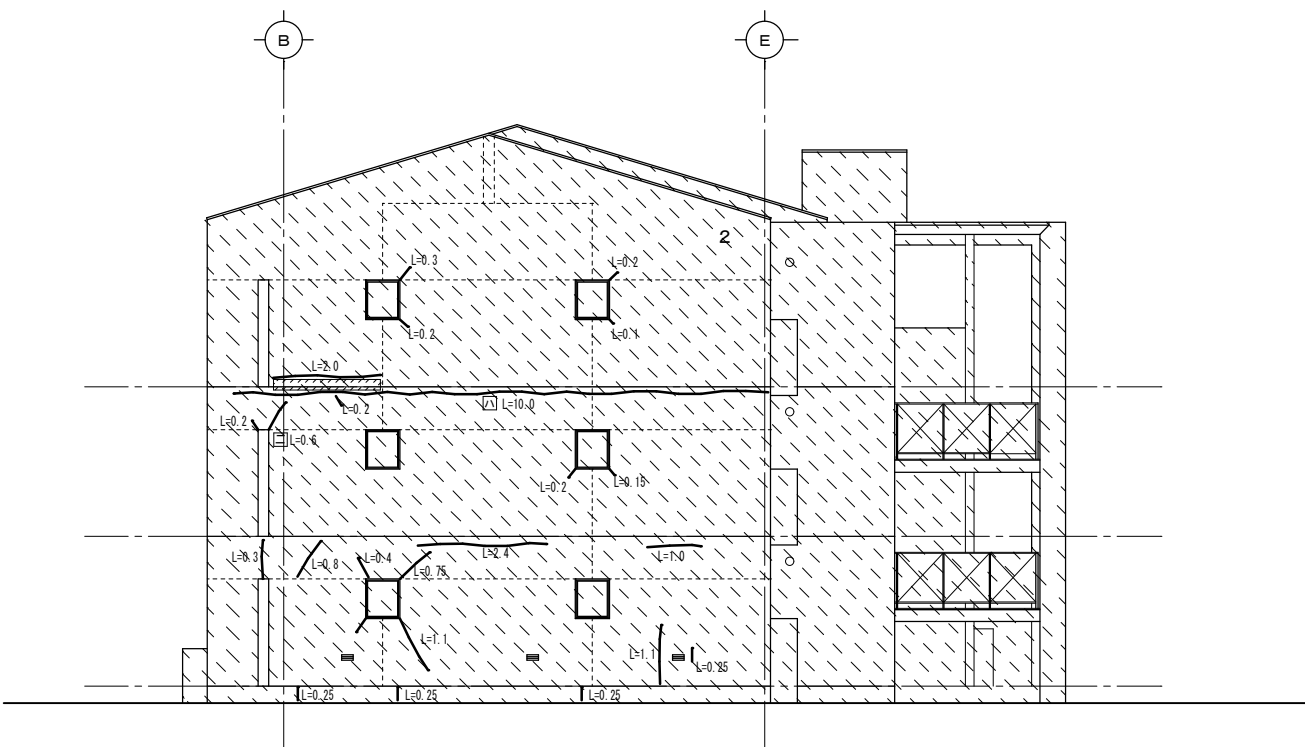


 モルタル浮き (㎡)


 アスベスト含有範囲 (外壁塗装)


2号棟 東面5通り調査図 Scale=1:100

	クラック巾 (mm)	数 量	係数		備 考
㊞	0.1				
㊞	0.2	$0.2 \times 1 + 0.3 \times 1 + 0.55 \times 2 + 0.75 \times 1 + 0.9 \times 2 + 1.0 \times 2 + 1.2 \times 3 + 1.5 \times 2 + 7.2 \times 2 + 8.5 \times 1 = 36.65$	1.5	54.975	
㊞	0.3				
㊞	0.4				
㊞	モルタル浮き (㎡)				
㊞					

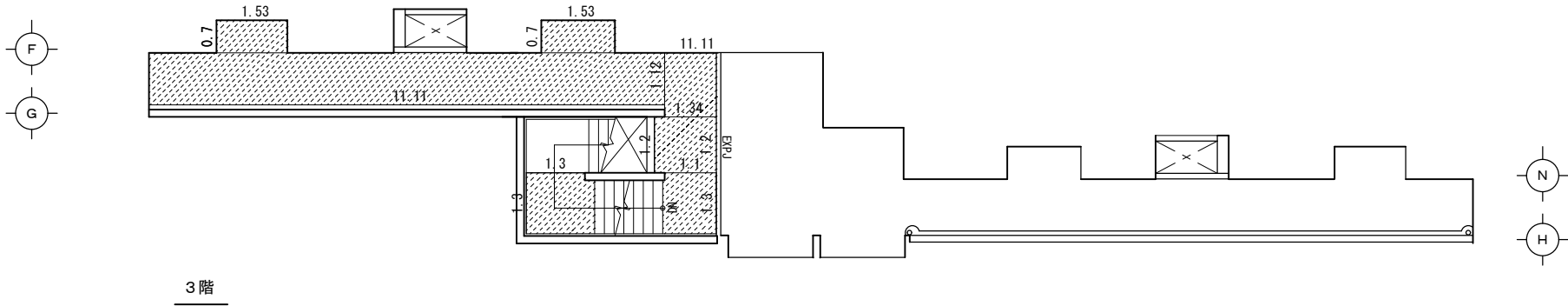


2号棟 西面10通り調査図 Scale=1:100

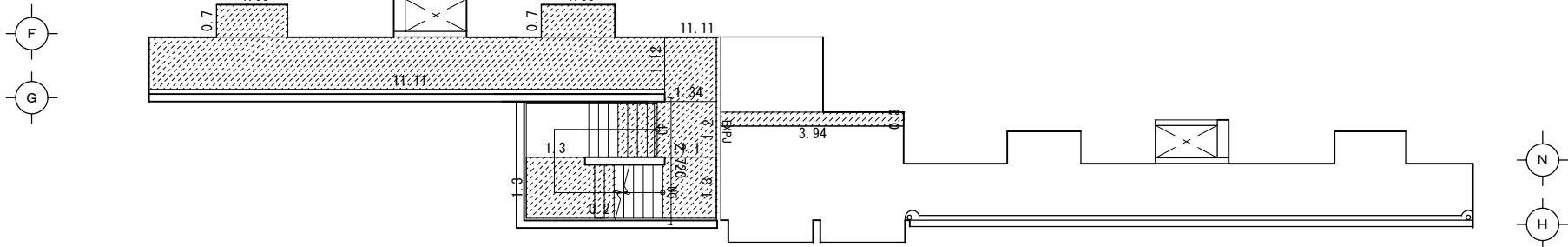
 モルタル浮き (m²)

 アスベスト含有範囲 (外壁塗装)

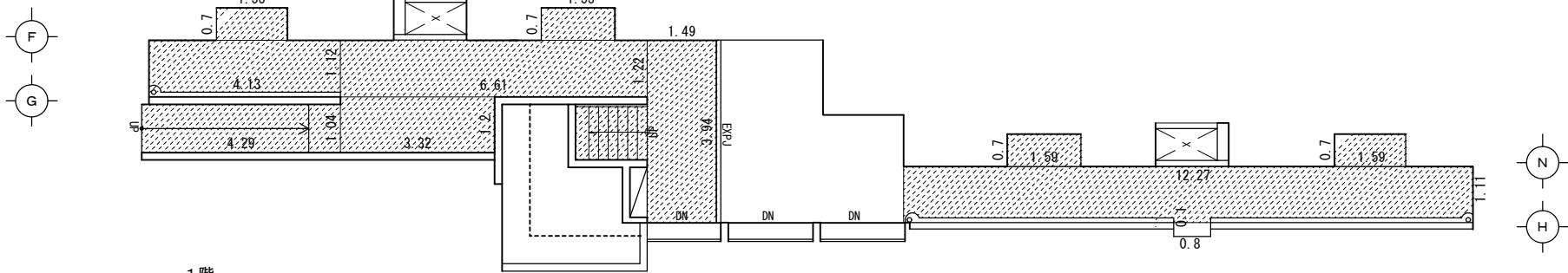
	クラック巾 (mm)	数 量		係数		備 考
㊦	0.1					
㊧	0.2	$0.1 \times 1 + 0.15 \times 1 + 0.2 \times 5 + 0.25 \times 4 + 0.3 \times 2 + 0.4 \times 1 + 0.75 \times 1 + 0.8 \times 1 + 1.0 \times 1 + 1.1 \times 2 + 2.0 \times 1 + 2.4 \times 1 = 15.10$				
㊨	0.3	$10.0 \times 1 = 10.0$				
㊩	0.4	$0.6 \times 1 = 0.6$	計 25.70	1.5	38.55	
㊪	モルタル浮き (㎡)	$2.0 \times 0.2 = 0.4$		1.5	0.6	
㊫						



3階



2階

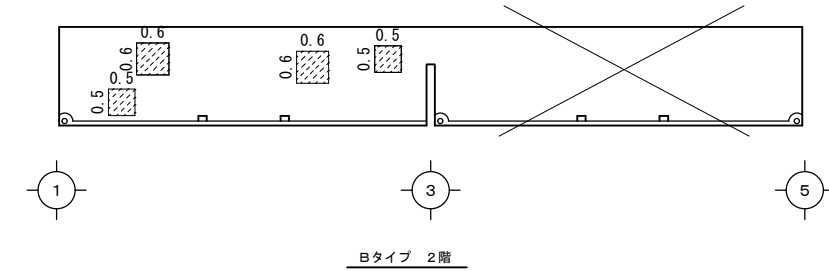


1階

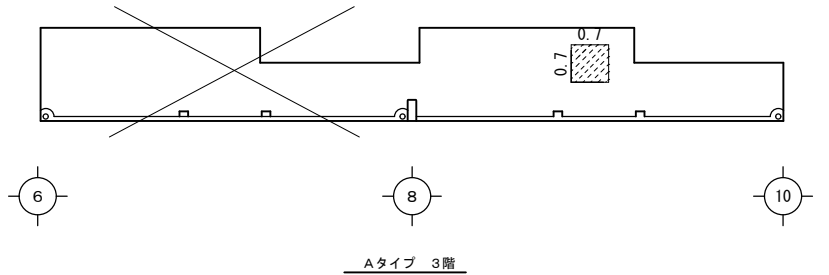
2号棟 外部廊下平面図 Scale=1:100

モルタル浮き (㎡)				
	数 量	係数		備 考
	1.53x0.7x6 + 11.1x1.12x2 + 1.34x1.2x2 + 1.1x1.3x2 + 1.3x1.3x2 + 4.13x1.12			
	+ 1.29x1.04 + 3.32x1.2 + 1.49x3.94 + 1.075x0.24x11			
	+ 0.7x1.59x2 + 12.27x1.11 + 0.8x0.1			
	計 = 74.2399			
	= 74.0	1.75	129.5 (㎡)	

凡例
モルタル浮き (㎡)



Bタイプ 2階



Aタイプ 3階

モルタル浮き (㎡)				
Aタイプ, Bタイプ各1戸の調査のため以下のように算定している				
	数 量	係数		備 考
	0.5 x 0.5 x 2 + 0.6 x 0.6 x 2 = 1.22			
	Bタイプ1戸 1.22 x 6 = 7.32			
	0.7 x 0.7 x 1 = 0.49			
	Aタイプ1戸 0.49 x 6 = 2.94			
	計 = 10.26	2.0	20.52	
			20.5 (㎡)	

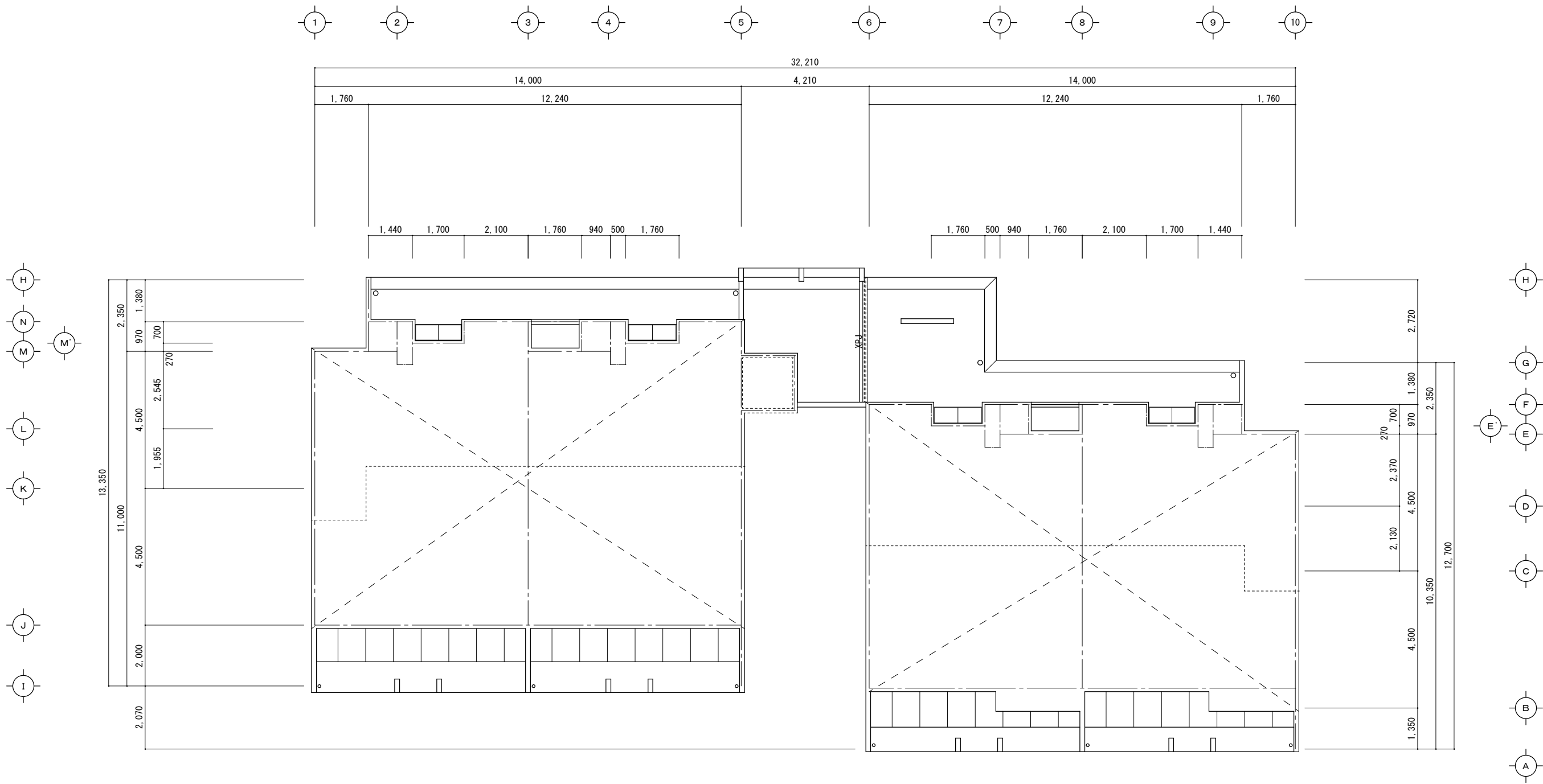
モルタル浮き参考数量
129.5 + 20.5 + 6.825 + 0.27 + 0.6 = 157.695
158 (㎡)



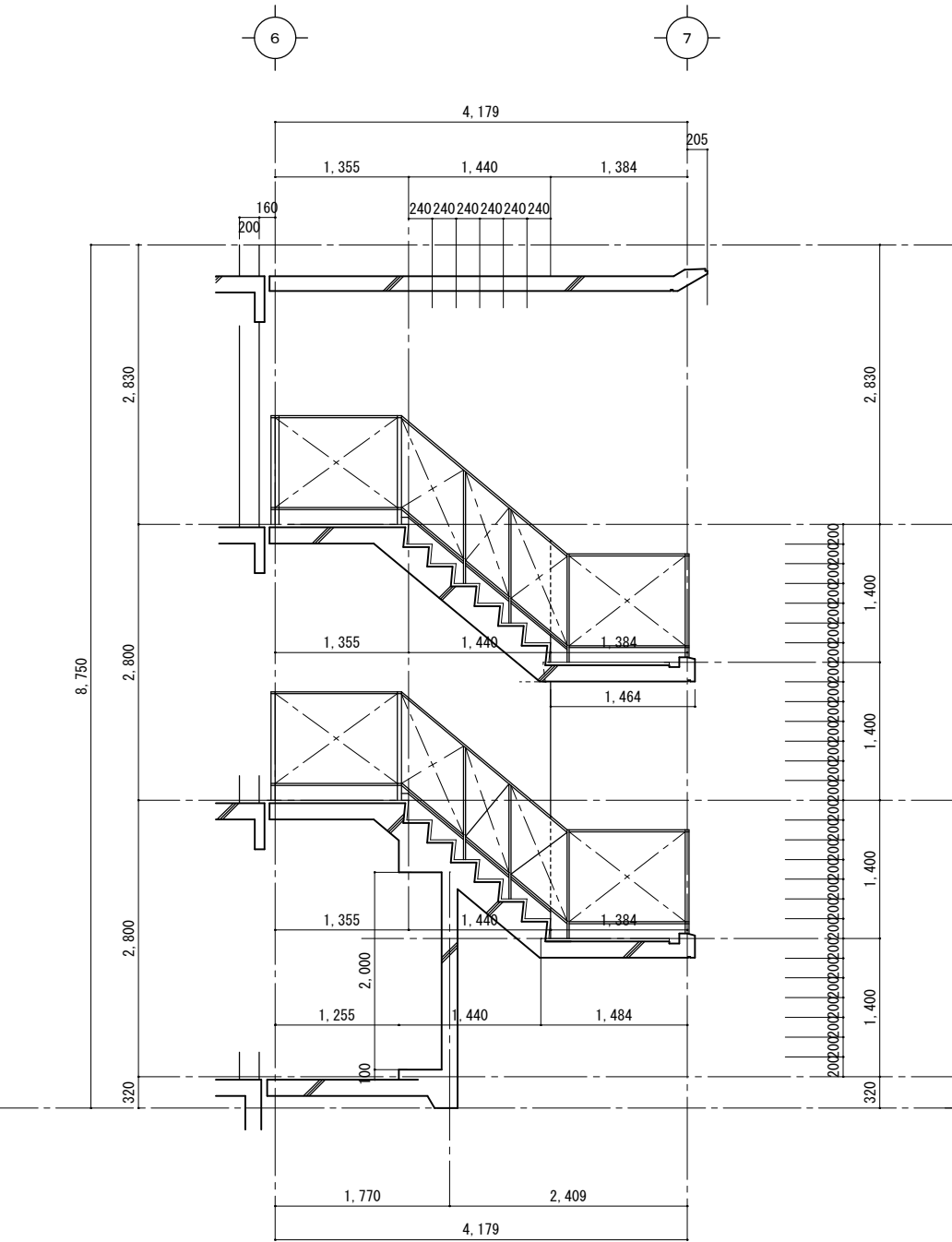
1 階天伏図 Scale=1:100



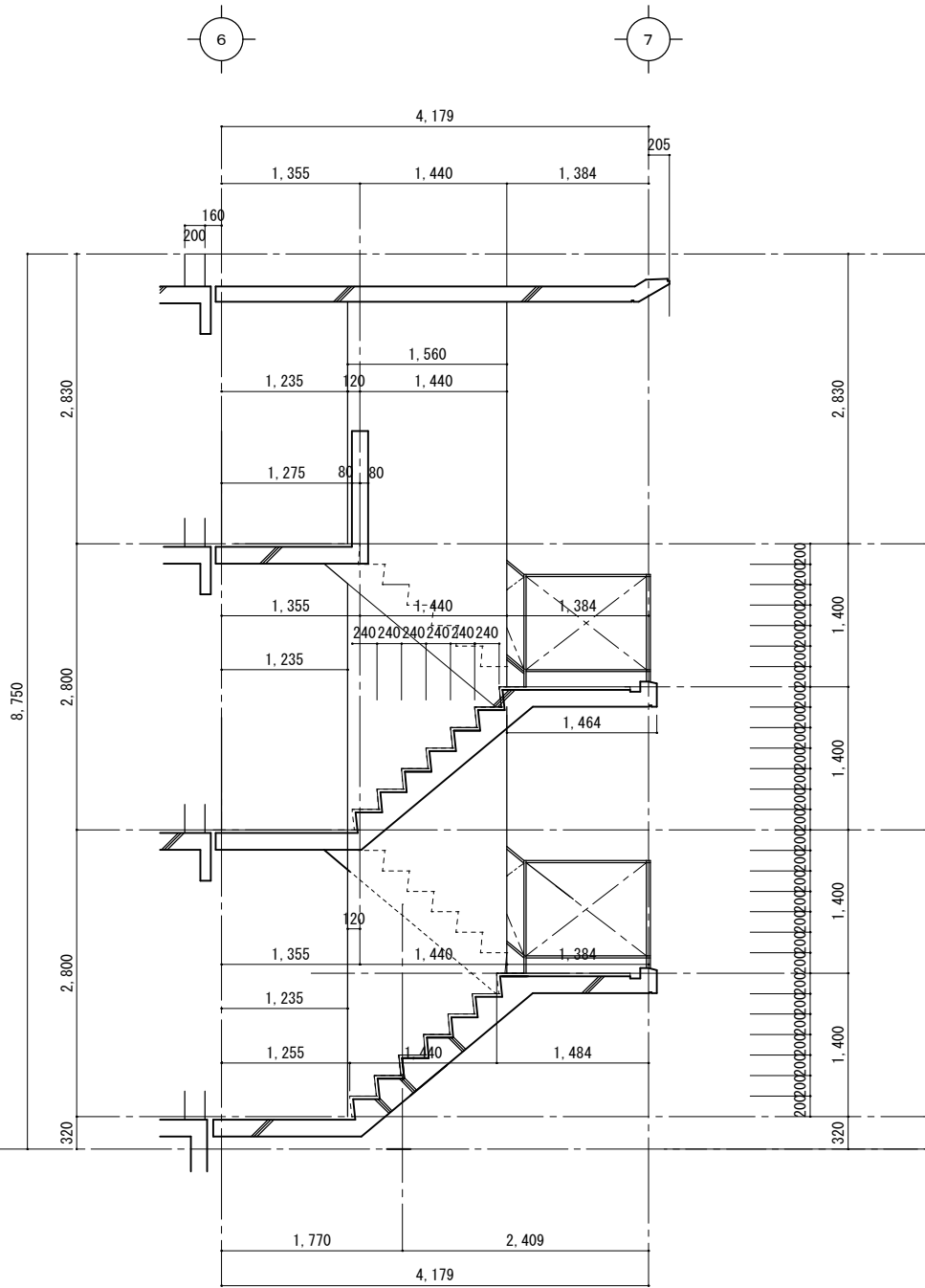
2階天伏図 Scale=1:100



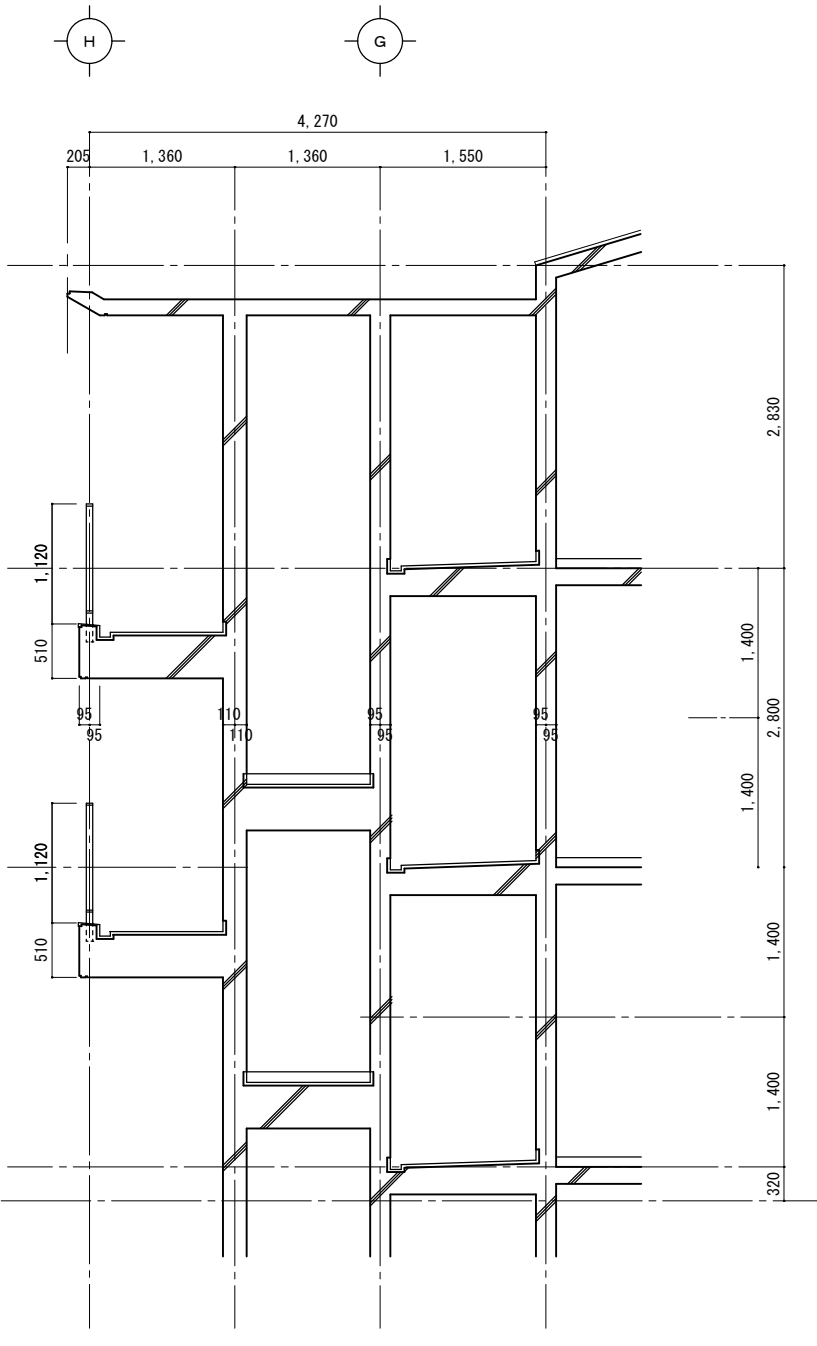
軒天伏図 Scale=1:100



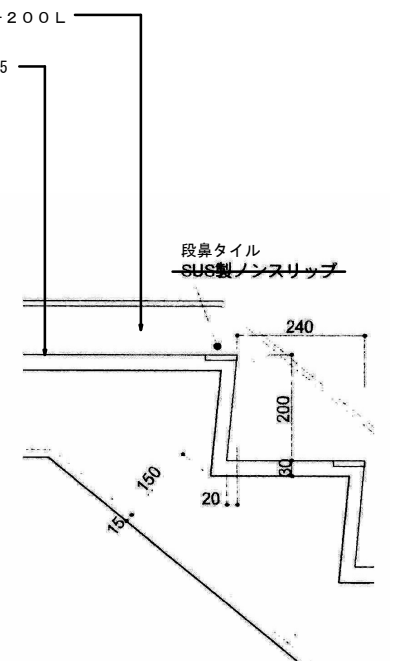
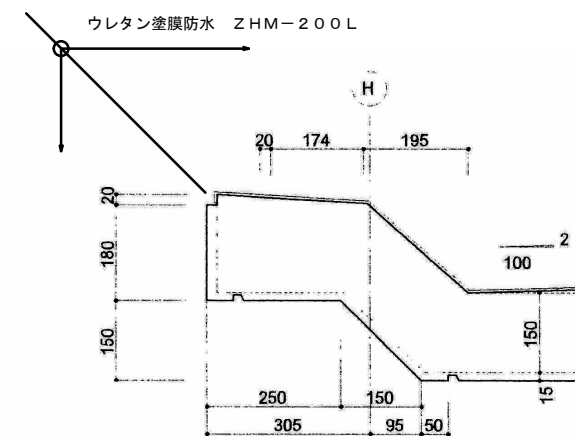
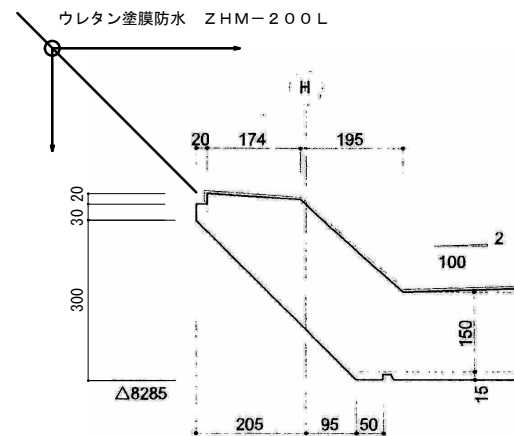
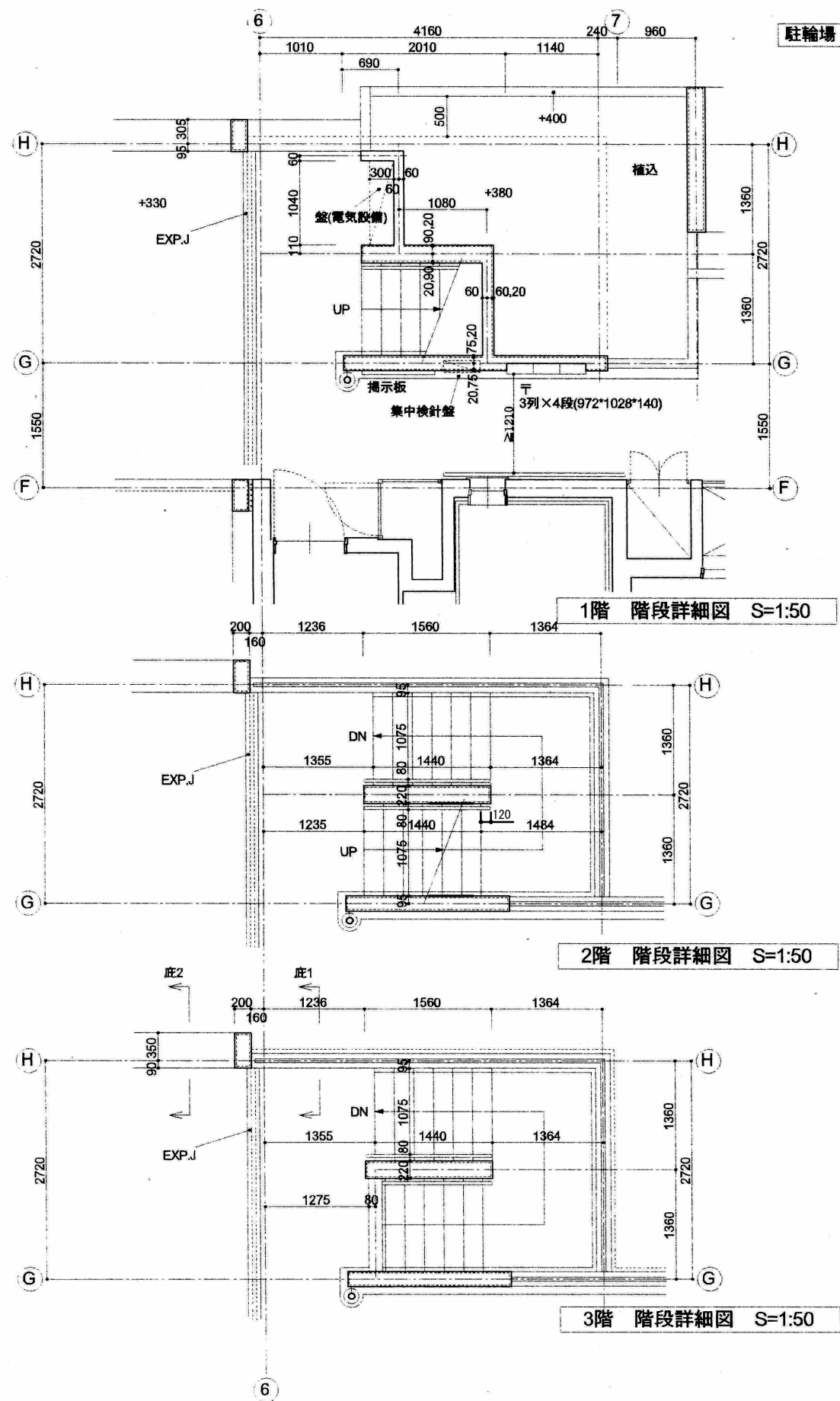
階段詳細図 Scale=1:50



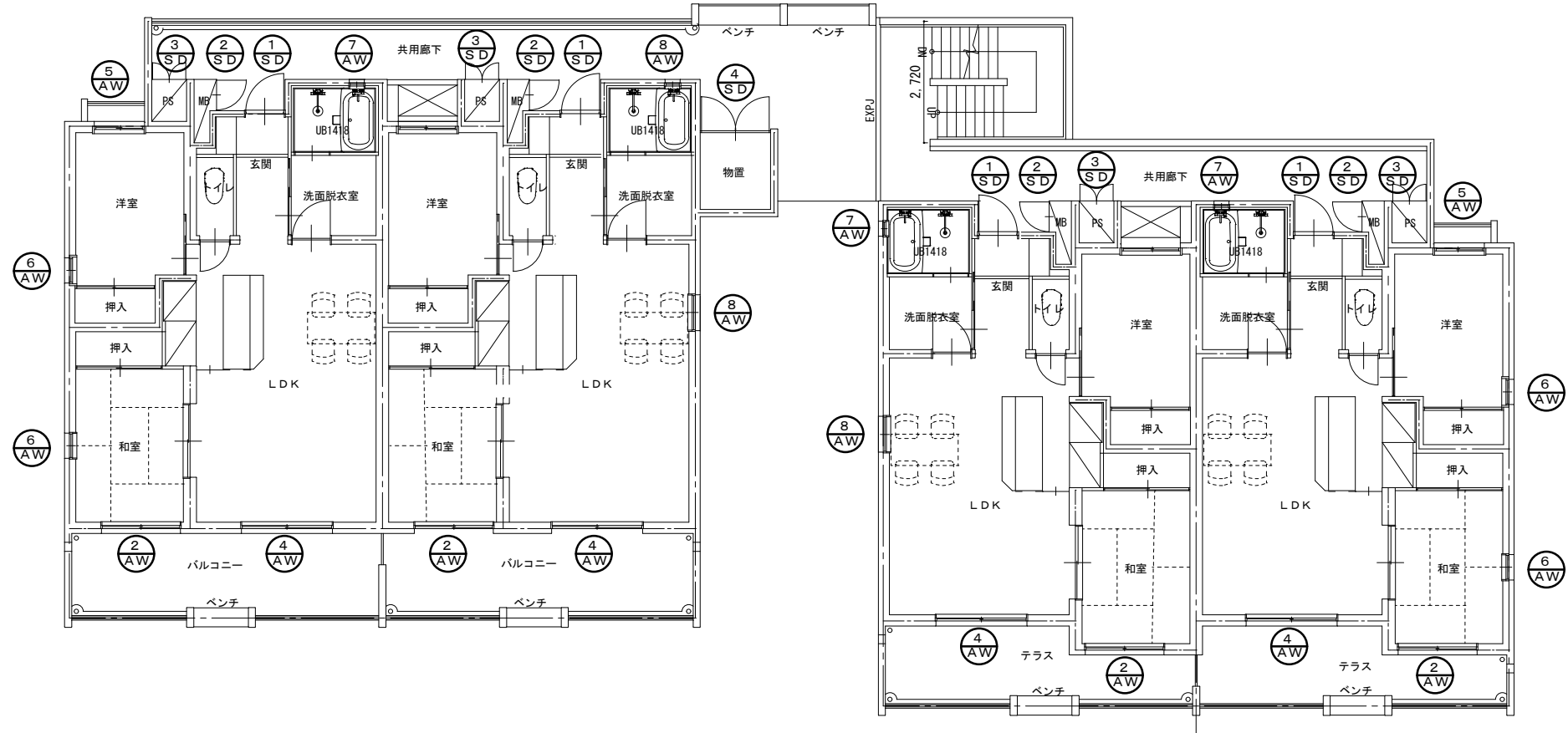
階段詳細図 Scale=1:50



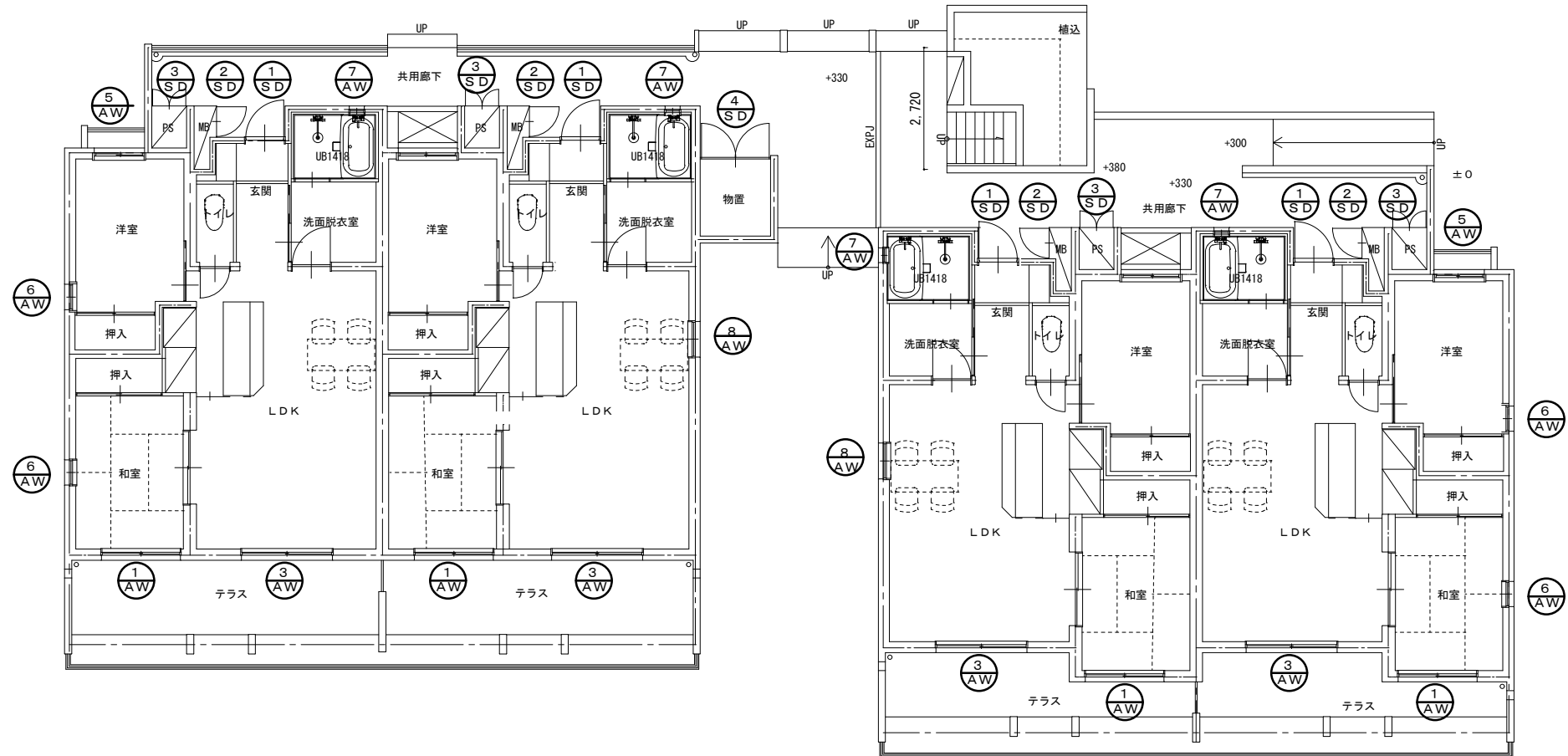
階段詳細図 Scale=1:50



2.3階キープラン



1 階キープラン

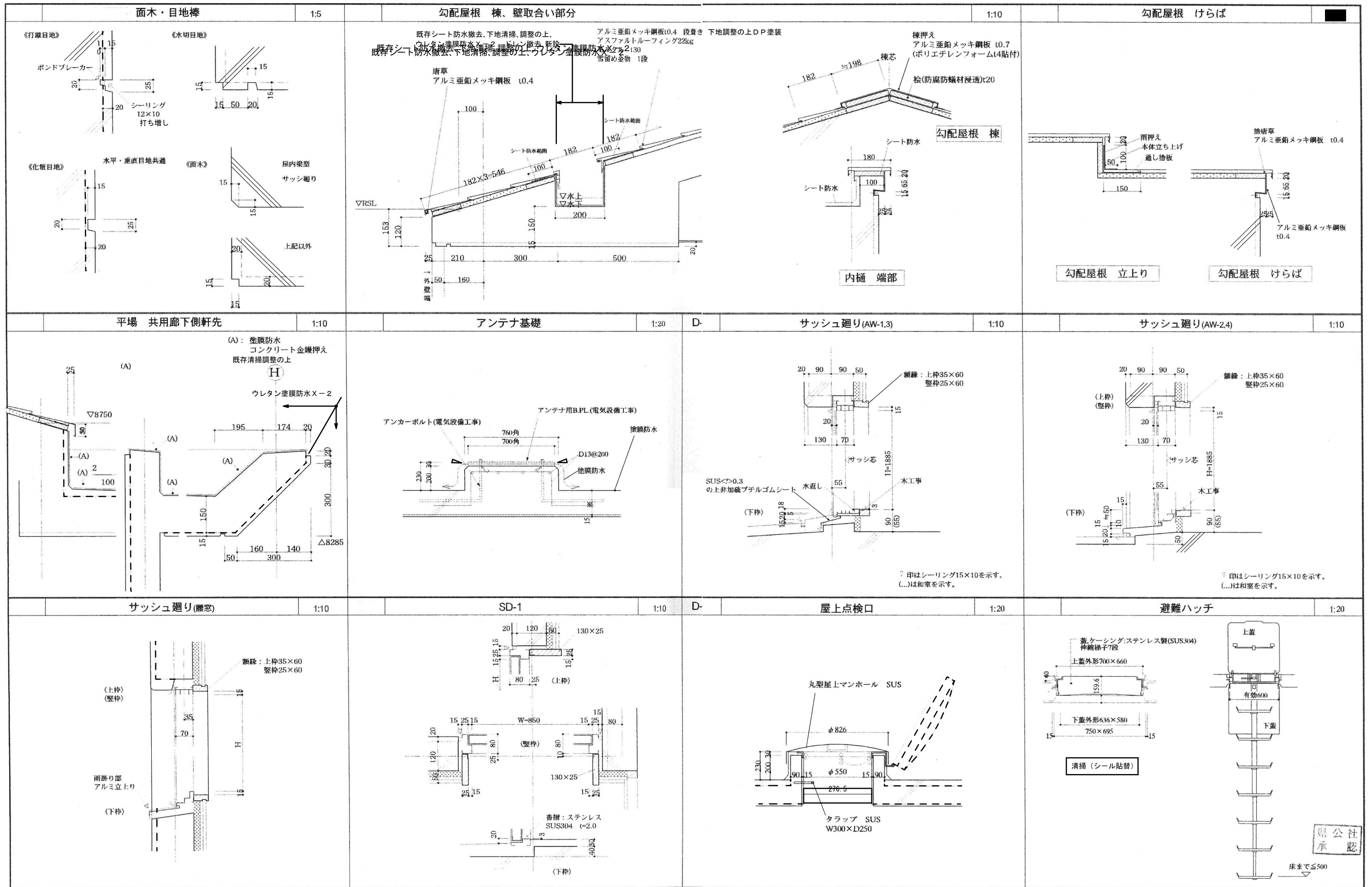


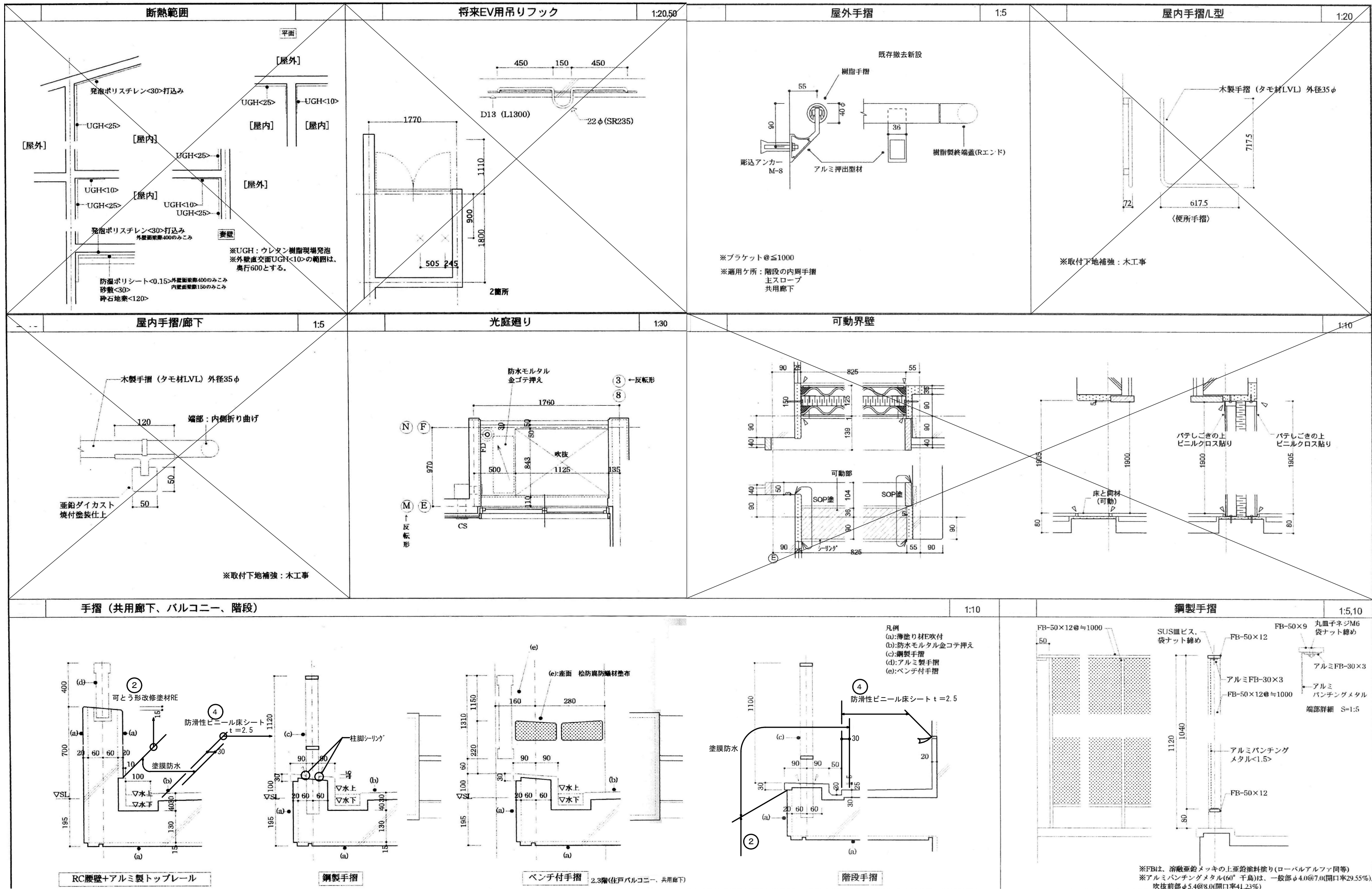
記号・名称	①SD片開き軽量フラッシュドア	②SD袖付片開きパネルドア	③SD両開きパネルドア 開きパネルドア	④SD両開き軽量フルバードア	⑤SD両開きパネルドア
位置・数量	住戸玄関・12	MB・12 12	PS・12	物置-3 2・1	L T-2・1
材質仕上	枠:亜鉛メッキ鋼板防錆塗装の上現場SOP 扉:塩ビ鋼板製	スチール(板厚1.6)・焼付塗装	スチール(板厚1.6)・焼付塗装	スチール焼付塗装	スチール焼付塗装
姿 図 ・ 仕 様	法令措置				
	枠見込	120	50	120	120
	扉見込	40	33	40	40
	枠形状	B	B	B	B
	番種形状	B		A	A
	ガラリ形状				
	硝子				
施錠方法					
付属金物	PH,DC(S無し),DP,レバーハンドル(面付錠) ドアガード,防犯メガネ,額縁用アングル 新開受け	H,ケースハンドル錠,DP,AS	H,ケースハンドル錠,DP,フランス落し	PH,DC,DP,N,CL,フランス落し	
備考	番種:ステンレス 個別認定品	番種:ステンレス・躯体取合部シーリング	番種:ステンレス・躯体取合部シーリング	番種:ステンレス	

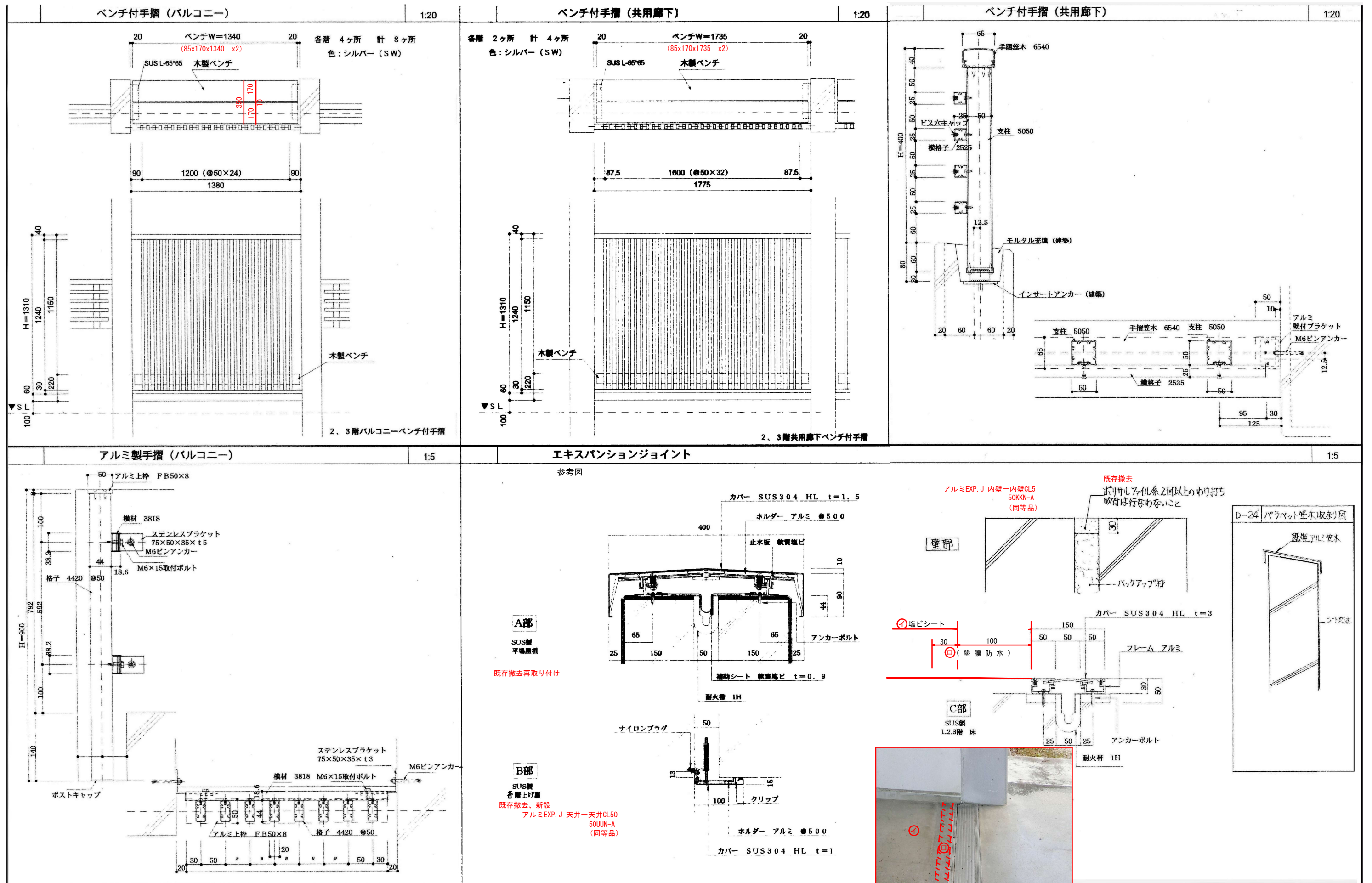
記号・名称	①AW引違い窓	②AW引違い窓	③AW引違い窓	④AW引違い窓	⑤AW嵌殺し付き引違い窓
位置・数量	住戸居室～バルコニー・4	住戸居室～バルコニー・8	住戸居室～バルコニー・4	住戸居室～バルコニー・8	洋室・8
材質仕上	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー
姿 図 ・ 仕 様	法令措置				
	枠見込	70	70	70	70
	扉見込				
	枠形状				
	番種形状				
	ガラリ形状				
	硝子				
施錠方法					
付属金物	クレセント,額縁用アングル,ステンレス下枠	クレセント,額縁用アングル,水切	クレセント,額縁用アングル,ステンレス下枠	クレセント,額縁用アングル,水切	クレセント,額縁用アングル,水切
備考	可動網戸 バリアーフリー仕様	可動網戸	可動網戸 バリアーフリー仕様	可動網戸	可動網戸

記号・名称	⑥AW迂り出し窓	⑦AW迂り出し窓(嵌殺し窓)	⑧AW硝子ブロック窓
位置・数量	洋室・和室・12	UB・12	LDK・6
材質仕上	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー
姿 図 ・ 仕 様	法令措置		
	枠見込	70	70
	扉見込		
	枠形状		
	番種形状		
	ガラリ形状		
	硝子		
施錠方法			
付属金物	ハンドル,額縁用アングル,水切	ハンドル,額縁用アングル,水切 アルミ額縁	額縁用アングル,水切
備考	可動網戸	可動網戸	硝子ブロックは、日本電気硝子 「オバリン・ブレン」同等とする。

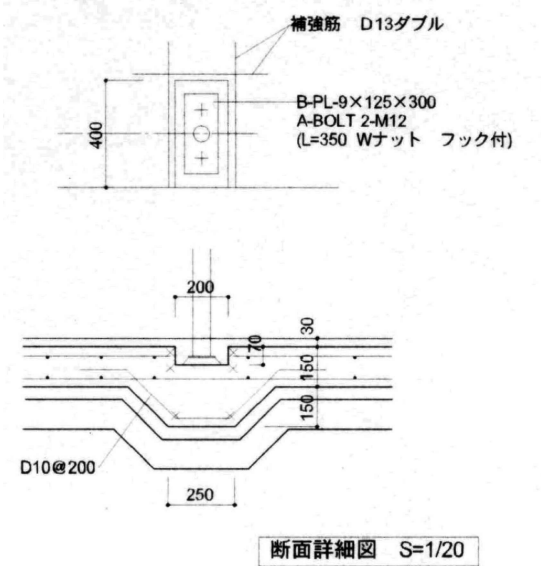
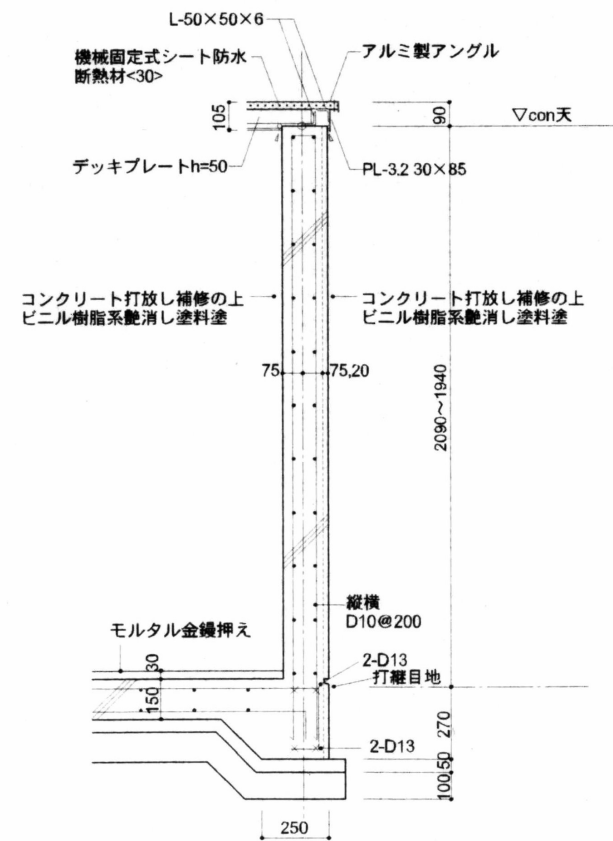
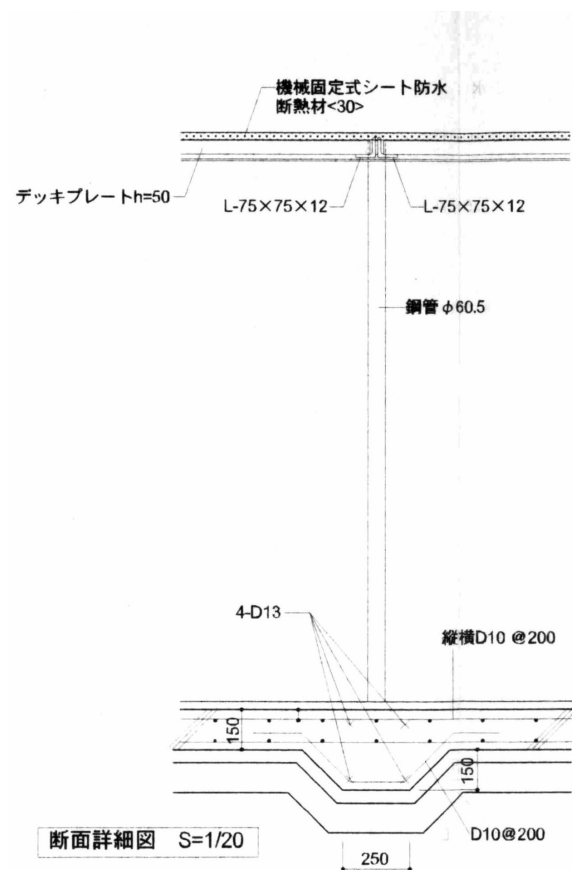
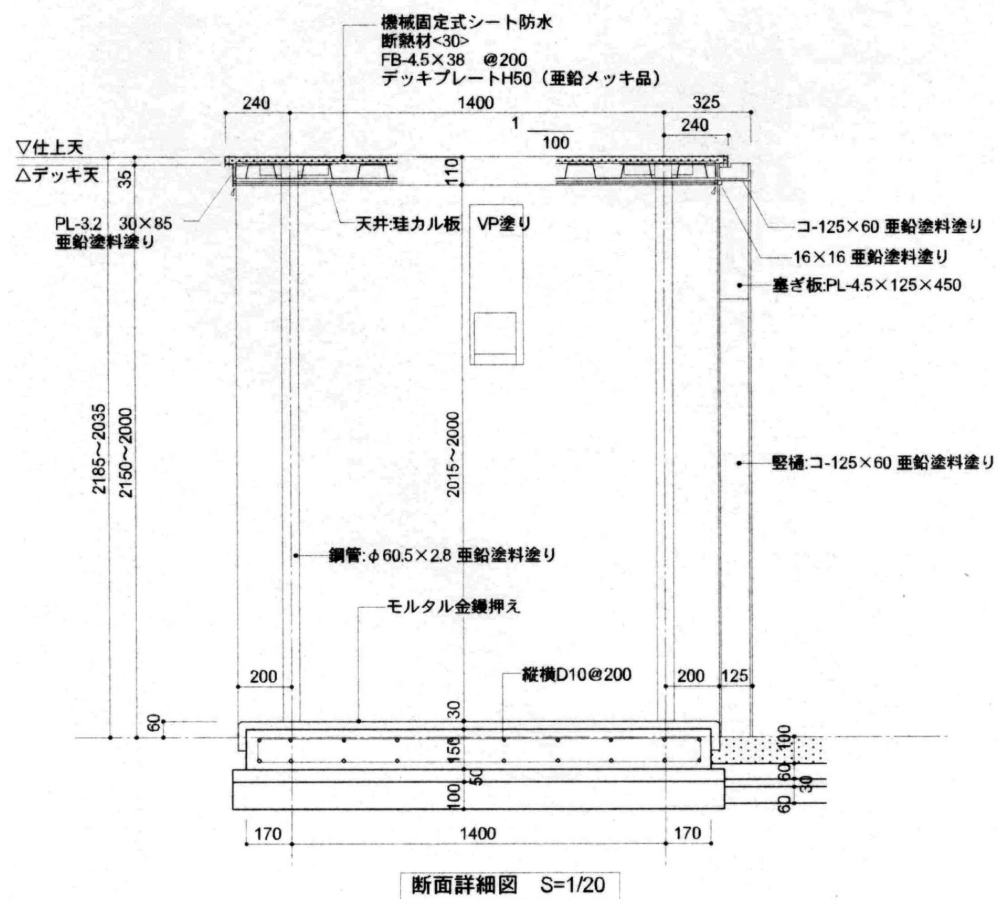
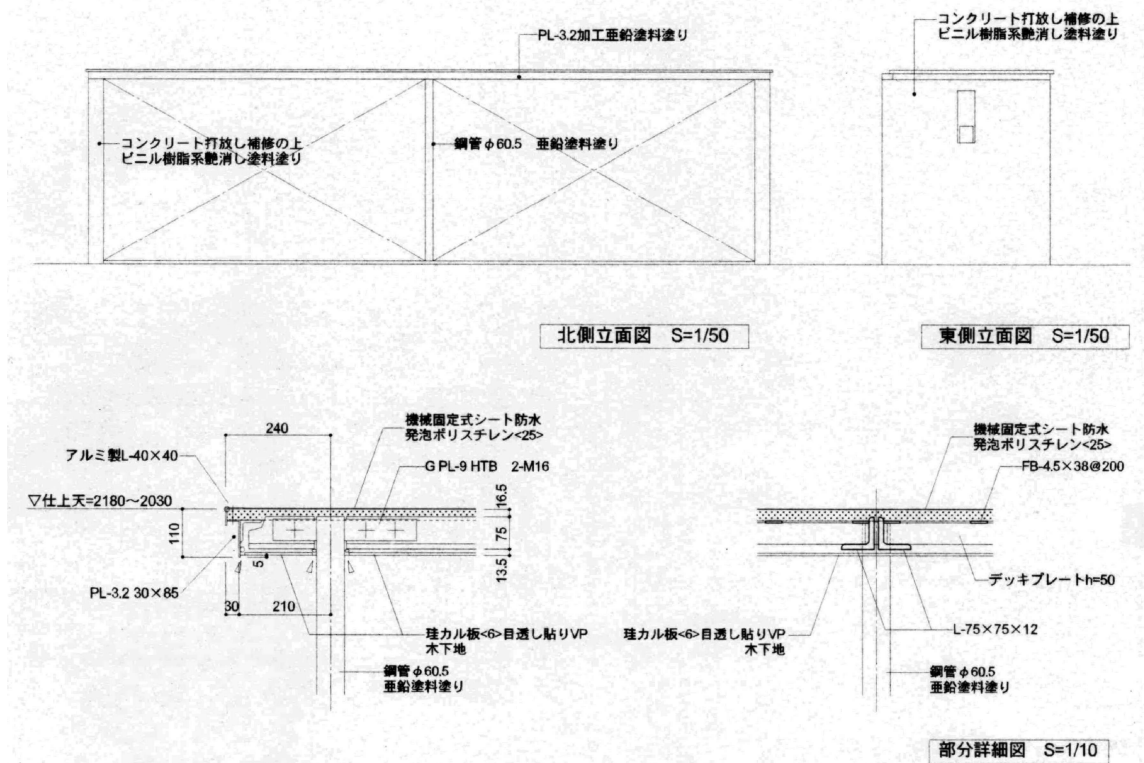
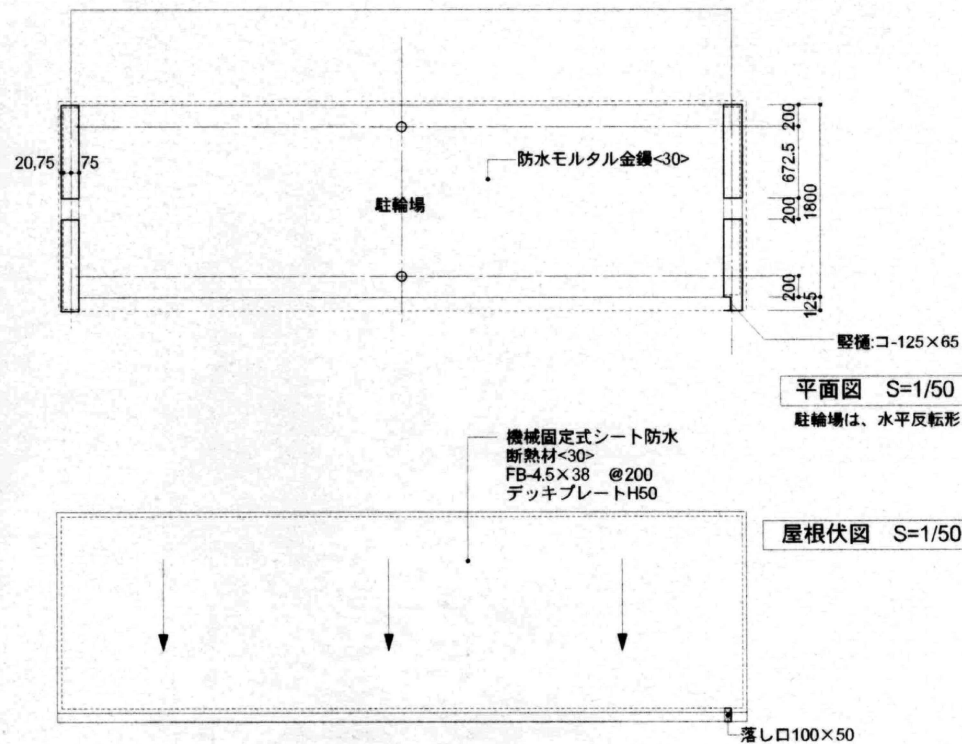
形状記号	
枠形状	A B
番種形状	A B C D
ガラリ形状	A B C D
略号	
法令措置	甲 甲種防火戸 乙 乙種防火戸
硝子	FLG 透明硝子 FG 型板硝子 PWG 網入磨き硝子 FWG 網入型硝子
金物	DC ドアチェック AS アームストッパー H 丁香 FH フロアヒンジ PH ピボットヒンジ N 揺り玉 N(S) 同上 L シリンダー本締付 レバーハンドル T 把手 ML モノロック錠 CL シリンダー本締錠 F 丸落し DP 戸当り
施錠方法	▲ 施錠 △ 非常開錠付施錠 ▽ サムターン
特記	1.特記以外は、公共建築共通仕様書(H19)による。 2.レバーハンドルは、美和33型 同等とする。 3.1階サッシュクレセントは、 錠付きとする。







屋根：シート防水 既存撤去の上新設
外壁：下地清掃、調整の上可とう形改修塗材RE



バルコニー照明器具	外部廊下照明器具	階段照明器具	階段照明器具
撤去 6 箇所	撤去 3 箇所	撤去 3 箇所	撤去 ^{ポット} (3階2箇所)
			
LEDシーリングライト 20形丸形蛍光灯1灯器具相当		LEDブラケット 20形直管蛍光灯1灯器具相当	LEDスポットライト
<div>パナソニック LGW51714WCF1</div> <div>昼白色 (5000K)、Ra83 器具光束705lm、消費電力7.8W、電圧100V 防湿型・防雨型、拡散タイプ、ネジ込み方式 プラスチック (ホワイト) カバー: アクリル (乳白)</div>	<div>パナソニック LGW80168LE1</div> <div>昼白色 (5000K)、Ra83 器具光束855lm、消費電力9.7W、電圧100V 拡散タイプ、防雨型、天井直付型・壁直付型、ツマミネジ方式 カバー: アクリル (乳白)</div>	<div>パナソニック LGW80168LE1</div> <div>昼白色 (5000K)、Ra83 器具光束855lm、消費電力9.7W、電圧100V 拡散タイプ、防雨型、天井直付型・壁直付型、ツマミネジ方式 カバー: アクリル (乳白)</div>	<div>パナソニック LGW80168LE1</div> <div>LED内蔵・電源ユニット内蔵、壁面取付専用 防雨型、保護等級: IP23、ビーム角38度 白色、4000K、Ra84 光束1210lm、消費電力17.1W、電圧100V 光束維持時間4000時間 (光束維持率70%) 本体: アルミダイカスト (ミディアムグレーメタリック) 前面パネル: 高透過ガラス</div>

バルコニー照明器具	外部廊下照明器具	階段照明器具	階段照明器具
撤去 12 箇所	撤去 15 箇所	撤去 (踊り場 2箇所)	撤去 (3階2箇所)
			
LEDシーリングライト 20形丸形蛍光灯1灯器具相当		LEDブラケット 20形直管蛍光灯1灯器具相当	LEDスポットライト
	バルコニー照明器具 新設 12 箇所 外部廊下照明器具 新設 15 箇所	新設 (踊り場 2箇所)	新設 (3階2箇所)
 <p>昼白色 (5000K)、Ra83 器具光束705lm、消費電力7.8W、電圧100V 防湿型・防雨型、拡散タイプ、ネジ込み方式 プラスチック (ホワイト) カバー: アクリル (乳白)</p> <p>パナソニック LGW51714WCF1</p>		 <p>昼白色 (5000K)、Ra83 器具光束855lm、消費電力9.7W、電圧100V 拡散タイプ、防雨型、天井直付型・壁直付型、ツマミネジ方式 カバー: アクリル (乳白)</p> <p>パナソニック LGW80168LE1</p>	 <p>前面パネル: 高透過ガラス 本体: アルミダイカスト (ミディアムグレーメタリック) 前面パネル: 高透過ガラス 本体: アルミダイカスト (ミディアムグレーメタリック) LED内蔵・電源ユニット内蔵、壁面取付専用 防雨型、保護等級: IP23、ビーム角38度 白色、4000K、Ra84 光束1210lm、消費電力17.1W、電圧100V 光束維持時間4000時間 (光束維持率70%) 本体: アルミダイカスト (ミディアムグレーメタリック) 前面パネル: 高透過ガラス</p> <p>パナソニック LGW132KLE1</p>